

2025 年度シラバス

応用生命科学科 1 年次科目

2025 年 4 月 1 日 現在

英語I English	授業担当教員	高橋 歩・田村 裕		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

私たちを取り巻く環境や日本人の食生活は急激に変化している。そのような状況に置かれた私たちの心身の健康について書かれたエッセイを精読しながら、読解力を養成し、語彙力を強化する。テキストで取り上げているテーマは「健康な国、日本」、「人種と健康」、「がん」などである。高等学校までに学習した文法項目を復習することで理解を深めさせ、「英語II」などのより上級の科目を学習するための基礎を築く。TOEIC練習用のリスニング副教材を使用してリスニングの強化を図る。ペアワークなどで単語の発音や本文の意味の確認を行い、学習した内容の定着を図る。リスニング力を伸ばすための訓練として、ディクテーションを数回行う。

【到達目標】

平易な英語で書かれた文章を読み、その内容を理解できる。日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。高等学校までに学習した文法を理解し、説明できる。

知識・理解：1. 平易な英語で書かれた文章を正確に読み、その内容を理解する。2. テキストで使用されている基本的な語彙を理解し、身につける。3. 高等学校までに学習した文法事項を理解し、説明できる。

思考・判断：1. 英文を読み、要旨を述べることができる。

関心・意欲・態度：1. 予習をして授業に臨むことができる。2. 私たちの環境や食生活の変化について興味や関心を示す。

技能・表現：1. 日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。2. TOEICリスニング・セクションの問題形式を理解する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション ①Chapter 1: Healthy Japan ②TOEICについて、カタノダメソツについて	シラバスを読んで、科目の概要や目標、進め方を理解する。テキストを精読する。TOEICリスニング・セクション全体の問題形式を学ぶ。	演習・グループワーク	予習：シラバスをよく読む。テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
2	①Chapter 1: Healthy Japan ②Unit 1: 写真描写問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
3	①Chapter 1: Healthy Japan ②Unit 2: 写真描写問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
4	①Chapter 2: Health and Evolutionary Psychology ②Unit 3: 写真描写問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
5	①Chapter 2: Health and Evolutionary Psychology ②Unit 4: 写真描写問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
6	①Chapter 3: Natural Defense ②Unit 5: 写真描写問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
7	①Chapter 3: Natural Defense ②ディクテーション	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。ディクテーションを行う。	試験・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。ディクテーションに備え、テキストの本文を聞き込む。(100分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
8	到達度確認テスト ①Chapter 3: Natural Defense	到達度確認テストを受ける。テキストの本文を精読し、章末の演習問題を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・試験・グループワーク	予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。(240分) 復習：テキストと辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
9	到達度確認テストの解説 ①Chapter 4: Race and Health ②Unit 6: 応答問題	返却された到達度確認テストを見ながら解答解説を聞き、理解する。テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
10	①Chapter 4: Race and Health ②Unit 7: 応答問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
11	①Chapter 5: Understanding Medical Studies ②Unit 8: 応答問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
12	①Chapter 5: Understanding Medical Studies ②Unit 9: 応答問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
13	①Chapter 5: Understanding Medical Studies ②Unit 10: 応答問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
14	①Chapter 6: Cancer ②応答問題のまとめ	テキストの本文を精読し、章末の演習問題を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。到達度確認テストを受ける。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
15	①Chapter 6: Cancer ②ディクテーション	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。ディクテーションを行う。	試験・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。ディクテーションに備え、テキストの本文を聞き込む。(100分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
16	到達度確認テスト ①Chapter 6: Cancer	到達度確認テストを受ける。テキストの本文を精読し、章末の演習問題を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。	演習・試験・グループワーク	予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。(240分) 復習：テキストと辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	①Stay Healthy 明日の健康と医療を考える	Paul Stapleton	センゲージラーニング
教科書	②A Shorter Course in TOEIC TEST LISTENING 450 K (カタノダ) メソッドによる5分間新TOEICテスト・リスニング450	Hiroko Katanoda, Thian Wong	南雲堂
その他	英和辞典を持参すること。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	40%	40%			10%			10%
備考					課題 (ディクテーション)			

【課題に対するフィードバック方法】

第1回目の到達度確認テストは授業中に返却し、正答を提示しながら内容を解説する。第2回目の到達度確認テストは、正答および解説をTeamsにアップする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室 (部屋番号)	Eメールアドレス
高橋 歩	水曜午後、木曜午後	E403d	ayumi@nupals.ac.jp
田村 裕	授業時間の前後	非常勤講師室	

【その他】

辞書を持参すること。ディクテーションを行うので、本文を聞き込んで臨むこと。

フレッシュャーズセミナー Freshers' Seminar	授業担当教員	村上 聡・中村 豊・中道 眞・伊藤 美千代・小長谷 幸史・若栗 佳介・高橋 典子		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

本授業では、学生の皆さんが利用する大学の施設・システムを紹介し、大学生活の円滑なスタートを支援する。また、各学科・各コースで学ぶ内容を解説し、学生が将来の目標と各自の課題を見出すことを促す。また、応用生命科学部で勉学に取り組むにあたり必要となるスタディスキル、デジタル社会における情報セキュリティと情報管理、大学や社会において必要な最低限のマナーを講義する。

【実務経験】

担当教員村上は、公立中学校教諭として勤務し、教員の研修指導、初任者教諭の育成と教育実習生の受け入れを担当した。その実務経験を基に、自らの力量向上と他者との良好な関係づくりについて高い専門性とその理論的背景を講義とALにより展開する。

【到達目標】

卒業後の進路を考えるきっかけを作る。現在の自分の状況を把握するよう促し、大学時代にすべきことを具体化させる。
 知識・理解：大学で利用できる施設・システムを理解する。学部・学科・コース・ゼミの概要を理解する。スタディ・スキルを身につける。データを適切に取り扱える。レポート・ノートの作成において留意すべき点がわかる。メールなどのコミュニケーションにおけるマナーを理解する。情報セキュリティと情報管理についての基礎を理解する。
 思考・判断：どのような時に、どの施設・部署・システムを利用すべきか判断できる。自分の将来の目標に合わせて、コース・ゼミ選択について考えることができる。
 関心・意欲・態度：自分の人生に関心を持ち、自律的に行動する。情報管理について日頃から気をつけることができる。
 技能・表現：わかりやすい授業ノートを作成することができる。レポート作成などに必要な文章を適切に作成することができる。マナーを守って周囲とコミュニケーションを取ることができる。適切に情報管理をすることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	新潟薬科大学・応用生命科学部を知る1	日帰り研修で行われるフレッシュャーズセミナーでの授業により、本学と本学部および同学年の仲間を知る。	講義・SGD	予習：研修ガイド、配布テキスト（135分） 復習：研修ガイド、配布テキスト（135分）	フレッシュャーズセミナー参加教員
2	新潟薬科大学・応用生命科学部を知る2	日帰り研修で行われるフレッシュャーズセミナーでの授業により、本学と本学部および同学年の仲間を知る。	グループワーク	予習：研修ガイド、配布テキスト（135分） 復習：研修ガイド、配布テキスト（135分）	フレッシュャーズセミナー参加教員
3	授業オリエンテーション 新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ1	大学生として生活していく上での時間管理・健康管理について、および人権とジェンダー、プライバシーに関連する基本的な諸概念を理解する（中村）。 応用生命科学部を中心としたコース、ゼミでの学びについて理解する（小長谷）。 日帰り研修について振り返り、学生相互のつながりのたいせつさについて理解する（小長谷）。	講義・課題	予習：学生便覧、履修ガイド、時間割（135分） 復習：講義内容の復習（135分）	中村 小長谷
4	新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ2	応用生命科学部のカリキュラムの概要と履修上の注意点について理解する。 生命産業ビジネス学科を中心としたゼミでの学びについて理解する。	講義・課題	予習：学生便覧、履修ガイド、時間割（135分） 復習：講義内容の復習（135分）	中道
5	スタディ・スキル1	スタディ・スキルの基礎について考え、レポートとは何か、文章を書く目的について学ぶ	講義・課題・グループワーク	予習：配布テキスト（135分） 復習：配布テキスト（135分）	村上 小長谷
6	スタディ・スキル2	レポートの書き方について一般的な基礎を学び、実践する。 レポート提出、チャットやメール利用などにおけるマナーを学ぶ。仮想データからレポートを作成する。	講義・課題	予習：テキストを読む（135分） 復習：講義内容の復習をする（135分）	村上 小長谷
7	スタディ・スキル3	学科ごとに分かれて、実験・実習レポートや、授業の課題レポートを書く技術の基礎を身につける。 仮想のデータをもとに作成されたレポートを見直して修正する。	講義・課題	予習：テキストを読む（135分） 復習：授業内容を復習する（135分）	伊藤 村上 小長谷
8	スタディ・スキル4	学ぶとはどういうことかについて思索を深める。周囲や社会からの要請や評価はもちろん、個人としては「どのように学ぶのか」、さらに「なぜ学ぶのか」について各自の軸を作ることを目指す。	講義・演習・SGD	予習：配布プリント（135分） 復習：配布プリント（135分）	伊藤
9	スタディ・スキル5	学習やアドバイザーグループ活動のツールとして、コミュニケーションプラットフォームの使い方について学び、実際に操作する。さらに生成AIを利用した学びの方法や情報を扱う場合の留意点について学ぶ。	講義・課題・グループワーク	予習：配布テキスト（135分） 復習：配布テキスト（135分）	若栗
10	新潟薬科大学・応用生命科学部で学ぶ3	本学の附属施設を知る。特に図書館など学びに必要な施設の利・活用について学ぶ。	講義・課題	予習：配布テキスト（135分） 復習：配布テキスト（135分）	村上 図書館職員
11	スタディ・スキル6	他の学生が作成した実験レポートやを読み、そこから優れた部分と改善点を見つけ出し、レポートを書く技術の基礎を身につける。	講義・演習・SGD	予習：テキストを読む（135分） 復習：授業内容を復習する（135分）	伊藤 村上 小長谷
12	スタディ・スキル7	作成した課題のレポートについてプレゼンを行い、学生どうして評価をする。	SGD・発表・討論	予習：テキストを読む（135分） 復習：授業内容を復習する（135分）	村上 伊藤 小長谷
13	コミュニケーションの在り方	大学生活におけるコミュニケーションに関わる課題と望ましいあり方について理解する（中村）。 コミュニケーションに関する臨床心理学の基本的な知識を理解し、アイスブレイクやグループワークを通じてコミュニケーションの本質を体験する（高橋）。	講義・グループワーク	予習：自分自身のコミュニケーションの癖や人と関わる際にどうしていたかを、家族、友人、初対面の人、他人など様々な対象ごとに考えてみる。（135分） 復習：体験を通じて感じたことや思ったことを振り返り、自分のコミュニケーションの癖や対人関係を築くうえで長所・短所について考えを深める。（135分）	中村 高橋
14	スタディ・スキル8	文章の読み方、書き方、大学におけるノートの書き方を学び、実践する。	講義・課題	予習：テキストを読む（135分） 復習：講義内容の復習をする（135分）	村上 小長谷
15	スタディ・スキル9	実際に図書館に行き、借りた資料を利用してグループワークを行いながら資料の活用方法について学ぶ。	グループワーク	予習：資料作成（135分） 復習：授業内容を復習する（135分）	村上 小長谷

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	大学生学びのハンドブック [6訂版]	世界思想社編集部	世界思想社
その他	必要に応じてプリントを配布する。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						50%	30%	20%
備考								・成果発表20%

【課題に対するフィードバック方法】

授業内容についての演習/SGDの時間を設け、その内容について解説する。
授業に関して寄せられた要望は、Portal NUPALS及びMicrosoft Teamsを利用して回答する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
村上 聡	月～金の昼休み その他の時間を希望する場合は個別に相談に応じる	理科教育学研究室(E401c)	s-murakami@nupals.ac.jp
中村 豊	平日の13:10-18:00	環境有機化学研究室(E402a)	nakamura@nupals.ac.jp
中道 真	水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます）	NE205	nakamichi@nupals.ac.jp
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	E101生物学研究室	konayuki@nupals.ac.jp
若栗 佳介	月～金 11:00～17:00	新津駅東キャンパス（NE212）	wakakuri@nupals.ac.jp
高橋 典子			

【その他】

遠隔授業の場合の質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間に、Microsoft Teams上での当科目のチーム内でチャット等を活用して受付実施する。

早期体験学習 Early Exposure to Practice	授業担当教員	杉田 耕一・松本 均		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】

本学卒業後のキャリアプランを構築するために必要な基礎知識（日本の経済状況や社会情勢、社会制度など）を講義する。自分の将来の目標を考え、大学在学中に取り組むべき具体的な課題の抽出を促す。実際に社会で活躍するビジネスパーソンや卒業生による講義を通じ、進路選択や仕事についての事例を紹介する。PROG試験結果を用い、自己の能力についての理解と今後の対策方法について解説する。本科目は、2年次開講科目「職業とキャリア形成Ⅰ」および3年次開講科目「職業とキャリア形成Ⅱ」の基礎的な科目として位置づけられる。

【実務経験】

担当教員の杉田は、企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、新入社員の教育等を行いながら事業を進めてきた。また、事業の推進に当たって多種多様な業界の企業との共同研究や取引関係を構築してきた。このような実務経験を活かして、企業情報について実際の情報を提供すると共に、企業が求める社員像を理解できるように指導する。担当教員松本は、食品企業において、食品の研究開発営業マーケティング業務に27年間従事した経験を活かして、一般的な会社員として必要な知識やスキル、社会人として必要な知識や義務などを幅広く紹介する。

【到達目標】

学生生活に必要な知識を修得し、卒業までのスキルアップのプランを作成する。自分の特性を理解し、卒業後の進路を考える。卒業までにキャリア形成の面ですべきことを具体化させる。

知識・理解：社会で生活するのに必要な基礎知識（現在の日本および新潟県の経済状況、就職状況、企業の雇用制度や社会保障制度など）を有している。自身の能力（コンピテンシー・リテラシー）が把握できている。

思考・判断：目標から逆算して、「今何をすべきか」「今年中に何をすべきか」「卒業までに何をすべきか」を判断できる。

関心・意欲・態度：自分の人生に関心を持ち、節目節目の目標をたて、自律的に行動する。

技能・表現：自分の目標を設定し、他者に伝えることができる。目標実現のために必要な課題を抽出することができる。また、自分の特性についてまとめ、説明できる

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション ホームルーム	授業概要、到達目標、授業計画、課題と成績評価方法について説明する。アドバイザーグループで改めて自己紹介を行い、お互いをよく理解する。入学後の諸手続き、PC設定、Teams設定などグループ内で理解を深め、不明点は協力して解決する。	講義・グループワーク	予習：自己紹介の内容を考えてくる。入学後に困っていることリストアップ。(30分) 復習：グループ内で情報共有した内容を確認する。(190分)	杉田 一年次アドバイザー 教員
2	キャリアガイダンス1 (各学科の特徴、科目、研究分野)	科目履修、コース、研究分野、研究室配属など、学科ごとの特徴を理解し、キャリア形成を考える機会とする。	講義・グループワーク	予習：学生便覧、履修ガイドを読んでくる。学部ホームページを閲覧してくる。(30分) 復習：学生便覧、履修ガイドの再読。(190分)	杉田 松本
3	キャリアガイダンス2(社会制度、経済状態、企業研究)	卒業後の各個人のキャリアプランを構築するための基礎知識として、大学生として生活していくに当たって必要な、経済、社会に関する知識を習得する。日本国の経済状況、就職状況、新潟県内企業の就職状況。過去に応用生命科学部卒業生が就職した会社の実績とその事業内容。企業における、賃金体系、各種手当、労働時間、休日日数、昇給制度、福利厚生、雇用保険制度などについて講義する。	講義	予習：資料を事前に読んでおく(30分) 復習：授業で修得した内容をもとに、自分の生活を見直すとともに、キャリアプランを作成する(190分)	松本 キャリア 支援室
4	キャリアガイダンス3 (就職活動の予備知識)	3、4年生で、迎える就職活動について学ぶ。就職活動に必要な知識、スキル、情報、資格、などについて学び、自分にとって必要な準備事項をリスト化する。大学院進学の意味、就職状況について知る。教職課程について知り、志望者はそのキャリアプランを考える。自分で選ばなくてはいけない職種、業界、業種、企業について、学ぶ。	講義	予習：資料を事前に読んでおく(30分) 復習：授業で修得した内容をもとに、自分のなりた職業、就職したい会社についてまとめる(190分)	松本 キャリア 支援室
5	社会で活躍する先輩、ビジネスパーソンの話を聞く1	社会で活躍する卒業生や見習うべき社会人の話を聞く。学生時代にやったこと、コース、研究室の選び方。学生生活全般。就職先の選択や、現在の仕事、今後のキャリアプランを聞いて、自分に当てはめて、考えてみる。	●動画配信型授業	予習：資料を事前に読んでおく(30分) 復習：先輩の話をもとに、自分のキャリアプランを考える(190分)	杉田 外部講師
6	社会で活躍する先輩、ビジネスパーソンの話を聞く2	前回とは、異なる分野の卒業生の話を聞く。学生時代にやったこと、コース、研究室の選び方。学生生活全般。就職先の選択や、現在の仕事、今後のキャリアプランを聞いて、自分に当てはめて、考えてみる。	●動画配信型授業	予習：資料を事前に読んでおく(30分) 復習：先輩の話をもとに、自分のキャリアプランを作成して提出する(190分)	杉田 外部講師
7	キャリアガイダンス4 (社会人基礎知識)	生活するうえで必要な知識を修得する。特に、学生でもかかる税金制度など、人生に必要な税に関する基礎知識について解説する。	講義	予習：資料を事前に読んでおく(30分) 復習：授業で修得した内容をもとに、自分の生活を見直す(190分)	杉田 松本 外部講師
8	キャリアガイダンス5 (能力の伸ばし方)	PROG試験を受験して、今のコンピテンシー（行動する力）、リテラシー（考える力）の実力を把握する。特に、卒業するまでに延ばして行きたい能力について、目標を立てるとともに、行動する内容を決める。	講義・演習	予習：PROGの試験結果を読んでおく(60分) 復習：解説をもとに、自分のスキル育成プランを作成して提出する(160分)	杉田 外部講師
9	10年後の目標	これまでの授業で、修得した知識と、先輩の体験談をもとに、自分の10年後の目標を立て、それを達成するためのキャリア育成プランをつくり、マイルストーンとなるべき項目を設定する。	講義・演習	予習：資料を事前に読んでおく(30分) 復習：目標設定、キャリア育成プランを作成し、レポートにまとめて提出する(190分)	杉田 キャリア 支援室
10	キャリアガイダンス6 (新聞記事のいかし方)	新聞の読み方、効果などを講義する。就職活動や将来社会人になった時にどのようにいかにされるか講義する。	講義	予習：資料を事前に読んでおく(30分) 復習：新聞を読みレポートをまとめて提出する(190分)	杉田 外部講師

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	必要に応じて、プリント、資料を配布もしくは、Teams上にUPLOADする		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						50%	50%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

必要に応じて講義中やTeamsでコメントする

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。	NE211	agri-sugita@nupals.ac.jp
松本 均	月曜日～金曜日の9:00-18:00（休日、代休日を除く）	食品機能学研究室（E203a）	hitoshi.matsumoto@nupals.ac.jp

【その他】

友人や先輩との交流や情報交換を大切にしながら、進路について主体的に考えるように努めること。

情報リテラシー基礎 Basic Information Literacy	授業担当教員	高津 徳行・井坂 修久・若栗 佳介・佐藤 里佳子		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

医療・健康系分野において、コンピュータが果たす役割はますます大きくなっている。この授業では今後の学習や研究、卒業後の業務などで利用する、パソコンやインターネットを使う上での基本的な知識、セキュリティに対する対応策等について説明し、情報機器の基礎について講義する。また、基本的なソフトウェアを用いて文書作成、実験データ解析や情報収集、プレゼンテーションスライド作成などの実用的なPC活用スキルを指導する。本科目は、1年次後期開講科目「情報リテラシー応用」の基礎に位置付けられる。

【到達目標】

コンピュータそのものの知識を含む情報リテラシーに関する基礎的な知識を学習し、正しい知識・モラルをもって適切にコンピュータを利用することができる。
 知識・理解：1) コンピュータを構成する装置の機能と接続方法を概説できる。2) ソフトウェアの基礎概念について概説できる。3) ネットワークの構成について概説できる。4) インターネットについて概説できる。5) インターネット上でのサービスやソーシャルメディアについて概説できる。6) ネットワークなどのセキュリティについて概説できる。7) コンピュータウイルスや悪意あるソフトウェアなどの脅威について概説できる。8) 著作権やその隣接権について概説できる。9) 個人情報について概説できる。10) SNSを利用する上での注意点を概説できる。
 関心・意欲・態度：1) ネットワークを利用する上でのセキュリティに配慮することができる。2) 情報システムを扱う上での、マルウェアやコンピュータウイルスなどの各種の脅威への注意点について配慮できる。3) ソーシャルメディア利用上の注意点について配慮できる。4) 著作権やその隣接権を尊重することができる。5) 個人情報に配慮・保護することができる。
 技能・表現：1) Wordを使用してレポートを作成ができる。2) 電子メールを使用してビジネスメールの様式となる文章を作成・送信できる。3) Excelを使用して実験データ処理ができる。4) PowerPointを使用してプレゼンテーションのスライドが作成できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション（前半） コンピュータの構成（1）	授業の概要・進め方等を理解する。データサイエンスとは何かを知る。ハードウェアとソフトウェア、ハードウェアとは何かを学ぶ	講義	予習：シラバスの熟読。(80分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(180分)	高津
2	コンピュータの構成（2）	ハードウェアの種類と、その接続方法を学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	高津
3	コンピュータの構成（3）	ソフトウェアとは何か、ソフトウェアの種類について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	高津
4	通信とネットワーク（1）	LANとWAN、ネットワークの接続方法、無線LANのセキュリティについて学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	高津
5	通信とネットワーク（2）	インターネットの概念、インターネット接続に必須とされるIPとドメインについて学ぶ、インターネット上でのサービスの種類、ソーシャルメディアについて学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	高津
6	情報とセキュリティ（1）	システムやデータの安全性について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	高津
7	情報とセキュリティ（2）	ネット上の脅威とその対策、著作権の保護について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	高津
8	情報とセキュリティ（3）	個人情報の保護とSNS利用上の注意点について学ぶ（1）	講義	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	高津
9	情報とセキュリティ（4）	個人情報の保護とSNS利用上の注意点について学ぶ（2）	講義	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	高津
10	授業オリエンテーション（後半） タイピング、電子メール、ワープロソフトWord（1）	コンピュータの基本操作と便利なツールや、電子メールの利用方法とメールマナーについて学ぶ。また、Wordを使用して基本的な文書の作成や飾り文字について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。(120分) 復習：提出課題を作成する。(120分)	井坂 若栗 佐藤
11	ワープロソフトWord（2）	Wordを使用してパンフレットの作成について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。(120分) 復習：提出課題を作成する。(120分)	井坂 若栗 佐藤
12	表計算ソフトExcel（1）	Excelを使用して基本的な表計算及びグラフについて学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。(120分) 復習：提出課題を作成する。(120分)	井坂 若栗 佐藤
13	表計算ソフトExcel（2）	Excelを使用して複雑なグラフの作成について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。(120分) 復習：提出課題を作成する。(120分)	井坂 若栗 佐藤
14	プレゼンテーション作成ソフト PowerPoint（1）	PowerPointを使用してプレゼンテーション用スライドの作成について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。(120分) 復習：提出課題を作成する。(120分)	井坂 若栗 佐藤
15	プレゼンテーション作成ソフト PowerPoint（2）	PowerPointを使用してアニメーションについて学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。(120分) 復習：提出課題を作成する。(120分)	井坂 若栗 佐藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	医療系のための情報リテラシー Windows11・Office2021対応	佐藤・川上編	共立出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%				30%		10%	10%
備考								前半9回は毎回確認テスト等を行う

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた要望・質問は、Teams、メール等を利用して受付・回答をする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高津 徳行	月17:00～19:00 除：教授会開催日 火～金 18:30～19:30	薬学教育センター（F棟B101a）	takatsu@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp
若栗 佳介	月～金 11:00～17:00	新津駅東キャンパス（NE212）	wakakuri@nupals.ac.jp
佐藤 里佳子	月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）	応用微生物・遺伝子工学研究室（E201）	rsato@nupals.ac.jp

【その他】

10回目以降の質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等を活用して受付実施する。

成績評価方法・基準に関する補足：「その他」は毎回確認テスト等を行って評価する。欠席はこの確認テスト等を受けていないものとして扱われる。成績表各順の詳細は、必要に応じて説明する。

前期で使用了た授業資料は全て後期に実施される情報リテラシー応用でも利用します。

英語コミュニケーション Communicative English	授業担当教員	Alistair Gillett		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（外国語）		
	年次・学期	1年次 前期（2025年度入学生～）、2年次 前期（～2024年度入学生）	単位数	1単位

【授業概要】

This class focuses on oral communication skills. An important goal of this course is to help all students, regardless of English level, to gain confidence in using English to express their ideas, feelings, and experiences. The course uses information provided by students real lives to practice speaking, reading, writing, and listening to build on skills learned in junior and senior high school. The target is to move towards CEFR pre-B1.

Note : Content of any class can be changed upon the discretion of the instructor.

【到達目標】

This course will help students improve their English speaking and listening comprehension skills. Students will focus on learning to communicate effectively in English about a variety of topics. Classwork will include: Speaking, listening comprehension exercises, note taking, reporting, and grammar focus. Students will share their ideas and experiences in English while involved in pair, small, and large group discussion activities. There will also be group and solo presentation. Most lessons conclude with a one-to-one talk with the teacher.

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	Introduction to the course. Check student communication level.	Basic verb conjugation. Listening activity. Making questions group activity. Individual writing activity. Teacher interview.	講義・演習	予習：Review verbs（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
2	My Favorite Movie. Common likes/dislikes	Phonics communicative activity. Listening close activity. Reading and comprehension activity, writing activity, Class interview activity, Student writing activity. Teacher interview.	講義・演習	予習：Watch a movie（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
3	She walks to university. 3rd person	Vocab check. Grammar focus. Close activity. Unscramble +interview activity. Make questions and interview activity. Report information to teacher in pairs.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
4	Cindy Sherman-Artist. Describing someone's life.	Phonics communicative activity. Group discussion. Communicative close activity. Group activity. Individual writing activity. Class interview activity. Teacher interview.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
5	Adverbs of frequency.	Warm up. Grammar focus. Grammar check 1. Grammar check 2. Interview activity. Report to teacher. Make a story using adverbs of frequency. Teacher interview.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
6	Wh/ how questions and 'can'+ adverbs of frequency.	Pop quizz. Grammar focus. Close activity. Close +interview activity. Class interview. Report information to teacher in pairs.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
7	Where were you born? Wh-questions with did, was, were.	Warm up. Grammar focus. Close activity. New grammar focus. Matching checking activity. Interview + 8 sentence report. Teacher interview.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
8	I think summer is better than winter. Opinion, interview, summery, and report.	Warm up. Group activity. Individual report. Different subject (students' suggested) -repeat. Teacher checks. Different subject (students' suggested), same procedure. Teacher interview.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
9	What did you do after that? Follow up questions.	Warm up. Group language focus activity. Group language focus activity 2. Interview teacher. Pair interview activity. Report to teacher.	講義・演習	予習：Watch a movie（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
10	Individual Interview test. While Group Presentation preparation.	Group movie choice. Example breakdown of story. Group activity breakdown of story.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
11	Individual Interview test. While Group Presentation preparation.	Example breakdown of movie cast/crew + opinion. Group activity breakdown of movie cast/crew + opinion	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
12	Communicating with an audience.	Phonics communicative activity. Emphasis in speaking focus. Emphasis in speaking listening activity - checked in pairs. Emphasis in speaking	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
13	Communicating with an audience.	Presentation practice. In groups, then to teacher plus comments, then in groups	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
14	Group presentation. Graded	Graded. Post analysis one to one with teacher	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
15	What will you do over the summer?	Post-presentation analysis one to one with teacher continued. Close activity. Writing activity. Pair interview activity. Report to teacher in pairs.	講義・演習・試験	予習：All lessons（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	配布資料		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合				25%	25%	15%	25%	10%
備考				interview	presentations			

【課題に対するフィードバック方法】

テスト解答例を採点済答案とともに返却します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
Alistair Gillett			

【その他】

質問がある場合は、授業時間前に用紙に英語またはローマ字で記入してください。
授業中にお答えします。
教科書はありません。

ドイツ語 German	授業担当教員	倉持 有香子		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（外国語）		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位

【授業概要】

ドイツ語の構造や成り立ちを紹介する。ドイツの習慣や文化的背景を伝える。
ドイツ語構造の理解の上に語彙や文型を蓄積し、基本的ドイツ語表現を習得する。

【到達目標】

演習/会話活動を積み上げ、ドイツ語のごく初歩的な文法構造を理解し、平易なドイツ語のコミュニケーションスキルを身につける。

知識・理解：ドイツ語と英語の文法的な差を説明できる

思考・判断：文章構造に着眼できる

関心・意欲・態度：ドイツ語らしい発音に配慮できる

技能・表現：定型の簡単な表現を身につける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	ドイツ語とドイツ語圏文化 いざない	授業計画提示・アルファベット・綴りと発音・数詞や季節	講義・演習	予習：指定教科書を用意の上出席のこと。辞書は不要。辞書を安易に調べるよりも、授業内で扱った語彙を確実に定着させる習慣をつけてほしい。(10分) 復習：アルファベット・綴りと発音ルール・数詞を復習、定着練習。教材中の数詞や季節語彙をドイツ語のルールに従って読み上げる練習。(80分)	倉持
2	独文法入門とドイツの文化 1	動詞の人称変化 語順 平叙文と疑問文 文化紹介「ドイツ語圏のお菓子」	講義・演習・グループワーク	予習：1課を、発音ルールに従い音読してみる。(30分) 復習：教室で実施したグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。挨拶での場面を練習する。教材内の語彙や文の運用を覚える(60分)	倉持
3	独文法入門とドイツの文化 2	職業や身分とsein動詞 wasとwerで開放疑問文 文化紹介「ミュンヘン」	講義・演習・グループワーク	予習：1課全体に目を通し、文法項目を雑駁に理解する。ドイツ文を音読して発音練習を継続する。(30分) 復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。自己紹介での場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。(60分)	倉持
4	独文法入門とドイツの文化 3	名詞の性と格 文化紹介「お城」	講義・演習・グループワーク	予習：2課を、発音ルールに従い音読してみる。名詞が分類されることに着目し、文法上の「性」とはなにか考える。(20分) 復習：復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。身の回りの物を語り合う場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える(70分)	倉持
5	独文法入門とドイツの文化 4	名詞と代名詞とhaben動詞 文化紹介「ザルツブルク」	講義・演習・グループワーク	予習：2課全体に目を通し、2課の文法項目を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。持ち物を語り合う場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)	倉持
6	独文法入門とドイツの文化 5	数詞の復習 時計の読み方 非人称 e s 文化紹介「ドイツの交通・買い物」	講義・演習・グループワーク	予習：3課を、発音ルールに従い音読してみる。時計の読み方の日本語の仕組みとの違いに気づく。(20分) 復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。時刻を伝える場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える(70分)	倉持
7	独文法入門とドイツの文化 6	不規則動詞① 文化紹介「ハブスブルク家」	講義・演習・グループワーク	予習：3課の文法項目を雑駁に理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。不規則動詞の活用に基づいて日々の暮らしを語る場面を練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)	倉持
8	独文法入門とドイツの文化 7	不規則動詞② 時刻表現とともに 文化紹介「ウィーン」	講義・演習・グループワーク	予習：3課全体に目を通し、不規則動詞や時計をの読み方に習熟する。(20分) 復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。交通機関の発着などを語り合う場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。(70分)	倉持
9	ドイツの戦後史講義	「ベルリンの壁 構築と崩壊の歴史」	講義	予習：第二次世界大戦後のドイツや欧州について基礎的な知識を確認する(30分) 復習：自らネット上で戦後のドイツが歩んだ道を調べ、講義と照らし合わせる。(60分)	倉持
10	独文法入門とドイツの文化 8	所有冠詞 文化紹介「ベルリン」	講義・演習・グループワーク	予習：4課を、発音ルールに従い音読してみる。4課の文法項目を雑駁に理解し、所有冠詞という英語にない概念を考えてみる。(20分) 復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。所有者を明示しながら語る場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)	倉持
11	独文法入門とドイツの文化 9	所有冠詞と人称代名詞の3・4格 その語順 文化紹介「ドイツ人の名前」	講義・演習・グループワーク	予習：4課全体に目を通して、英語とは違う仕組みの文法に気づく。 前期全体について質問がないか確認する。(20分) 復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。家族や持ち物について語る場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。夏休み課題を機なす計画をたてる。(70分)	倉持
12	復習その他	前期の振り返り 曜日・月・季節の言い方	講義・演習・グループワーク	予習：夏休み前に学んだ箇所を教材などで確認し、ふりかえりをする。(20分) 復習：夏休み前のことを再度学びなおす。新たに導入された「月」「曜日」「季節」語彙を定着させる。(70分)	倉持
13	独文法入門とドイツの文化 10	前置詞と格支配 変換前置詞の3格支配 文化紹介「中世ドイツ・町の成り立ち」	講義・演習・グループワーク	予習：夏休み前の学習項目を確認し忘れていたところは復習する。5課を発音ルールに従い読み、文法項目を雑駁に理解する。(20分) 復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。場所を聞きあう場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)	倉持
14	独文法入門とドイツの文化 11	変換前置詞の4格支配 文化紹介「ドイツの教育制度」	講義・演習・グループワーク	予習：5課を、発音ルールに従い音読してみる。前置詞によって後続の名詞の格が変わることに着目する。(20分) 復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。位置関係を語り合う場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。(70分)	倉持
15	独文法入門とドイツの文化 12	前置詞の融合形 や 動詞との組み合わせ 文化紹介「スイス・バーゼル」	講義・演習・グループワーク	予習：5課全体に目を通し文法項目を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教材の設定問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。場所や移動先を語り合う場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)	倉持
16	独文法入門とドイツの文化 13	助動詞 文化紹介「芸術とドイツ」	講義・演習・グループワーク	予習：6課を、発音ルールに従い音読してみる。英語とは違う助動詞の仕組みに気づく。(20分) 復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。助動詞の運用方法に留意しながら、能力や義務を語る場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。(70分)	倉持

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
17	独文法入門とドイツの文化 14	副文と従属接続詞 文化紹介「ノイシュヴァンシュタイン城と狂王」	講義・演習・グループワーク	予習：6課を読み副文の構造を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。理由や条件を付加して語る場면을文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)	倉持
18	独文法入門とドイツの文化 15	分離動詞 文化紹介「ドイツの水事情と家事」	講義・演習・グループワーク	予習：6課全体に目を通して、難しくなってきた文法を整理する。音読練習の大切さも忘れず継続する。(20分) 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。各種の文法項目を組み合わせで語り合う練習をする。教材内の語彙運用を覚える。(70分)	倉持
19	独文法入門とドイツの文化 16	形容詞の副詞用法と比較表現 文化紹介「レストランの使い方・誕生日の祝い方」	講義・演習・グループワーク	予習：7課-2に目を通し、発音ルールに従い音読してみる。英語に似ている点に気づく。(20分) 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。物の比較を語る練習をする。教材内の語彙運用を覚える。(70分)	倉持
20	独文法入門とドイツの文化 17	zu不定詞句 文化紹介「クリスマス」	講義・演習・グループワーク	予習：10課-1を読み、英語のto不定詞との違いに気づく。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。文法理解に基づいて表現を広げる練習をする。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)	倉持
21	アニメ映画鑑賞	ジブリアニメ「魔女の宅急便」をドイツ語で鑑賞	講義・動画鑑賞	予習：「魔女の宅急便」のあらすじを確認する。可能なら日本語で視聴してみる。(65分) 復習：鑑賞中に気になった語彙やフレーズを調べてみる(25分)	倉持
22	独文法入門とドイツの文化 18	過去表現 haben支配の現在完了形 文化紹介「ドイツの天候」	講義・演習・グループワーク	予習：8課-2を、発音ルールに従い音読してみる。現在完了形の作り方や概念を考える。(20分) 復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。過ぎたことを語り合う場面を練習する。過去分詞の調べ方に慣れる。教材内の語彙運用を覚える。(70分)	倉持
23	独文法入門とドイツの文化 19	過去表現 sein支配の現在完了形 文化紹介「ドイツの祝祭」	講義・演習・グループワーク	予習：8課-2全体を読み文法項目を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。過ぎたことを語りあう場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)	倉持

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	BUMERANG Re プーメラン・エルエー	小野寿美子・中川明博・西巻丈児	朝日出版社
参考書			

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%				20%	10%		20%
備考	期末試験（教科書のみ持ち込み可）				授業ごとの小テスト	中間課題		授業参加態度や授業内発言など

【課題に対するフィードバック方法】

小テストの正解は翌授業で配布する。中間課題については、評価資料として必要であること、下級生への情報流出を防ぐ意味、の2点から返却しない。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
倉持 有香子	授業前後	当該教室	

【その他】

配布プリントを整理する「ドイツ語」専用ファイルを用意すること。辞書は必須ではない。活用が複雑なドイツ語は辞書引くのもむずかしい。辞書が使えるレベルまでいけないので、むしろ授業内で使った語彙を確実に定着させるような努力が望ましい。指定教科書のうち、7課-1、8課-1、9課、10課-2は扱わない。

【課題に対するフィードバック方法】

採点済みの定期試験や小テストを希望者に返却します

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
肖 航			
斯日 古楞			

【その他】

授業内容・順序を変更することがあります。

コリア語 Korean	授業担当教員	朴 貞美・李 垠姫		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（外国語）		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位

【授業概要】

韓国語は日本語と同じ語順であり、漢字からきた単語も多いため日本人にとって比較的短時間で学びやすい外国語である。この科目では初めて韓国語を学ぶ学生を対象とし、前期は韓国の文字である「ハングル」の習得に重点をおいて、ハングルの仕組みと自然な発音、読み方や書き方、基礎文法などについて講義する。後期は文字の読み書きにとどまらず、韓国語で実際のコミュニケーションができるように韓国語の基本文法と日常表現を勉強する。前期、後期ともに韓国の文化、日本との関係なども紹介、異文化への理解と関心を高める。

【到達目標】

韓国の文字であるハングルと、初歩の韓国語文法を習得する。また、韓国の文化を知ることで異文化に対する理解を深める。(前期)

韓国語の基本文法と日常表現を習得し、韓国語で自分のことが表現できる。また、韓国の文化を知ることで異文化に対する理解を深める。(後期)

知識・理解：ハングルで書かれた文章を自然な発音で読み、初歩の韓国語文法や表現が理解できる。韓国語の基本文法を理解し、基本文型を覚え、さらに応用して話すことができる。

思考・判断：外国語と他国の文化を学ぶことで、国際化社会で必要とされる、より客観的で開放的な観点からの思考ができる。

関心・意欲・態度：異文化の面白さにふれることで学習意欲を高め、より積極的にコミュニケーションを図るようになる。

技能・表現：基礎的な表現を使い、韓国語で自己紹介ができる。初級レベルの韓国語の日常表現を身につける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション／韓国語概観／1課 ハングルと発音を覚える(1)	韓国と韓国語／ハングルの仕組み／あいさつの言葉／単母音／重母音(1)	講義・演習	予習：シラバスを熟読する（30分） 復習：授業で扱った内容（90分）	朴李
2	1課 ハングルと発音を覚える(1) 2課 ハングルと発音を覚える(2)	子音(1)(2)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
3	2課 ハングルと発音を覚える(2)	子音(3)(4)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
4	3課 ハングルと発音を覚える(3)	重母音(2)／氏名をハングルで書く	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
5	3課 ハングルと発音を覚える(3)	終声(パッチム)(1)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
6	3課 ハングルと発音を覚える(3)	終声(パッチム)(2)／連音化	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
7	文字のまとめ	韓国語の長文を自然な発音で読む／K-popを歌詞を見ながら聴く	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
8	小テスト／4課 私は山田ユリです	小テスト／～です(か)-예요/이에요／～は-는/은	講義・試験・演習	予習：テストに備えて今まで学習してきたハングル文字・単語を完全に習得しておく（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
9	4課 私は山田ユリです	～でいらしゃいます(か)-세요/이세요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
10	4課 私は山田ユリです	自己紹介文の作成	講義・演習	予習：自己紹介文の作成準備（60分） 復習：自己紹介文を完成させる。（60分）	朴李
11	小テスト／前期 総まとめ	小テスト／自己紹介文の確認	講義・演習・試験	予習：テストに備えて韓国語の文章が自然な発音で読めるようにし、自己紹介文が正しく書けるようにする。（60分） 復習：前期の学習内容をまとめ、自己紹介ができるようにする（60分）	朴李
12	授業オリエンテーション／5課 この近所にスーパーマーケットがありますか。	前期の講義内容の確認と後期の講義計画の説明／～가/이／～に-에(場所)／～も-도／あります・います-있어요／ありません・いません-없어요／指示詞のまとめ-이/그/저	講義・演習	予習：シラバスの熟読と前期で学んだ内容の復習をしておく（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
13	6課 ヤンニョムチキン1つください	～を-를/을／～と-하고,-와/과／～をください-를/을 주세요／固有数詞	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
14	7課 写真1枚撮ってください	(用言:動詞・形容詞)～て-아/어(用言)～てください-아/어 주세요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
15	7課 写真1枚撮ってください	縮約形(1)／縮約形(2)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
16	8課 週末に何をしますか	～ます(か)・です(か)-아요/어요／～で、～から-에서(場所)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
17	8課 週末に何をしますか	漢数詞	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
18	9課 遠くありません	用言文の否定形-지 않아요/안-／名詞文の否定形-가/이 아니예요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
19	10課 コーヒー1杯召し上がってください	丁寧な尊敬表現-세요/으세요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
20	11課 私は地下鉄で来ました	用言の過去形-았어요/었어요／～で-로/으로(手段・方法)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
21	11課 私は地下鉄で来ました／韓国ドラマ鑑賞	～へ-로/으로(方向)／韓国ドラマを鑑賞し、感想文を書く	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：ドラマで見えた異文化について考える（60分）	朴李
22	12課 今度は是非行きたいです	～したいです(か)-고 싶어요／～が好きです(か)・～が嫌いです(か)-를/을 좋아해요・싫어해요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	朴李
23	後期 総まとめ	総まとめ	講義・演習	予習：後期の学習内容をまとめておく（60分） 復習：期末試験に備え、全体の復習（60分）	朴李

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	韓国朝鮮語 初級テキスト 改訂版 根と幹	生越直樹 / 生越まり子 / 池玫京	朝日出版社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	30%	20%			20%	20%	10%	
備考					小テスト	授業内外課題、確認クイズ、発表など	授業態度、出席率など	

【課題に対するフィードバック方法】

提出された課題を確認、必要に応じて訂正して返却します。
小テストは次回の授業で解答の解説を行います。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
朴 貞美	授業前後	非常勤講師室（A棟209）	
李 垠姪	授業前後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

外国語を学ぶ上で一番大切なことは自らコミュニケーションを取ろうとする姿勢です。授業ではペアワークで練習をすることが多いので、積極的に参加しましょう！
成績評価は合計60%以上を合格とし、出席回数が授業回数の2/3以上を充たさないと試験を受けられなくなるので注意してください。
授業計画は、進捗状況によって前後する場合があります。

基礎数学 Calculus	授業担当教員	押金 孝佳・武石 文雄		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（自然科学系）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

自然科学系の基礎科目や専門科目を学ぶには、それ以前に、微分積分学(解析学)の基礎知識と計算技能を身に付けておくことが望ましい。この解析学の基本概念である、関数・極限・収束等は高校では「数学III」で主に学ぶが、それを履修して来なかった学生も多い。そこで、この授業においては、高校の「数学III」での学習内容を再確認することから始めて、微分積分学(解析学)の基礎知識を学習すると共に、実際に自分で演習することにより、その計算技能を習得することを目標に講義を行う。

【到達目標】

- 1) 指数関数、対数関数及び三角関数の特徴・性質を、式及びグラフを用いて説明できる。
- 2) 極限の基本概念を理解し、代表的な関数の極限を求めることができる。
- 3) 導関数の基本概念を理解し、代表的な関数の微分ができる。
- 4) 2変数関数を利用して偏微分の基本概念的な理解し、代表的な2変数関数の偏微分及び全微分ができる。
- 5) 原始関数の基本概念を理解し、代表的な関数の不定積分及び定積分ができる。
- 6) 微分方程式の成り立ちを理解し、基本的な微分方程式(変数分離形)の解を求めることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	代表的関数の微分(講義)	導関数、四則演算と微分、合成関数の微分、ネーピアの数、自然対数、無理関数、三角関数・逆三角関数・指数関数・対数関数を含む式の微分について学ぶ。	講義	予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分） 復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し、講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようになる（90分）	押金
2	代表的関数の微分(演習)	1回目授業内容(代表的関数の微分)に関する追加説明及び演習	演習	予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分） 復習：演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようになる（120分）	押金 武石
3	代表的関数の微分(確認試験) 代表的関数の極限(講義)	1、2回目の授業内容(代表的関数の微分)に関する確認試験、関数の極限(収束・発散)と極限がない場合、べき関数・無理関数・指数関数・対数関数のグラフと極限、有理関数の極限、三角関数を含む式の極限について学ぶ。	講義	予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分） 復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認する。演習動画を視聴して追加説明内容を事前学習し、解説された全例題について解説を見なくても解けるようになる（90分）	押金
4	代表的関数の極限(演習)	3回目授業内容(代表的関数の極限)に関する追加説明及び演習	講義・演習	予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分） 復習：授業中での追加説明内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた演習動画を視聴して再確認する。演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようになる（120分）	押金 武石
5	代表的関数の極限(確認試験) 2変数関数の偏微分・全微分(講義)	3・4回目の授業内容(代表的関数の極限)に関する確認試験、2変数関数の偏微分係数・偏導関数・全微分、接平面の方程式について学ぶ。	講義	予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分） 復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認する。演習動画を視聴して追加説明内容を事前学習し、解説された全例題について解説を見なくても解けるようになる（90分）	押金
6	2変数関数の偏微分・全微分(演習)	5回目授業内容(2変数関数の偏微分・全微分)に関する追加説明及び演習	講義・演習	予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分） 復習：授業中での追加説明内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた演習動画を視聴して再確認する。演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようになる（120分）	押金 武石
7	2変数関数の偏微分・全微分(確認試験) 代表的関数の積分(講義)	5・6回目の授業内容(2変数関数の偏微分・全微分)に関する確認試験、不定積分(原始関数)、定積分、代表的な関数の積分について学ぶ。	講義	予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分） 復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し、講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようになる（90分）	押金
8	代表的関数の積分(演習)	7回目授業内容(代表的関数の積分)に関する追加説明及び演習	演習	予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分） 復習：演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようになる（120分）	押金 武石
9	代表的関数の積分(確認試験) 部分積分法(講義)	7・8回目の授業内容(代表的関数の積分)に関する確認試験、部分積分法について学ぶ。	講義	予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分） 復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し、講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようになる（90分）	押金
10	部分積分法(演習)	9回目授業内容(部分積分法)に関する追加説明及び演習	演習	予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分） 復習：演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようになる（120分）	押金 武石
11	部分積分法(確認試験) 置換積分法(講義)	9・10回目授業内容(部分積分法)に関する確認試験、三角関数・指数関数・べき関数を含む式の置換積分法について学ぶ。	講義	予習：Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習（90分） 復習：授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について、Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し、講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようになる（90分）	押金
12	置換積分法(演習)	11回目授業内容(置換積分法)に関する追加説明及び演習	演習	予習：講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微積分の問題の中から選んで解いてみて、解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく（60分） 復習：演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して、ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようになる（120分）	押金 武石

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
13	置換積分法(確認試験) 変数分離形微分方程式(講義)	11・12回目授業内容(置換積分法)に関する確認試験, 微分方程式の一般解・特殊解, 変数分離形微分方程式について学ぶ。	講義	予習: Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して解説内容を事前学習(90分) 復習: 授業中での解説内容の理解が曖昧だった部分について, Teams上にアップロードされた講義動画を視聴して再確認し, 講義で解説された全例題について解説を見なくても解けるようにする(90分)	押金
14	変数分離形微分方程式(演習)	13回目授業内容(変数分離形微分方程式)に関する追加説明及び演習	講義・演習	予習: 講義で解説された例題の類題をセミナーテキスト微分積分の問題の中から選んで解いてみて, 解けなかった部分に関する質問事項をまとめておく(60分) 復習: 演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】の解答解説を復習して, ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする(120分)	押金 武石
15	全授業内容のまとめ(最終確認試験とその解答解説)	13・14回目の授業内容(変数分離形微分方程式)に関する問題を含むような全範囲での最終確認試験, 最終確認試験の解答解説	講義・演習	予習: 全ての回の演習で解くよう指定されたセミナーテキスト微分積分の問題やその【追加問題】(変数分離形微分方程式に関する問題は必ず含む)の解答解説を復習して, ヒントや解説を見なくても全問題が解けるようにする(150分) 復習: 最終確認試験で解けなかったり間違った問題について, 解答解説を見ないで解き直してみる(30分)	押金 武石

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	セミナーテキスト微分積分	寺田・平吹・笠原(共著)	サイエンス社
教科書	微分積分(プリント集)	新潟薬科大学	(1冊にまとめたものを無料配付)

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					65%			35%
備考					3・5・7・9・11・13回目の授業中に実施する6回の確認試験は各5点満点の計30点満点で実施し, 15回目授業で実施する最終確認試験は35点満点で実施するので, 総計65点満点で評価			2・4・6・8・10・12・14回目の授業中に実施する7回の課題演習達成率調査を各5点満点の計35点満点で評価

【課題に対するフィードバック方法】

課題演習達成率調査の評価点は演習時間終了時に自己評価した評価点(達成率の違いにより評価点が異なる)を自己申告するものとし, 各確認試験及び最終確認試験については終了後直ちに解答解説を行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室(部屋番号)	Eメールアドレス
押金 孝佳	授業終了後	非常勤講師室(A棟2階A209)	
武石 文雄	授業担当日の昼休み及び授業終了後	非常勤講師室(A棟2階A209)	

【その他】

履修前準備事項: 高校の「数学II」の学習内容が身に付いていることを前提として授業を行うので, その自信がない「数学II」の単元については, まず自学自習した上でこの授業に臨むこと。

成績評価方法・基準: 初回授業においてプリント集と注意事項のプリントを配付し, 成績評価方法・基準の詳細を説明するが, 成績評価基準としては総合して60%以上で合格とする。

物理学 Physics	授業担当教員	新井 祥生・坂井 章		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（自然科学系）		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位

【授業概要】

物理学は自然科学の中でも最も基礎的な学問の一つで、広い範囲の関連分野に物理学の手法が応用されている。そこで科学を学ぶときや新しい装置を考案するときには、その基礎となる法則を理解しておく必要がある。前半では力学を中心に、自然界での様々な現象の理解を念頭に置きながら解説する。後半では、電磁気学の分野を中心に講義し、その理解を目指す。2年次には本講義内容を踏まえて、物理学実験を行うので基礎事項を理解するためにも大切な講義である。

【到達目標】

具体的な力と加速度の計算を行い、力学の第二法則の理解する。波動に関する基礎を理解し特に光については生命科学で利用する現象について深く理解する。また、電荷に働く力を理解し、電気力の合力を計算で求めるとともに、磁場に関する基本的な事項を理解する。さらに、原子構造に関する基本的な事項を理解し、これらの事項を数式を用いて説明できる。

知識・理解の観点：自然現象を理解するための基礎となる、力学や波動、熱力学、電磁気学、原子の構造などに関する基本的な性質が説明できる。

思考・判断の観点：様々な自然現象を説明するために、法則や公式のなかからより適切なものを選び適用できる。

関心・意欲の観点：自然現象を物理の法則や公式を用いて意欲的に説明しようとする事ができる。そのために、学習に積極的に取り組み討論に参加できる。

技能・表現の観点：物理現象を説明するために、適切な公式を選び数値を当てはめて事象に適応させることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 物理量の表し方、次元	シラバスに基づいて学習内容を確認する。 物理量の単位、単位系、有効数字、次元等を学ぶ。	講義	予習：シラバス熟読、教科書第0章初めにp.2～11（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
2	力、運動の表し方 運動の法則	力の性質や種類と表し方、速度や加速度による運動状態の表し方、力学の基本法則としての運動の3法則について学ぶ。	講義・演習・SGD	予習：教科書第1章力学の基本p.12～35（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
3	等速円運動	物体に運動に関して演習を行うと併にグループワーク(TPS)を行い、代表が発表する。単振動を学ぶ基礎ともなる等速円運動について学ぶ。	講義	予習：教科書第1章力学の基本p.35～39（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
4	放物運動、雨滴の落下振動	運動方程式をもとに、放物運動や単振動について学ぶ。	講義	予習：教科書第2章力と運動p.46～56（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
5	仕事とエネルギー 運動量、慣性力(1)	力学の基本法則である力学的エネルギー保存則と運動量保存則、非慣性系での慣性力について学ぶ。	講義・演習・SGD	予習：教科書第2章力と運動p.56～74（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
6	仕事とエネルギー 運動量、慣性力(2)	力学の基本法則である力学的エネルギー保存則と運動量保存則、非慣性系での慣性力について学ぶ。	講義	予習：教科書第2章力と運動p.56～74（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
7	質点の回転運動 万有引力の法則と惑星、衛星の運動	回転運動理解の鍵になる力のモーメントと角運動量について学ぶ。ケプラーの法則と万有引力の法則をもとに、惑星の運動について学ぶ。	講義	予習：教科書第3章回転運動と剛体p.80～85（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
8	剛体のつり合い、重心	大きさの無視出来ない物体としての剛体について、力のつり合いの条件や重心の求め方を学ぶ。	講義	予習：教科書第3章回転運動と剛体p.85～91（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
9	慣性モーメント	慣性モーメントについて学び、慣性モーメントの計算ができるようになる。	講義・演習・SGD	予習：教科書第3章回転運動と剛体p.91～93（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
10	剛体の回転運動 ベクトル積で表した回転運動の法則	固定軸回りの剛体の回転運動と平面運動を学ぶ。	講義	予習：教科書第3章回転運動と剛体p.93～98（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
11	波の性質	波動現象に共通して見られる性質や定量的表現法について学ぶ。	講義	予習：教科書第4章波動p.102～111（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
12	音波、光波	波動の身近な例である音波と光波について、代表的現象を学ぶ。	講義・演習・SGD	予習：教科書第4章波動p.111～121（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
13	熱と温度、熱の移動 気体の分子運動論	熱、温度、内部エネルギー、熱容量、比熱等の熱に関する基本的な事項と理想気体の圧力・体積・温度の関係と内部エネルギーを学び、それらの性質が気体分子運動論で説明されることを理解する。	講義	予習：教科書第5章熱p.126～135（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
14	熱力学の第1法則 熱力学の第2法則、熱機関の効率	波動に関する演習を行う。エネルギー保存則である熱力学第1法則を理解し、理想気体についてどのように表わされるか学ぶ。また、熱の関与する現象は不可逆過程であることとその進む方向を示す熱力学第2法則について学ぶ。	講義・演習	予習：教科書第5章熱p.135～145（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
15	中間テストおよび解説	1～14回の内容について中間テストを行い、その後解説する。	講義・試験	予習：1～14回の内容（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	新井
16	電荷と電荷保存 クーロンの法則、電場	物体の帯びる電荷とその保存則、電荷間に作用する電気力に関するクーロンの法則、電荷のまわりの電場の定義と電気力線について学ぶ。	講義	予習：教科書第6章電荷と電場p.148～156（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
17	ガウスの法則、電位	ガウスの法則を用いた電場の求め方や電位の定義とその性質、電場と電位の関係について学ぶ。	講義	予習：教科書第6章電荷と電場p.156～164（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
18	キャパシター、誘電体と電場	キャパシター（コンデンサー）の働きと性質や誘電体を極板間に挟むとキャパシターの電気容量が増加することを学ぶ。	講義	予習：教科書第6章電荷と電場p.164～173（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
19	電流と起電力 オームの法則、ジュール熱	荷電粒子の運動に伴う電流と電源の起電力、電圧と電流の関係であるオームの法則と物質の抵抗率、電流から発生するジュール熱について学ぶ。	講義	予習：教科書第7章電流と磁場p.176～181（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
20	電気抵抗の接続 直流回路	直列や並列の合成抵抗の導き方やキルヒホッフの法則を用いた直流回路の解析を学ぶ。直流回路に関して演習を行うと併にグループワーク(TPS)を行い、代表が発表する。	講義・演習・発表・グループワーク	予習：教科書第7章電流と磁場p.181～183（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
21	磁石と磁場 電流のつくる磁場	磁気力は磁場を仲立ちに作用する。磁場の表現法とその性質、電流のつくる磁場について学ぶ。	講義	予習：教科書第7章電流と磁場p.186～193（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
22	電流に働く磁気力 電流の間に働く力	磁場中に置かれた電流に働く力や平行電流間に働く力について学ぶ。	講義	予習：教科書第7章電流と磁場p.193～198（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
23	荷電粒子に働く磁気力反磁性体、常磁性体、強磁性体	磁場中を運動する荷電粒子に働くローレンツ力や荷電粒子のサイクロトロン運動、導体のホール効果、磁性体の種類と特徴について学ぶ。	講義	予習：教科書第7章電流と磁場p.198～206（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
24	電磁誘導、磁場の中で回転するコイルに生じる起電力、相互誘導と自己誘導（1）	コイル内の磁束の変化に伴う誘導起電力に関する電磁誘導の法則をもとにコイルの相互誘導と自己誘導、磁場のエネルギー、変圧器について学ぶ。電磁誘導に関して演習を行うと共にグループワーク(TPS)を行い、代表が発表する。	講義	予習：教科書第8章振動する電磁場p.212～223（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
25	電磁誘導、磁場の中で回転するコイルに生じる起電力、相互誘導と自己誘導（2）	前時に引き続き、コイル内の磁束の変化に伴う誘導起電力に関する電磁誘導の法則をもとにコイルの相互誘導と自己誘導、磁場のエネルギー、変圧器について学ぶ。その後、電磁誘導に関して演習を行うと共にグループワーク(TPS)を行い、代表が発表する。	講義・演習・発表・グループワーク	予習：教科書第8章振動する電磁場p.212～223（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
26	交流光と電磁波、電場と磁場	交流電圧や交流電流の表し方、簡単な交流回路とその解析、電磁波の種類と性質について学ぶ。	講義	予習：教科書第8章振動する電磁場p.223～235（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
27	原子の構造光の粒子性、電子の波動性	原子核と電子よりなる原子の構造、光の粒子性、電子の波動性について学ぶ。	講義	予習：教科書第10章原子物理学p.248～255（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
28	不確定性原理、光の放射と原子の定常状態、レーザー、水素原子、金属や半導体中の電子半導体の応用	微小な世界では位置と運動量が同時に測定できない不確定性原理が存在することにより波と粒子の二重性が可能となること、原子の放射する光のスペクトルが原子の定常状態間の遷移によるものであることを学ぶ。また、水素原子のボーア模型によるエネルギー準位と電子の軌道半径の求め方、金属や半導体中の電子と半導体の応用について学ぶ。	講義	予習：教科書第10章原子物理学p.255～267（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
29	原子核の構成核エネルギー	陽子と中性子から構成される原子核、原子核の結合エネルギーの考察から核融合や核分裂による核エネルギーが説明されることを学ぶ。	講義	予習：教科書第10章原子物理学p.270～276（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井
30	原子核の崩壊と放射能素粒子	不安定な原子核の崩壊の法則、崩壊に伴い放出される放射線の種類と性質、物質構造の基本的粒子としての素粒子の概略について学ぶ。原子の構造～原子核の崩壊に関して演習を行うと共にグループワーク(TPS)を行い、代表が発表する。	講義・演習・発表・グループワーク	予習：教科書第11章原子核と素粒子p.276～281（60分） 復習：本時の講義内容（60分）	坂井

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	基礎物理学（第5版）	原 康夫	学術図書出版社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	40%	40%			5%	5%	10%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

・定期試験終了後、希望の学生に対しては解答の解説を行います。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
新井 祥生	月曜日 15:00-17:00、在室してれば他の時間も可	E101a	arai@nupals.ac.jp
坂井 章		非常勤講師室（A棟209）	

基礎物理学 Basic Physics	授業担当教員	星名 賢之助		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（自然科学系）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

物理学は自然科学の基礎法則とその応用を学ぶ学問です。医療専門職の中でも、臨床検査においては、特に物理学の考え方を理解しておく必要があります。この講義では、物理法則の基礎的知識およびその応用に必要な観点と論理的な考え方の習得を目指します。力学および波動などを学んだ後、さらに熱力学、電磁気学、量子論、原子核物理の基礎を学ぶことにより、医用工学機器で用いられている分析原理の深い理解へとつなげます。

【到達目標】

(1) 質点および質点系の運動について理解する。(2) 波動および光学について理解する。(3) 熱力学の基礎について理解する。(4) 電気回路の基礎について理解する。(5) 電磁気学の基礎について理解する。(6) 量子論の要点を理解する。(6) 原子核の構造と放射線について理解する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1~2	物体の力学	物体の運動を説明する。質量と重さ、力、加速度、慣性、円運動など。	講義・演習	予習：予習課題を出しますので、思考・調査をして準備すること（60分） 復習：講義で行った練習問題を理解できるまで解きなおすこと、および、疑問点などを整理することを通じて理解を深めること（180分）	星名
3~4	連続体の力学	気体や液体のふるまいを説明する。気圧、状態方程式、水圧、粘性、表面張力など。	講義・演習	予習：予習課題を出しますので、思考・調査をして準備すること（60分） 復習：講義で行った練習問題を理解できるまで解きなおすこと、および、疑問点などを整理することを通じて理解を深めること（180分）	星名
5~6	熱力学	温度が関わる現象を説明する。物質の三態、比熱、熱伝導、熱交換など。	講義・演習	予習：予習課題を出しますので、思考・調査をして準備すること（60分） 復習：講義で行った練習問題を理解できるまで解きなおすこと、および、疑問点などを整理することを通じて理解を深めること（180分）	星名
7	確認テスト	前半部の総括として確認試験を行います	確認試験	予習：前半部の復習（60分） 復習：試験内容を確認し、わからなかった部分を復習すること（180分）	星名
8~9	光・電磁波・音波	波動の性質を説明する。波長、振動数、回折、干渉、屈折など。	講義・演習	予習：授業内容のワードについて、該当する教科書部分を読んでおくこと（60分） 復習：講義で行った練習問題を理解できるまで解きなおすこと、および、疑問点などを整理することを通じて理解を深めること（180分）	星名
10~12	電気と磁気	静電力、電気回路の基礎、電子部品の基礎、直流と交流、電磁誘導など、電磁気学にかかわる基本的な事項を説明する	講義・演習	予習：授業内容のワードについて、該当する教科書部分を読んでおくこと（60分） 復習：講義で行った練習問題を理解できるまで解きなおすこと、および、疑問点などを整理することを通じて理解を深めること（180分）	星名
13~14	量子力学・原子物理学	原子核の構造と放射線、電子配置と周期表に関して説明する。	講義・演習	予習：授業内容のワードについて、該当する教科書部分を読んでおくこと（60分） 復習：講義で行った練習問題を理解できるまで解きなおすこと、および、疑問点などを整理することを通じて理解を深めること（180分）	星名
15	総括演習	講義全体について復習演習を行います	講義・演習	予習：授業内容のワードについて、該当する教科書部分を読んでおくこと（60分） 復習：講義で行った練習問題を理解できるまで解きなおすこと、および、疑問点などを整理することを通じて理解を深めること（180分）	星名

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	日常の「なぜ」に答える物理学	真貝 寿明	森北出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%				30%			
備考					確認テスト			

【課題に対するフィードバック方法】

課題が出た場合は、コメント、チャット、口頭でフィードバックします

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
星名 賢之助	月～木 15:00-18:00	薬品物理化学研究室（F棟302a）	hoshina@nupals.ac.jp

【その他】

60点以上を合格とする

統計学 Probability and Statistics	授業担当教員	押金 孝佳		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（自然科学系）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

現代は自然現象や社会現象において不確実性が増しており、確率論や統計学の考え方や技能が求められている。この授業では、それらに対応できるように確率論や統計学の基本的考え方および手法を講義する。さらに将来、学生諸君が具体的なデータ解析が必要となった場合に、適切な解釈を行い正しく統計的手法を活用出来ることを目標に講義を行う。

【到達目標】

確率論および統計学の基本的な知識と手法を学習し、実験等で必要となるデータ解析を行える能力を身につける。
 知識・理解：1. 不確実な事柄を確率的に考察できる。2. 統計を用いて何が出来るか説明できる。3. 統計の基礎的な分析手法について説明できる。
 思考・判断：1. 物事に対して客観データを用いて論理的に他者に説明できる。2. 実験結果をデータ解析し、考察を行うことができる。
 関心・意欲・態度：1. 統計やデータ解析の学習に対する意欲を持つことができる。2. 統計を社会や実験の場で積極的に用いる意欲を持つことができる。
 技能・表現：1. 実験やフィールドワーク等で収集したデータの解析ができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 順列・組合せ、標本空間、確率	順列・組合せ、標本空間、確率について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.2～29（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
2	確率変数と確率分布	確率変数と確率分布について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.34～53（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
3	二項分布とポアソン分布	二項分布とポアソン分布について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.54～61（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
4	正規分布	正規分布について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.62～71（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
5	いろいろな分布	指数分布、一様分布、t分布、カイ2乗分布やF分布について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.72～81（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
6	中心極限定理	中心極限定理について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.82～90（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
7	度数分布とヒストグラム	度数分布とヒストグラムについて学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.94～107（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
8	散布図と相関係数	散布図と共分散、相関係数について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.108～113（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
9	母集団と標本分布	母集団と標本分布について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.118～127（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
10	点推定と区間推定	点推定と区間推定について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.128～143（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
11	母平均の検定	母平均の検定について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.144～149（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
12	母平均の差と等分散性の検定	母平均の差の検定、等分散性の検定について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.151～156（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
13	母比率・無相関の検定	母比率・無相関の検定について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.157～163（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
14	回帰分析	回帰直線、回帰係数の推定と検定について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p.164～175（120分） 復習：授業内容（150分）	押金
15	第1章～第4章	練習問題と質問受付	講義・演習	予習：教科書p.2～175 復習：授業内容	押金

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	やさしく学べる統計学	石村 園子	共立出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%				20%		10%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

毎回の確認テストを実施し、次回の授業内で解答と解説を行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
押金 孝佳	授業後	非常勤講師室(A棟2階A209)	

アロマセラピー Aromatherapy	授業担当教員	飯村 菜穂子		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（自然科学系）		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位

【授業概要】

エッセンシャルオイルを利用したプライマリーケア（予防医学）をはじめ、医療現場等で活用されているアロマセラピーの基礎知識を身につけ、薬学的知識と技術を活用しながら、人間が本来持つ感覚や自然治癒力を呼び起こし、日常生活を健康で豊かなものとしてくれるアロマセラピーを安全に実践できる知識、技能として幅広く学ぶ。

【到達目標】

アロマセラピーには、人間が本来持つ感覚や自然治癒力を呼び起こしてくれる作用があり、また日常生活を健康で豊かな生活を送るために、エッセンシャルオイルを利用したプライマリーケア（予防医学）として大変注目されています。セルフメディケーションの時代を迎え、薬物療法だけでなく、薬学的知識と技術を活用したアロマセラピーやメディカルハーブなどの相補・補完療法もバランスよく提案できる知識、技能を身につけ、活用できることを目標とします。

日常生活を健康で豊かな生活を送るために、エッセンシャルオイルを利用したプライマリーケア（予防医学）として大変注目度が高く、また人間が本来持つ感覚や自然治癒力を呼び起こす作用をもつアロマセラピーについて総合的に学び、セルフメディケーションの時代において薬学的知識と組み合わせたアロマセラピーの基礎的な理論や精油の特徴を修得し、人々の生活や医療現場で適正に活用できるようになることを目標としています。

知識・理解：1.植物と精油の関係を説明できる。2.精油の名称を列挙できる。3.精油とその作用について説明できる。4.精油の抽出法と香りの特徴について説明できる。4.精油の使用法について説明できる。5.精油の安全性について説明できる。6.精油の人体への影響を説明できる。7.アロマセラピーに関係する法令について説明できる。

思考・判断：

1.アロマセラピーの基礎知識を健康やスキンケアに役立てるための具体的な手法を述べるができる。2.自分のタイプにあった精油の選択ができる。3.香りのつイメージを感じることができる。4.対象者の症状や体質に応じて、適切な精油を選択することができる。5.人々の生活や医療現場等において、アロマセラピーの応用・利用について具体的に述べるができる。

関心・意欲・態度：

1.予防医学の一環として、アロマセラピーを学び、修得することで、健康維持や増進だけでなく、予防医学への関心も高める。2.アロマセラピーを学ぶことで近代・西洋医学と相補・代替療法のいずれも視野に入れた患者中心の医療である統合医療にも関心をもつ。3.現代社会における生活や健康に関する諸問題にアロマセラピーがどのように応用、利用できるかについて述べるができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	アロマセラピー概論	エッセンシャルオイルとアロマセラピー	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおく。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解を深めておくこと。(90分)	飯村
2	香りの歴史	香り、アロマセラピーの歴史を知る	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
3	エッセンシャルオイルの成分（1）	エッセンシャルオイルと植物との関係	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。私達の生活に比較的身近にある精油について1つ選択し、調べておくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
4	エッセンシャルオイルの成分（2）	エッセンシャルオイルの基礎化学 香りのイメージと特徴	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
5	エッセンシャルオイルの活用	香りの心理作用 アロマセラピーとリラクゼーション	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
6	エッセンシャルオイルの作用機序	エッセンシャルオイルはどのように働くか	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
7	エッセンシャルオイルと抗菌との関係	エッセンシャルオイルと抗菌作用	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
8	香りのメカニズム	香りが人体に与える影響	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
9	エッセンシャルオイルの抽出・保存	エッセンシャルオイルの抽出法・保存方法	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
10	エッセンシャルオイルのブレンド	エッセンシャルオイルのブレンド法 人の健康とアロマセラピー	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
11	キャリアオイルの種類と活用	キャリアオイルの基本的な知識や種類、 使い方や注意事項	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
12	エッセンシャルオイルの安全性 アロマセラピーに関する法律	エッセンシャルオイルの毒性と禁忌 アロマセラピーに関する法令	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
13	ストレスとアロマセラピー	香りの心理作用 アロマセラピーとリラクゼーション	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
14	アロマセラピーと統合ヘルスケア	統合医療とアロマセラピー	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村
15	クリニカルアロマセラピー	アロマセラピーを医療現場、介護・福祉現場に活かす	講義	予習：教科書の関連するところを読んでおくこと。(90分) 復習：講義内で配布された資料及び教科書の関連ページをもう一度読み、理解をふかめておくこと。(90分)	飯村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	Aromacoordinator Lesson TEXT BOOK	日本アロマコーディネーター協会	日本アロマコーディネーター協会
教科書	Essential Oil Guide Book	日本アロマコーディネーター協会	日本アロマコーディネーター協会
参考書	クリニカル・アロマセラピー	ジェーン・バックル 著	フレグランスジャーナル社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

演習の解答及び解説は授業内で行う。

学生が独自に作成した予習復習ノート等があり提出した場合にはコメントをつけて返却する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
飯村 菜穂子	火-木 16:00-18:00	薬学教育センター（F棟B101b）	iimura@nupals.ac.jp

【その他】

講義日程をすべて修了し、所定の条件を満たした学生は、アロマコーディネーターライセンス試験の受験ができます。アロマコーディネーターライセンスの取得を希望する学生は必ず履修してください。アロマコーディネーターライセンス試験の詳細、及びアロマコーディネーターの活動等については、1回目の講義時間内で説明をします。また追加説明がある場合には、講義内で適宜説明をします。

アロマコーディネーターを目指している学生への連絡は、Teamsやポータル配信等で適宜公開します。

本科目の成績は、総合で60%以上で合格とします。

アロマセラピーをさらに学びたい学生のための活動を課外的に行う場合があります。希望者に対してTeamsやポータル配信等で適宜連絡をします。

経済学 Introduction to Microeconomics	授業担当教員	内田 誠吾		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

世界で一番読まれているマンキューの教科書を使い、ミクロ経済学とマクロ経済学について講義する。また、経済学を用い、「行動経済学」、「産業組織論」、「消費者行動論」、「都市経済学」、「食品経済学」、「農業経済学」で必要となる行動経済学、消費者行動論、企業経済学、産業組織論、応用ミクロ経済学などの基礎的な分析手法について説明する。

【到達目標】

ミクロ経済学においては、需要曲線と供給曲線の意味や余剰分析について理解し、政策の効果について簡単な分析ができる。マクロ経済学においては、経済成長の理論や所得決定のメカニズムについて理解する。
 知識・理解：ミクロ経済学とマクロ経済学の考え方を理解する。
 思考・判断：経済学のモデル分析に習熟する。
 関心・意欲・態度：経済学の考え方をうい、経済現象の具体的事例について説明できる。
 技能・表現：簡単な経済モデルを表現できるようになる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション 市場における需要と供給の作用	市場均衡がどのような状態であるかについて理解し、需給ギャップがあるとき、市場メカニズムを通してどのように調整が行われるかについて学ぶ。また、どのようなときに、需要曲線と供給曲線がシフトするかについて考察する。	講義	予習：教科書4章を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
2	需給および政府の政策	価格規制、税金が市場の成果に及ぼす影響について説明する。また、需要の価格弾力性について講義する。実証研究として、特性の異なる消費者グループに対して、異なる価格付けを行う差別価格戦略について実際のデータを用いて説明する。	講義	予習：教科書5章を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
3	弾力性について	消費者の市場取引の効果について学ぶ。需要の弾力性とその決定要因、供給の弾力性とその決定要因。現実世界における弾力性の事例について学ぶ。	講義	予習：教科書5章補論を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
4	消費者、生産者、市場の効率性	消費者および生産者の余剰分析について説明し、市場の効率性について講義する。また、市場の失敗、すなわち、独占、寡占、外部性、情報の非対称性、公共財などについて説明する。	講義	予習：教科書6章を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
5	税と効率・公平	完全競争と効率性、産業間の資源配分、市場の歪みと死荷重について学ぶ。また、社会的余剰最大化と財の分配についての重要な論点を取り上げる。	講義	予習：教科書6章補論を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
6	外部性①	外部性と市場の非効率性について学ぶ。外部性に対する公共政策について学ぶ。	講義	予習：教科書7章を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
7	外部性②	外部性に対する当事者間による解決法について学ぶ。コースの定理について説明する。	講義	予習：教科書7章を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
8	中間テスト	ミクロ経済学について試験を行う。	試験	予習：これまでの学習内容の復習を行い、テストに備える。(150分)	内田
9	国民所得の測定①	経済の所得と支出、GDPの測定について説明する。	講義	予習：教科書第8章1節、2節を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
10	国民所得の測定②	GDPの構成要素である消費、投資、政府支出、純輸出について学ぶ。実質GDPと名目GDPについて説明する。	講義	予習：教科書第8章3節、4節を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
11	生産と成長	生産性の役割とその決定要因、経済成長と公共政策について講義する。	講義	予習：教科書10章を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
12	財市場と貨幣市場のモデル	短期における財市場と貨幣市場において、GDPの水準や貨幣取引量が決定するメカニズムについて説明する。また、IS-LMモデルについて説明する。	講義	予習：教科書11章を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
13	総需要と総供給①	総需要曲線と総供給曲線の性質を説明し、これらのモデルを使い、経済政策の短期的な影響について講義する。	講義	予習：教科書12章を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
14	総需要と総供給②	総需要曲線と総供給曲線を用いて、短期の均衡から長期の均衡への移動について説明する。	講義・演習	予習：教科書第12章を読む。第13回の授業で配布した資料を読む。(150分) 復習：授業で配布した学習チェックシートや教科書を使いながら、授業内容について確認する。参考文献などで同じ内容がどのように説明されているか調べる。(150分)	内田
15	問題演習	期末試験に向けて問題演習を行う。	演習	予習：これまでの講義ノートを見直す。教科書の章末問題を解く。事前に配布した問題演習を解いてみる。(150分) 復習：授業の問題演習を復習する。(150分)	内田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	マンキュー入門経済学（第4版）	グレゴリー・マンキュー	東京化学同人
参考書	マンキュー経済学Ⅰミクロ経済学（第5版）	グレゴリー・マンキュー	東京化学同人
参考書	マンキュー経済学Ⅱマクロ経済学（第5版）	グレゴリー・マンキュー	東京化学同人
その他	プリントを配布します。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%	50%						
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

問題に対する解説は行います。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
内田 誠吾	月曜日～金曜日午前9:00～午後5:00	NE20 8	seigo.uchida@nupals.ac.jp

【その他】

教科書が少し高額なため、教科書購入は任意とし、購入しなくても試験に対応できる授業資料を用意します。しかし、世界的に有名な教科書であるため、購入・熟読を勧めます。経済学は、世界標準の体系が確立されている社会科学であり、論理的な思考を身につけるために最適な学問の1つと言えます。経済学を通して丁寧に論理を追う習慣を身につけましょう。

試験については、授業における練習問題、小テストを一つ一つ理解していけば、問題なく対応できる構成を考えています。一つ一つの授業を大切にしましょう。

生命・医療倫理 Bioethics	授業担当教員	長倉 望		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

わたしたちは科学技術の発展した現代社会を生きています。生殖技術、医療技術、IT技術など、科学技術の発展の恩恵をうける一方、そのことによって、わたしたちの「いのち」が対象化され、その意味を見失いかねない状況が生まれています。人はいつ生まれ、いつ死を迎えるのか、生死の区切りすら、不明瞭になったり、大きく変化したりしています。この講義では、応用生命学部で学ぶみなさんが科学の発展とともに新しく生まれてきた生命倫理の諸課題を理解し、現代社会を生きるわたしたちの命についての理解を深めることができるように、さまざまな角度から、命の理解について講義し、命に対する倫理的ありかたについて検討します。

【到達目標】

生命倫理の課題を理解し、現代社会を生きる自分のいのちについて、考察を深める。

知識・理解：科学技術と人間の命に関する倫理的課題の概要を理解する。

思考・判断：現代社会を生きる自らの命について自覚し、考察を深める。

関心・意欲・態度：現代社会の生命倫理的課題に関心をもち、様々な立場からの議論を理解し、整理することができるようになる。

技能・表現：生命倫理的な課題に対して、様々な議論をふまえ、その中での自分の立ち位置を明確にしながら、自分にとっての「いのちの理解」を語るができるようになる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション／講師自己紹介／生命倫理とは何か	主観的ないのちと客観的ないのちについて、自分たちが生きるいのちの捉え方を考える。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
2	いのちの理解の多面性	比較的新しい学問である生命倫理の課題と歴史を外観する。また、WHOの健康の定義から見る命の理解や、科学主義的な現代社会の中から立ち上がるいのちへの問いについて考える。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
3	科学といのち、思想宗教といのち	キリスト教を例として、科学的ないのちのとらえ方と、思想宗教的などらえ方の違いについて考察する。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
4	関係の中を生きるいのち	生物的生命に「意味」を与える人格関係について考察すると共に、「死」についての多面的理解についても考える。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
5	時間の中を生きるいのち	ギリシャ神話と聖書にみられる時間意識の違いをもとに、科学技術と倫理道德の関係について考察する。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
6	前半のまとめ	第5回までの講義で扱ったいのちの理解についてのまとめを行い、後半に扱う具体的な生命倫理的課題を考えるための備えとする	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
7	生まれるいのち～生殖医療をめぐって～	人工授精、体外受精など、生命倫理の課題の中の「いのちの始まり」に関する課題を外観し、倫理には様々な立場・判断があることを学ぶ。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
8	選別される命～人工妊娠中絶・出生前診断～	工妊娠中絶や出生前診断の議論を外観し、生命倫理の課題が、個人的・医学的な課題であると同時に、社会的・政治的課題ともなっている現状について学ぶ。	講義	予習：授業項目、授業内容に関するまとめを作成し提出。 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
9	選別された命～ナチスドイツのT4作戦～	優生思想とその行き着く先について、ナチスドイツの事例に学ぶ。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
10	選別された命2～科学主義の問題点～	ナチスドイツのT4作戦に加え、2016年7月に起こった相模原連続殺傷事件について学び、科学主義の問題点について考察する。		予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	
11	社会的差別といのち～日本におけるハンセン病隔離政策の歴史から～	わたしたちの社会にひそむ優生思想について、日本におけるハンセン病患者隔離政策の歴史から学ぶ。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
12	いのちの多様性	前回講義を受けて、いのちの多様性を考える。その例として、浦河べてるの家の活動を紹介しつつ、オルタナティブな社会のあり方について検討する。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
13	早められた命の終わり～脳死・臓器移植の課題～	医療技術の発展と共に現れた脳死の問題について学び、生命倫理的課題について考察する。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
14	死といのち～終末期医療・尊厳死・自死～	いのちの終わりについての諸課題について考察し、いのちの意味についてもう一度問い直す。	講義	予習：なし 復習：授業内容について、自分の考えをまとめて提出（270分）	長倉
15	まとめ／課題と展望	これまで扱ったテーマを復習し、生命倫理の課題と展望を整理して学ぶ。また知識の定着度を測るテストを行う。	講義	予習：なし 復習：今学期に学んだこと、また学びを通しての自分自身の変化について考えをまとめて提出（270分）	長倉

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	使用しない。		
参考書	必要に応じて授業で紹介する。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					10%	70%	20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

講義ごとに、講義を受けて自分の考えをまとめたレポート（リアクションペーパー）を20分程度で作成、提出。次回の講義で、その中からいくつかを匿名で紹介しながら、コメントを加える形で、仮想ディスカッションの時となるよう講義を進めます。最後の講義で、知識の確認をする小テストを行います。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
長倉 望	講義終了後	非常勤講師室	

【その他】

Microsoft Teams を用いて、講義資料の配布等を行います。

科学技術論 Science Studies	授業担当教員	太田 紘史		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

科学は歴史的にどのようにして成立し、どのように発展してきたのか。技術は社会をどのように変え、人生をどのように形作っているのか。現代の科学技術はどのような倫理問題をもたらしているのか。科学と技術にまつわる様々な問題を、科学と技術の外側から検討する。

【到達目標】

知識・理解：科学と技術がどのような特性を持っているのか、またそれがどのような問題をもたらしているのかを説明できる。

思考・判断：科学と技術にまつわる問題を、哲学的なもの、歴史的なもの、社会的なもの、倫理的なものに類別できる。

関心・意欲・態度：科学と技術の進歩に対して、それがどのように社会や人生に影響しているかという観点から討議することができる。

技能・表現：これまでの諸研究で議論されてきたことを踏まえながら、科学と技術がもたらしている問題について自身の考えを表現することができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	科学の進歩	科学がもたらす知識は特別なもののように思われる。科学はどのように生じ、どのように進歩してきたのかを考える。	講義	予習：科学とそうでないものの区別が何かを考えておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
2	科学と宗教	科学と宗教は、歴史上隣り合わせであったが、今やその乖離は明らかである。両者の微妙な関係について考えてみる。	講義	予習：科学と宗教の歴史について調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
3	リフレクション&ディスカッション	「科学の進歩」「科学と宗教」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
4	科学と人間	科学は物質、生命、宇宙だけではなく、人間の心や行動をも対象としてきた。科学の進歩が人間観をどう変えるのか、考えてみる。	講義	予習：心の科学の歴史について調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
5	技術と生	人間の生き方は、社会に浸透する技術から独立ではいられない。技術とともに変容する生のありかたについて考えてみる。	講義	予習：身の回りの技術にどのようなものがあるか考えておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
6	リフレクション&ディスカッション	「科学と人間」「技術と生」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
7	科学技術者の責任	科学技術がもたらすものは利益だけではない。それは軽微なものから甚大なものまで様々な副次的な害をもたらしている。科学技術者に課せられた責任について考えてみる。	講義	予習：科学技術の害の事例を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
8	科学と研究公正	科学研究は知的な誠実さを前提としているが、その内実には時代や状況を通じて多様である。公正な研究のありかたについて考えてみる。	講義	予習：研究不正の事例を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
9	リフレクション&ディスカッション	「科学者の責任」「科学と研究公正」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
10	生命科学技術の倫理	生命を操作することに対して倫理的な限界はあるだろうか。価値やその根拠をめぐる問いについて考えてみる。	講義	予習：生命科学技術にまつわる報道を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
11	神経科学技術の倫理	他者の脳に介入して善良な人間にさせてやってもよいだろうか。私の脳を機械と接続したら、どこまでが私なのだろうか。心をめぐる技術の難問を考える。	講義	予習：神経科学技術にまつわる報道を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
12	リフレクション&ディスカッション	「生命科学技術の倫理」「神経科学技術の倫理」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
13	人工知能技術の倫理	人工知能に委ねてよい意思決定の範囲はどこまでだろうか。人工知能は責任を負うのだろうか。確実に迫る未来社会について考えてみる。	講義	予習：人工知能技術にまつわる報道を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
14	宇宙科学技術の倫理	宇宙開発はどのような問題をもたらすか。宇宙に進出するのは何のためなのか。地球人類の1人として考えてみる。	講義	予習：宇宙科学技術にまつわる報道を調べておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田
15	リフレクション&ディスカッション	「人工知能技術の倫理」「宇宙科学技術の倫理」の授業内容を踏まえて、さらに思考を深めてみる。	講義	予習：前回と前々回の授業で提出した課題を振り返っておく（135分） 復習：授業中に紹介された資料や事例を調べておく（135分）	太田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						毎回の授業で論述課題を課す。		

【課題に対するフィードバック方法】

提出された課題については個別に対応する。また一部については授業中に公開して検討材料とする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
太田 紘史			

歴史学 History (Russian-Jewish History)	授業担当教員	中谷 昌弘		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文学系）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

ミュージカル「屋根の上のバイオリン弾き」の舞台となったロシア（東欧）のユダヤ人の世界を中心に、ユダヤ人の歴史や文化について講義する。

【到達目標】

「ユダヤ人」や「ユダヤ人問題」に関して、基本的なことが説明できる。ユダヤ史およびそれに関連した西洋史（特にロシア・東欧の近現代史）について、基本的なことが理解する。

知識・理解：1. 「ユダヤ人」について説明できる。2. 古代イスラエル史について説明できる。3. 中世ドイツにおけるユダヤ人迫害について説明できる。4. 近世ポーランドにおけるユダヤ人の役割について説明できる。5. 帝政ロシアのユダヤ人問題（ポグロムなど）について説明できる。6. ホロコーストについて説明できる。

思考・判断：1. ユダヤ人問題を通して、現代の民族問題についても考察できるようになる。

関心・意欲・態度：1. ユダヤ人問題を通して、近現代の民族問題にも関心をもてるようになる。

技能・表現：「ユダヤ人」や「ユダヤ人問題」に関して、基本的なことが説明できるようになる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーションとイントロダクション：「ユダヤ人」とは誰か	「ユダヤ人」の定義を理解する。映画「屋根の上のバイオリン弾き」について紹介する。	講義	予習：『旧約聖書』について調べる。(120分) 復習：「ユダヤ人」(定義)について。(120分)	中谷
2	古代のユダヤ人(1)：「ユダヤ教」の成立	『旧約聖書』の世界のうち、アブラハムの時代から王国建設までを理解する。	講義	予習：離散(ディアスポラ)について調べる。(120分) 復習：『旧約聖書』について。(120分)	中谷
3	古代のユダヤ人(2)：離散(ディアスポラ)のはじまり	『旧約聖書』の世界のうち、王国分裂から離散(ディアスポラ)にいたるまでを理解する。	講義	予習：十字軍およびユダヤ人迫害(中世)について調べる。(120分) 復習：離散(ディアスポラ)について。(120分)	中谷
4	中世ドイツのユダヤ人：十字軍と迫害のはじまり	中世ドイツのユダヤ人の歴史のうち、特に十字軍以降のユダヤ人迫害について理解する。	講義	予習：ポーランド王国(16~17世紀)について調べる。(120分) 復習：十字軍とユダヤ人の迫害について。(120分)	中谷
5	東欧のユダヤ人(1)：ユダヤ人の黄金時代	中世、ポーランドに移住したユダヤ人が享受した「黄金時代」について理解する。	講義	予習：コサックについて調べる。(120分) 復習：ポーランド王国とユダヤ人の黄金時代について。(120分)	中谷
6	東欧のユダヤ人(2)：フメリニツキーの乱	ユダヤ人の「黄金時代」が終焉する契機となったフメリニツキーの乱(コサック)について理解する。	講義	予習：ハシディズム(ユダヤ教の宗派)やイディッシュ語について調べる。(120分) 復習：コサック(フメリニツキー)について。(120分)	中谷
7	東欧のユダヤ人(3)：東方ユダヤ人の成立	フメリニツキーの乱後に成立した「東方ユダヤ人」について理解する。	講義	予習：エカテリーナ2世やポーランド分割について調べる。(120分) 復習：東方ユダヤ人の特徴(ハシディズムやイディッシュ語)について。(120分)	中谷
8	ポーランド分割とユダヤ人	ポーランド分割によってロシア帝国に組み込まれることになったユダヤ人の運命について理解する。	講義	予習：アレクサンドル1世やニコライ1世について調べる。(120分) 復習：ポーランド分割とエカテリーナ2世について。(120分)	中谷
9	ロシア帝国とユダヤ人	19世紀前半のアレクサンドル1世およびニコライ1世時代のロシア帝国のユダヤ人政策について理解する。	講義	予習：アレクサンドル2世および彼が行った農奴解放について調べる。(120分) 復習：19世紀前半のロシア帝国のユダヤ人政策について。(120分)	中谷
10	「大改革」とユダヤ人	1861年に農奴解放を行ったアレクサンドル2世のユダヤ人政策および「大改革」によって急激に変貌したユダヤ人の生活について理解する。	講義	予習：ポグロム(pogrom)について調べる。(120分) 復習：大改革・農奴解放とユダヤ人について。(120分)	中谷
11	1881年ポグロム	1881年に南ウクライナで多発した「ポグロム」(ユダヤ人に対する暴行、略奪など)とその後のロシア帝国のユダヤ人政策について理解する。	講義	予習：1905年革命(ロシア第一革命)について調べる。(120分) 復習：1881年ポグロムについて。(120分)	中谷
12	1905年革命とポグロム	1905年にロシア帝国で起こった革命(ロシア第一革命)とそれに伴って発生した「ポグロム」について理解する。	講義	予習：ロシア・ユダヤ人のアメリカ移民について調べる。(120分) 復習：1905年革命と第二次ポグロムについて。(120分)	中谷
13	ロシア・ユダヤ人のアメリカ移民	19世紀末から20世紀初頭にかけてロシアからアメリカに移住したユダヤ人について理解する。	講義	予習：ロシア革命(1917年)について調べる。(120分) 復習：ロシア・ユダヤ人のアメリカ移民について。(120分)	中谷
14	ロシア革命とユダヤ人	1917年のロシア革命にかかわった多くのユダヤ人について理解する。	講義	予習：ホロコーストについて調べる。(120分) 復習：ロシア革命とユダヤ人について。(120分)	中谷
15	東欧のユダヤ人(4)：ホロコースト	第2次世界大戦時のホロコーストについて、東欧(ロシア)を中心に理解する。	講義	予習：期末試験準備。(120分) 復習：講義内容の復習と総まとめ。(120分)	中谷

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	牛乳屋テヴィエ	S・アレイヘム作/西成彦訳	岩波文庫
参考書	ユダヤ人	上田和夫	講談社現代新書
その他	講義時にプリントを配布する。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%						30%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

毎回の授業の最初に行われる確認テストは、その場で解答・解説を行います。また授業に関して寄せられた要望はPortal NUPALSで回答します。定期試験終了後、Cyber-NUPALSに解答例(ただし記述問題のみ)をアップロードする予定です。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室(部屋番号)	Eメールアドレス
中谷 昌弘			

【その他】

予習の際には、インターネットや電子辞書(百科事典)を利用してもかまいません(ただしインターネット上の情報のなかには怪しいものも含まれていますので注意してください)。

マス・メディア論 A Study of Media Literacy	授業担当教員	田中 幸弘		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

近年、インターネットやスマホの情報通信機能が広く社会に定着したとはいえ、テレビや新聞を中心とするマス・メディアはまだ私たちの重要な情報源である。授業では、こうした多様化するマス・メディアとソーシャルメディアとどう向き合って、各方面で進展するDXの法的枠組みを視野に入れた上で、自分たちの情報生活をより豊かなものにしていくかを目的とする「メディアリテラシー教育」の基本につき法的枠組みも踏まえて講義する。

【到達目標】

各方面で進展するDXの法的枠組みを視野に入れた上で、人生をより豊かに生きるために以下に列挙する①～③の3つのリテラシーを、限られた時間の中でバランスよく習得する。①メディア・リテラシー：マスメディアやソーシャルメディア（SNS）の情報を、鵜呑（うの）みにしないで、主体的かつ批判的に読み解く能力。②メディカル・リテラシー：応用科学分野との関係も踏まえた医療・健康情報等のより正しい知識を身に付けたり、理解できる能力。食と健康に関するフード・リテラシーを含む。③リーガル・リテラシー：社会的ルールとしての法律に関する基礎的な知識を身に付けたり「法律の日本語」を読み解く能力を身に付ける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	メディア・リテラシーとメディカル・リテラシー	「メディア・リテラシー」の基本概念、およびメディアの特性を構成する基本的な概念について学びます。マスメディアの「情報操作」のメカニズムや、プロパガンダ（政治宣伝）等の概念についても歴史的な経緯も踏まえ言及しつつ、応用化学とメディカルリテラシーとしての情報の収集・検証・管理の視点、ソーシャル・メディアでの留意点も含めて検討していく。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
2	メディアとは何かを考えてみよう・・・マス・メディアとソーシャル・メディア	マスメディア情報を鵜呑みにすることの危険性を知り、主体的な視聴者となることの必要性の導入授業となる。さらに、常識を疑ってみるということ・固定観念・思い込みの排除といったリテラシー向上のために、ソーシャル・メディアでの書き込みも含めて、私たちにとって「事実」とは何かを考えていく。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
3	メディアを支える各時代の技術の観点からの整理・・・ニュース・報道ジャーナリズム・検証（報道）番組	「マスメディアがつくる風評被害」について、特定の企業の不祥事や最近の日本社会における企業倫理の崩壊<モラル・ハザード>を厳しく糾弾するのではなく、メディアを支える各時代の技術の観点からの整理をしながら、その属性に応じて、テレビ番組の視聴者・消費生活者としての私たちの主体的な生き方の問題を考える。メディアと報道の自由とプライバシーの権利についても言及する。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
4	DXの推進と各種メディアと内部統制とコンプライアンスの視点	我が国の国・自治体、民間セクターにおけるDXの推進と法的枠組みの変化と会社法上の内部統制とコンプライアンスの枠組みと放送産業の現代的課題について考え検証していく。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
5	「ドキュメンタリー番組」と「ドラマ」（ノンフィクションとフィクションの境界）、テレビのリアリティ構成・テレビ番組の解説・テレビの商業的な背景といった問題とソーシャル・メディアでの状況の相違、「社会的マジョリティ」とマイノリティ」という視点から、「社会差別・社会的不正義発見」のためのマスメディアの役割と社会的影響と法的規制枠組みも踏まえて考えていく。	「ドキュメンタリー番組」と「ドラマ」（ノンフィクションとフィクションの境界）、テレビのリアリティ構成・テレビ番組の解説・テレビの商業的な背景といった問題とソーシャル・メディアでの状況の相違、「社会的マジョリティ」とマイノリティ」という視点から、「社会差別・社会的不正義発見」のためのマスメディアの役割と社会的影響と法的規制枠組みも踏まえて考えていく。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
6	ソーシャル・メディアとインターネットと法的枠組み	インターネットとソーシャル・メディアの関係、ソーシャル・メディアの社会的役割と弊害について法的な視点も交えて検証する。メディアと報道の自由とプライバシーの権利についても言及する。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
7	映像の文法・メディアの文法	映画やテレビ・ドラマを形作る3つの要素である、脚本（シナリオ）・映像（撮影）・編集（カッティング）についての基礎知識を参考に、映像コンテンツとソーシャル・メディアの関係、ネット・リテラシーと法的な問題について言及する。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
8	映像・映画・ニュース・報道・ドラマ 紙とフィルムと電波と映像と動画	映像・映画・ニュース・報道・ドラマ 紙とフィルムと電波と映像と動画の属性を踏まえたその加工と編集とその効果、さらには現実社会への影響の基本を考える。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
9	メディア属性と編集とフェイクニュース	メディア属性と編集とフェイクニュースについての問題状況を検証する。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
10	憲法・特別法と検閲・通信の秘密の法的枠組み	日本国憲法・特別法における検閲・通信の秘密についての法的枠組みを考える	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
11	米国通信品位法とSNS	米国通信品位法とSNSでの発言の「削除」とアカウント停止問題について考え、マスメディアとの属性上の差異について検証する。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
12	アメリカでのマスメディアとSNSを巡る課題の現状（1）	大統領選挙とメディアについて、ケネディ対ニクソンの大統領選挙におけるテレビの役割がどんなものであったかを考え、その後のテレビ等のマスメディアの社会における役割を考えその後のSNSの影響の関係を端緒を検証する。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中
13	アメリカでのマスメディアとSNSを巡る課題の現状（2）	トランプ政権後のメディアを巡る課題について考え、現在に至るSNSと米国の通信品位法のその後の展開について検証する。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。(90分) 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。(90分)	田中

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
14	我が国におけるマスメディアを巡る課題と将来像（1）	戦後のメディアの進展と法的課題について、放送法や電気通信事業法の法的枠組みと位置づけについて考える。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中
15	我が国におけるマスメディアを巡る課題と将来像（2）・・・まとめ	大手放送メディアのビジネスモデルと内部統制・コンプライアンスの視点について、今後のマスメディアとSNSの法的枠組みの将来像（応用生命科学部の皆さんの将来のキャリア形成との関係も含めて）について考える フリー・トークとレポート作成のためのアサインメントと指導 事前に配布した、質問用紙の内容をベースにして、時間の許す限り、Q&Aの時間とする。あわせて最終レポートの課題設定と、論理的構成力を持った短いレポートの書き方講座を実施する。	講義・演習	予習：予習・復習合わせて3時間とする。予習は主に毎日の各種メディアでのニュースも見ておくこととする。（90分） 復習：復習は主に授業配布プリント教材資料を丹念によみこむこととする。（90分）	田中

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	特に指定しない・基本的には講師作成のレジュメに従って授業を行う		
参考書	情報・メディアと法	児玉晴男	一般社団法人放送大学教育振興会
参考書	失われた報道の自由	マーク・R・レヴィン＝著（道本美穂＝訳）	日経BP
参考書	トランプ圧勝 なぜ米国民は彼を選んだのか	やまたつ	徳間書店

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験模範解答をCyber-Campusへアップロードする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
田中 幸弘	講義終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

授業はすべて事前配布か、あるいは当日配布の「レジュメ」を使用の予定。
成績評価については、合計が60%以上で合格とする。

社会心理学	授業担当教員	内山 景衣		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

この授業では、社会的存在である私たち人間がどのように物事を捉え、行動する傾向があるのか、また特定の状況下においてどのような心理状態を経験するのかなどを、社会心理学の諸理論を通して学習する。また、集団における心理、対人認知、コミュニケーションなど様々な視点から人間の本質についての理解を深めていく。

【到達目標】

- 1) 自己の成り立ち、心のバランスのととり方、動機づけについて理解し説明することができる。
- 2) 対人認知やコミュニケーションに関する概念について概説できる。
- 3) 集団における人間の心理や行動について概説できる。
- 4) 社会で起きている問題や現象について社会心理学的視点から考察することができる。
- 5) 人間の本質や多様性を理解し、今後の社会における人間の在り方について考察することができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション	オリエンテーションー社会心理学とは？	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
2	社会的認知	社会的認知ー人や社会を捉える心のしくみについての情報処理プロセス	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
3	感情	感情の影響過程ー気分や感情の影響とその利用	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
4	自己	自己ー「私」の成り立ちとその仕組み	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
5	態度	態度ー態度形成の理論と態度変化	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
6	対人関係	対人関係ー対人魅力、援助関係、愛と葛藤	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
7	総括(1)	総括1、小テスト	講義	復習：第7回までの講義の内容や、小テストでわからなかった点について、当該授業のレジュメ等を参考に復習する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。(120分)	内山
8	集団力動	集団の中の個人、集団間の関係ー集団の構造や影響力、集団間の心理過程	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
9	コミュニケーション	コミュニケーションー言語的コミュニケーションと非言語コミュニケーション	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
10	ソーシャルネットワーク	ソーシャル・ネットワークー人と人のつながりが生み出すもの	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
11	マスメディア	マスメディアとインターネットーマスメディアの効果についての多様な視点	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
12	世論	世論と社会過程ー世論に対する認識、世論形成のプロセス	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
13	消費者行動	消費者行動・環境行動ー社会的文脈における消費者行動・環境行動、消費の意志決定	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
14	組織	組織と個人のダイナミクスー意思決定システムとしての組織、組織の変革とリーダーシップ	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。理解できなかったところを明確にし、次の授業で質問できるように準備する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山
15	総括(2)	総括2	講義	復習：レジュメを参考に講義で扱った理論・概念の特徴・違いを理解する。講義に関連する自分自身の経験を振り返り、自分の考えを言語化する。(120分)	内山

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	徹底図解 社会心理学	山岸俊男 監修	新星出版社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%				50%			
備考					小テスト			

【課題に対するフィードバック方法】

小テストおよび期末試験の模範解答を授業内で配布、あるいはMicrosoft Teams上にアップする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
内山 景衣	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

第11回～14回は、グループでのプロジェクト学習およびその発表に変更する可能性があります。

スポーツ Physical Education	授業担当教員	高橋 努・久保 清子		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（体育）		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】

バドミントン、卓球種目の実技をする。身体活動（運動やスポーツ）の意義を理解させ、自己の身体状況を十分把握しながら適切な身体活動を行い、総合的な生活体力の向上と健康の保持、増進に努めさせる。

【到達目標】

学生時代はもちろん、生涯にわたり、安全で充実した健康生活を積極的に営むために、生活体力の養成と身体活動の習慣化を習得する。また、対戦方法を話し合ったり、ゲームごとに対戦相手をかえるなど、友達づくりのきっかけになることも目標とする。
 知識・理解：バドミントン、卓球の歴史、用器具、ルール、マナー、ゲーム等について説明できる。
 思考・判断：バドミントン、卓球の技術等の向上について、学生同士で指摘できる。
 安全で健康的な生活を営むための生活体力の養成方法をいろいろ考えることができる。
 関心・意欲・態度：バドミントン、卓球を積極的に実施できる。
 バドミントン、卓球のゲームの対戦相手を尊重し、ゲームを実施できる。
 バドミントン、卓球のゲームにおいて、主審、副審、線審、得点係などの担当を話し合っ決めて、メンバー全員で協力してゲーム運営を実施できる。
 技能・表現：バドミントン、卓球のゲームをルール、マナー等に従い、技術等を実践することができる。
 その他：15回すべて実施することができる。
 事故、怪我がなく、明るく、楽しく、元気に実施することができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション バドミントンの基本練習1	シラバスをもとに科目の概要や到達目標を理解する。 体育施設について理解する。 コンディショニングを把握する。 シャトルが打てるようになる。	実習	予習：シラバスを熟読する。(30分) 復習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
2	バドミントンの基本練習2	各種打法が打てるようになる。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
3	バドミントンの簡易ゲーム バドミントンのゲーム運営	ルール、ゲーム、審判法などを理解し、簡易ゲームを行う。 シングルス、ダブルスのゲームにおいて、進行をスムーズに行えるようになる。	実習	予習：配布資料等を参考にルール、ゲームの進め方、審判方法などを理解する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
4	バドミントンのゲームと評価1	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、ラリーが続くようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
5	バドミントンのゲームと評価2	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
6	バドミントンのゲームと評価3	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、ラリーが続けられ、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
7	バドミントンのゲームと評価4	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、各種打法を使い分け、ラリーが続けられ、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
8	バドミントンのゲームと評価5	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、対戦相手に対応した作戦を考えてゲームができるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
9	卓球の基本練習	ボールが打てるようになる。 各種打法が打てるようになる。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
10	卓球の簡易ゲーム 卓球のゲーム運営	ルール、ゲーム、審判法などを理解し、簡易ゲームを行う。 シングルス、ダブルスのゲームにおいて、進行をスムーズに行えるようになる。	実習	予習：配布資料等を参考にルール、ゲームの進め方、審判方法などを理解する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
11	卓球のゲームと評価1	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、ラリーが続くようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
12	卓球のゲームと評価2	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
13	卓球のゲームと評価3	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、各種打法を使い分け、ラリーが続けられ、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
14	卓球のゲームと評価4	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、対戦相手に対応した作戦を考えてゲームができるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保
15	卓球のゲームと評価5	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、対戦相手に対応した作戦を考えてゲームができるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)	高橋・久保

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
参考書	なし		
教科書	なし		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合				50%			50%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた質問や要望等は、次回の授業内で回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高橋 努	授業の前後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

<用意するもの>体育館シューズ、トレーニングウェア、着替え、タオル、うちわ、飲料水、マスクなど。

生物学I Biology I	授業担当教員	市川 進一・重松 亨・高久 洋暁・西山 宗一郎・相井 城太郎・井口 晃徳・山崎 晴丈		
	補助担当教員			
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

分子・細胞レベルの生物を対象とした学問分野について、大学で受講する生物系科目「生物学II」「生化学I」「生化学II」などの概要を紹介し、その学習に必要な予備知識を提供する。また、「応用生命科学基礎実験II・III」に必要な知識についても説明する。高校生物から大学の研究へと移行する架け橋とすることを意図して実施し、広い範囲を網羅してわかりやすく解説する。

【到達目標】

大学において学ぶ生物系科目の概要を理解し、これらの科目を学ぶのに必要な概念を把握する。

知識・理解：細胞についての基本事項、生体を構成する分子の特徴を理解する。生体内の化学反応を触媒する酵素、DNAの複製・転写・翻訳、遺伝子研究、生命に必要な代謝・エネルギー・生合成についての概略を理解する。

思考・判断：細胞についての基本事項、遺伝子、酵素の機能と役割を説明することができる。生物学を学ぶ上で化学が必須である理由を説明することができる。DNAの複製・転写・翻訳、現代のゲノム解析、代謝・エネルギー・生合成について説明できる。

関心・意欲・態度：生物系科目で学ぶ内容の実用化、関連する社会でのトピックスに興味を持ち、その例を挙げるができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション。 生物学とは何か。	大学で学ぶ生物学とは何かについて考える。	講義	予習：シラバスの熟読（60分） 復習：授業内容（180分）	山崎
2	細胞	生命を構成する最小単位である細胞について理解する。	講義	予習：教科書p.1-27（120分） 復習：授業内容（120分）	山崎
3	DNAと染色体	遺伝情報の本体であるDNAについて学ぶ。第1から3回の内容を確認する試験を受け、理解を深める。	講義・試験	予習：教科書p.173-197-（120分） 復習：授業内容（120分）	山崎
4	生物を学ぶための化学、細胞を構成する物質	生物を学ぶためになぜ化学が必要なのかを考える。細胞を構成する分子の性質について学ぶ。脂質、糖質、タンパク質、核酸の構造を学び、その構造から化学的性質と機能を理解する	講義	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容（120分）	市川
5	生物での化学反応を触媒する酵素の種類と性質	生体内でおきる化学反応を触媒する物質である酵素の種類と性質について理解する。事前配信した資料を勉強し酵素についての簡単な小テストを受ける。授業小テストの解説を聞き理解する（反転授業）。	講義・試験	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容（120分）	市川
6	生物学に必要なデータ解析（1）	生物学的な実験で得られるデータの解析法を学び、演習によってその処理法を身につける。第1回はデータ処理に必須な統計について、基礎事項を学ぶ。応用生命科学基礎科学実験II（第1回）と連携する。	講義・演習	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容の復習・レポート課題（120分）	西山
7	生物学に必要なデータ解析（2）	生物学的な実験で得られるデータの解析法を学び、演習によってその処理法を身につける。第2回はデータ解析例として、タンパク質濃度の定量法の原理と取得データの処理について学ぶ。応用生命科学基礎科学実験II（第2回）と連携する。	講義・演習	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容の復習・レポート課題（120分）	西山
8	DNAの複製	遺伝情報の保存として、情報記録媒体であるDNAの複製機構について理解する。さらに人工的にDNAを複製するPCR技術についても理解する。	講義・演習	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容（120分）	高久
9	転写・翻訳	生物が生きて行くためには、染色体の情報に基づいてタンパク質が正しく合成されないといけない。DNA情報に基づいてRNAが生成する転写の過程、そしてRNAの情報に基づいてタンパク質が生成する翻訳の過程を理解する。	講義・演習	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容（120分）	高久
10	遺伝子とゲノム解析	生物の設計図と同義として扱われることが多いゲノムと、設計図中の遺伝子について学ぶ。	演習・課題・ ●動画配信型授業	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容（120分）	相井
11	遺伝と遺伝子の伝達	形質とその遺伝について、例をあげながら解説し、メンデル遺伝を理解する。さらに、質的形質と量的形質について紹介し、複雑形質の遺伝について考える。	演習・課題・ ●動画配信型授業	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容（120分）	相井
12	代謝、エネルギー、生合成（1）	生体内の物質代謝・生合成の概略について説明する。代謝の仕組みの概要を理解する。	講義・演習	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容（120分）	井口
13	代謝、エネルギー、生合成（2）	エネルギー代謝や生合成を理解する上で必要な基礎的な知識を学ぶ。	講義・演習	予習：事前配信資料（120分） 復習：授業内容（120分）	井口
14	生物学を応用した技術（1）	本科目の第1回から13回までの内容がどんな技術につながるのか、ということを事前課題で各自に考えてもらった事例などを紹介しながら理解する。	講義	予習：事前に提示する課題（120分） 復習：授業で指示した課題（120分）	重松
15	生物学を応用した技術（2）	第14回に引き続き、本科目の第1回から13回までの内容がどんな技術につながるのか、ということを事前課題で各自に考えてもらった事例などを紹介しながら理解する。	講義	予習：事前に提示する課題（120分） 復習：授業で指示した課題（120分）	重松

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	Essential細胞生物学 原著第5版	監訳：中村桂子・松原謙一	南江堂

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					10%	80%	10%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

課題の内容は、授業時間中あるいはTeamsの課題返却時に解説する。（山崎）

演習の内容は、授業時間中あるいはTeamsで解説する。（高久）

演習の内容は授業時間中に、課題の内容は授業時間中に解説する。（西山）

小テストの解答は、授業時間中に解説する。（市川）

演習の内容は、Teamsで解説する。（相井）

演習課題は講義時間中またはTeams等を通じて解説する。（井口）

課題の内容は、授業時間中あるいはTeamsの課題返却時に解説する。（重松）

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
市川 進一	月曜日～金曜日 13時40分～15時10分	E102a教授室	shin@nupals.ac.jp
重松 亨	開講日18:00～20:00	食品・発酵工学研究室(E302a)	shige@nupals.ac.jp
高久 洋暁	月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）	応用微生物・遺伝子工学研究室 (E201a)	htakaku@nupals.ac.jp
西山 宗一郎	授業終了後の次の1時限	食品安全学研究室(E303b)	snishiyama@nupals.ac.jp
相井 城太郎	月曜日～金曜日の授業時間以外（9:00～17:00）	植物遺伝育種学研究室（E301b）	jotaroaii@nupals.ac.jp
井口 見徳	平日13:00～17:00（授業時間以外）	環境微生物学研究室 (E302b)	a_iguchi@nupals.ac.jp
山崎 晴丈	平日10:00～17:00	分子微生物学研究室 (E204a)	hyamazaki@nupals.ac.jp

【その他】

講義に関する重要な連絡はTeamsの該当講義のチームを介して行うので、受講者は必ず該当講義のチームに入ること。チームに入らないことによって生じた不利益については一切応じない。

化学I Chemistry I	授業担当教員	新井 祥生		
	補助担当教員			
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

呼吸、エネルギー代謝、複製など生命現象は、膨大な数の化学反応の結果成り立っている。また、遺伝子をはじめタンパク質、糖質、など生命体を成している物は全て化学物質である。つまり生命体は化学物質の集合体であり生命現象は化学反応が複雑に絡み合って成り立っている。このような生命活動を理解していくためにはその骨幹を成す、物質、反応を理解しなければならない。本講義では、原子や分子、結合、物質の状態など化学の基礎を解説する。化学の基礎として重要な項目の一部は「物理化学」「分析化学」に含まれているので本講義では割愛する。また、本講義は「化学I演習」と一体化して実施し、毎時本講義で講義した内容に関する演習問題を実際に学生に解かせ、又解説を行いより理解度を上げていく。本講義は後期開講科目「化学II」および2年次開講科目「無機化学」「有機化学I II」「生物有機化学I II」など化学系科目の基礎に位置づけられる。

【到達目標】

原子の性質から始まって、結合、反応などの化学一般について広く学び、今後学ぶ専門科目の理解のための基礎を身につける。原子の構造、化学結合、物質の状態、そして化学平衡について理解する。
知識・理解の観点：原子、化学結合などについてその構造、成り立ちについて、説明できる。また、固体、気体、液体、溶液、コロイドなどについてその基本的な性質を説明できる。さらに化学平衡などに関する計算ができる。
思考・判断の観点：新たに物質を知ったときにそれを原子分子レベルで理解し判断できるようになる。
関心・意欲の観点：原子や分子に強い関心を持ち、その構造、性質について討議できる。
態度の観点：積極的に授業に参加し、教員との対話の中で授業に参加できる。
技能・表現の観点：原子の電子配置を記せるようになる。物質の状態や変化、放射線などに関して説明できるようになる。また、化学反応式の作成や様々な化学に関する基礎的な計算などができるようになる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 原子と分子（1）	シラバスを基に、科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。原子の構造、原子番号、同位体、イオン、原子量、分子量物質質量、周期表について学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読、『一般化学』2～11頁(化学史、質量分析計は除く)(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
2	原子と分子（2）	水素のスペクトル、電子軌道、量子数、電子配置について学ぶ。	講義・SGD	予習：『一般化学』11～20頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
3	原子と分子（3）	放射線および放射性同位体について学ぶ。	●動画配信型授業	予習：『一般化学』20～25頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
4	化学結合（1）	イオン化エネルギー、電子親和力、イオン結合について学ぶ。	講義	予習：『一般化学』26～29頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
5	化学結合（2）	共有結合、分子軌道、配位結合、結合エネルギーについて学ぶ。	講義・SGD	予習：『一般化学』30～36頁(混成軌道は除く)(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
6	化学結合（3）	電気陰性度、極性、双極子モーメント、分子間力、水素結合、金属結合について学ぶ。	講義	予習：『一般化学』37～43頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
7	物質の状態（1）	物質の三態、状態変化、気体について学ぶ。	講義	予習：『一般化学』46～53頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
8	物質の状態（2）	溶液、水溶液、溶解度について学ぶ。	講義	予習：『一般化学』53～57頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
9	物質の状態（3）	希薄溶液の性質、溶液の沸点、融点、ラウールの法則について学ぶ。	講義	予習：『一般化学』57～59頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
10	物質の状態（4）	浸透圧、電解質、コロイドについて学ぶ。	講義	予習：『一般化学』59～65頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
11	物質の状態（5）	固体および結晶について学ぶ。	講義	予習：『一般化学』65～69頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
12	化学反応（1）	反応速度、一次反応、アレニウスの式について学ぶ	講義	予習：『一般化学』71～75頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
13	化学反応（2）	反応経路図、熱化学方程式、ヘスの法則について学ぶ。	講義	予習：『一般化学』76～81頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
14	化学反応（3）	化学平衡、平衡定数について学ぶ。	講義	予習：『一般化学』81～83頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井
15	化学反応（4）	ルシャトリエの原理、溶解度積について学ぶ。	講義・SGD	予習：『一般化学』83～86頁(120分) 復習：授業内容(120分)	新井

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	一般化学（四訂版）	長島弘三、富田功	裳華房

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	85%					5%	10%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

・期末試験終了後、試験に関して質問がある学生には個別に対応する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
新井 祥生	月曜日 15:00-17:00、在室すれば他の時間も可	E101a	arai@nupals.ac.jp

【その他】

質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等を活用して受付実施する。

化学I演習 Exercises in Chemistry I	授業担当教員	能見 祐理・井坂 修久		
	補助担当教員			
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】

化学Iの講義と平行して、講義内容の理解を深めるために、演習形式で様々な問題を学生に解かせ、解説を行う。1学年を2クラスに分けて、演習を実施する。主に、化学Iの授業内容にあわせて問題集を配布し、それを中心に解説する。また、小テストを行い学習の習熟度を確認すると共に、評価の主たるデータとする。化学I演習の問題を解くには、同期開講科目である化学Iの基礎的な専門知識が必要とされ、1年次後期開講科目である「化学II」「分析化学」、2年次開講科目である「有機化学I」「有機化学II」の基礎に位置づけられる。

【到達目標】

実際に問題を解くことで、化学の基礎的内容を理解し、今後の専門科目の学修の基となる知識を理解し説明することができる。
 知識・理解：原子、分子の基本的性質を身につけ、様々な現象を原子、分子のレベルで理解し、説明できる。法則、化学式についても、その成り立ち、本質の意味を理解し、説明できる。
 思考・判断：気体や溶液、固体の性質においては、様々な法則などを必要に応じて適用できる。
 関心・意欲・態度：日常でおこる科学的な現象について関心を持つ。
 技能・表現：様々な課題に対して、適切に対応できるようになる。また、物質質量、モル濃度、密度、溶解度、平衡定数などの計算ができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 原子と分子（1）	シラバスをもとに科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。 原子の構造、原子番号、同位体、イオン、原子量、分子量についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：シラバスの熟読、『一般化学』2～7頁（化学史、質量分析計は除く）、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
2	原子と分子（2）	物質質量、化学量についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：『一般化学』7～8頁、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
3	原子と分子（3）	周期表、電子軌道、量子数、電子配置についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：『一般化学』8～20頁、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
4	化学結合（1）	イオン化エネルギー、電子親和力、イオン結合についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：『一般化学』26～29頁、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
5	小テスト（1） 化学結合（2）	1～4回の講義内容の習熟度を確認する。 共有結合、分子軌道、電気陰性度、極性についての演習問題を解く。	講義・演習・発表・試験	予習：第1～4回までの該当ページ、『一般化学』30～40頁（混成軌道は除く）、課題集の該当部分（30分） 復習：小テストで解けなかった問題、授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
6	小テスト問題の解説 化学結合（3）	第1回小テストの解説を行うとともに、分子間力、水素結合、金属結合についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：『一般化学』40～43頁、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
7	物質の状態（1）	物質の三態、状態変化、抽出についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：『一般化学』46～48頁、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
8	物質の状態（2）	蒸気圧、気体の状態方程式についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：『一般化学』48～49頁、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
9	物質の状態（3）	溶液、水溶液、溶解度、希薄溶液の性質、溶液の沸点、融点についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：『一般化学』53～59頁、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
10	小テスト（2） 物質の状態（4）	5～9回の講義内容の習熟度を確認する。 浸透圧、ラウールの法則、電解質、コロイド、結晶についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：第5～9回までの該当ページ、『一般化学』59～69頁、課題集の該当部分（30分） 復習：小テストで解けなかった問題、授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
11	小テスト問題の解説 化学反応（1）	小テストの解説を行うとともに、反応速度の演習問題を解く。	講義・演習・発表・試験	予習：『一般化学』71～75頁（アレニウスの式は除く）、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
12	化学反応（2）	反応経路図、触媒、反応熱、熱化学方程式、ヘスの法則についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：『一般化学』75～79頁、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
13	化学反応（3）	化学平衡、平衡定数についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：『一般化学』81～83頁、課題集の該当部分（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
14	小テスト（3） 化学反応（4）	10～13回の講義内容の習熟度を確認する。 ルシャトリエの原理、電離定数、溶解度積についての演習問題を解く。	講義・演習・発表・試験	予習：第10～13回までの該当ページ、『一般化学』83～86頁、課題集の該当部分（30分） 復習：小テストで解けなかった問題、授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂
15	小テスト問題の解説 これまでのまとめ	小テストの解説を行うとともに、これまでの内容を復習する。	講義・演習・●動画配信型授業	予習：『一般化学』2～86頁、課題集全て（30分） 復習：授業中に行った演習問題（30分）	能見井坂

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	一般化学（四訂版）	長島弘三、富田功	裳華房
その他	化学I演習課題集	化学I担当教員	

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					80%		20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

小テストは各回、採点后返却し、解説を行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
能見 祐理	月曜日～金曜日 14:00～18:30（授業時間以外）	食品化学研究室（E203b）	ynomi@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp

【その他】

課題に対する質疑応答は、Microsoft Teams上での当科目のチーム内でチャット等を活用して受付実施する。

応用生命科学基礎実験I Basic Experiments in Applied Life Sciences, I	授業担当教員	新井 祥生・井坂 修久		
	補助担当教員			
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】

中和滴定、pH、反応熱、陽イオンの性質について事前講義の後、実験を行う。大学に入学して最初の実験であるので、基本的な実験技術から、実験中の安全対策、廃棄物処理、レポートの作成方法なども指導する。応用生命科学基礎実験Iは、1年次後期以降の化学系の実験の基礎に位置づけられる。実験は6グループに分けて5つのテーマをそれぞれ順番に行う。

【到達目標】

化学実験の基礎として、中和滴定、pH、反応熱、金属陽イオンの系統的分析などを理解し、基礎的な実験技術を身につける。また、それらとともに、科学的態度を養い以後の学習の基礎を修得する。

知識・理解の観点：水素イオン濃度、反応熱、金属イオンの定性試験などについて説明できる。

思考・判断の観点：水素イオン濃度を理解し、pH曲線が描ける。金属イオンの系統的分析を計画できる。反応熱について、計算ができる。

関心・意欲の観点：実験に集中して取り組み、結果について討議できる。

態度の観点：テキスト、動画により事前学習を行い、実験グループメンバーと事前討論実験計画立案に参加できる。

技能・表現：あらかじめ実験計画をノートに記し、実験中はその結果を正確に記録できる。実験レポートを作成できる。中和滴定、pHの測定、温度の測定、金属イオンの定性試験などを再現性よく正確に実施できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション、事前講義	シラバスを基に、科目の概要の一般目標、到達目標を理解する。実験を行う上での注意事項を説明する。	講義	予習：シラバスの熟読、「一般化学」の酸と塩基、電気分解、金属イオンの分析の部分を読んでおく。(90分) 復習：配布された実験テキストを熟読する。(90分)	新井井坂
2	中和滴定	中和滴定を行い、酸塩基についての理解を深めるとともに、天秤による試薬の秤量、溶液の作成などの基礎技術とともにビュレットを用いる滴定操作をマスターする。実験終了後、グループ内で準備をしてから、教員と結果について討論を行う。	討論・実験	予習：配布する実験テキストに目を通す。実験テキストの“中和滴定”を熟読し、実験ノートにフローチャートを書く。(60分) 復習：実験ノートを見直す。実験の結果を整理し、レポートを作成する。(120分)	新井井坂
3	pHの測定	pHメーターを使って溶液のpHを測定し、その滴定曲線を描くことによって中和の本質を理解する。実験終了後、グループ内で準備をしてから、教員と結果について討論を行う。	討論・実験	予習：実験テキストの“pHの測定”を熟読し、実験ノートにフローチャートを書く。(60分) 復習：実験ノートを見直す。実験の結果を整理し、レポートを作成する。(120分)	新井井坂
4	反応熱の測定	水酸化ナトリウム水溶液と塩酸を用い、中和の際に生じる反応熱などを測定し、ヘスの法則を理解する。また、中和熱などを計算し、計算値と実測値を比較検討する。実験終了後、グループ内で準備をしてから、教員と結果について討論を行う。	討論・実験	予習：実験テキストの“反応熱の測定”の頁を読み、実験ノートにフローチャートを書く。ファラデーの法則および実験データの数値処理の方法を確認しておく。(60分) 復習：実験ノートを見直す。実験の結果を整理し、レポートを作成する。(120分)	新井井坂
5	金属イオンの定性分析(1)	Ag、Zn、Ca、Alの定性試験を行い、その性質を理解する。実験終了後、グループ内で準備をしてから、教員と結果について討論を行う。	討論・実験	予習：実験テキストの“金属イオン”の頁を読み、実験ノートにフローチャートを書く。(60分) 復習：実験ノートを見直す。実験の結果を整理し、レポートを作成する。(120分)	新井井坂
6	金属イオンの定性分析(2)	数種のイオンの含まれている溶液の系統的分析を行い、各種イオンの挙動を学ぶとともに、定性試験法の基礎を学ぶ。実験終了後、グループ内で準備をしてから、教員と結果について討論を行う。	討論・実験	予習：実験テキストの“金属イオン”の頁を読み、実験ノートにフローチャートを書く。(60分) 復習：実験ノートを見直す。実験の結果を整理し、レポートを作成する。(120分)	新井井坂

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	『一般化学』（四訂版）	長島弘三・富田功	裳華房
その他	応用生命科学基礎実験Iテキスト	新潟薬科大学応用生命科学部化学研究室編	
その他	教科書は、「化学I」の教科書と同一である。これと、配布するテキストを使用する。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	40%					40%	20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

レポート、試験については希望者には解説する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
新井 祥生	月曜日 15:00-17:00、在室してれば他の時間も可	E101a	arai@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp

応用生命科学基礎実験II Basic Experiments in Applied Life Sciences,II	授業担当教員	井口 晃徳・山崎 晴丈・相井 城太郎・西山 宗一郎・小長谷 幸史		
	補助担当教員	中野 絢菜		
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

【授業概要】

タンパク質の定量を通して、分光光度計の取り扱いおよびデータの統計的取り扱いを指導する。身近な環境に生息する微生物の分離・培養、観察方法を指導する。また、動物・植物の体を構成する細胞の比較観察を通して、細胞の基本的な構造について指導する。「応用生命科学基礎実験II」では、1年次開講科目「生物学I」、「生物学II」などで学ぶ基礎的な専門知識に関連する実験を行う。

【到達目標】

分光光度計を用いた定性・定量分析の原理・操作方法、データの統計処理の基本を理解する。生物試料の取扱い方を学び、生物の基本的な特徴(主として培養方法と形態)を理解することを目標とする。

知識・理解：1. 危険薬品の取り扱い方、実験器具の取り扱い方、汎用の分析機器の取り扱い方に関する知識、技術を理解し、説明できる。2. 高圧蒸気滅菌装置およびシングルコロニーアライメントの原理・操作について説明できる。3. 動物細胞と植物細胞の構造の違いを説明できる。4. 比色定量法の原理について説明することができる。分光光度計の原理と操作について説明することができる。5. 顕微鏡の原理を理解し、説明できる。

思考・判断：1. 測定データの取り方、データの整理の仕方を正しくできる。2. 結果の考察の仕方、レポートの書き方が正しくできる。3. 文献資料を検索し、有効あるいは適切な情報を引用することができる。4. 比色定量法の操作を適切に行うことができる。分光光度計の操作を適切に行うことができる。5. 検量線を作成し、回帰式を算出し、濃度を計算することができる。データの信頼性について、考察できる。

関心・意欲・態度：1. 微生物に対して科学的な関心をもてる。2. 細胞に対して科学的な関心をもてる。3. 比色定量法を用いた定量方法について関心をもてる。分光光度計を用いた定性・定量について関心をもてる。

技能・表現：1. 無菌操作と培地調製を正しく行うことができる。2. 顕微鏡を正しく使うことができる。3. 実験で行ったことや得られた結果の内容と意味をしっかりと口頭で説明できる。4. 比色定量法の操作を適切に行うことができる。分光光度計の操作を適切に行うことができる。再現性の高い実験操作ができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション、マイクロピペットの使用法	生命科学の実験にはマイクロリットル単位の微量液体の精密操作が不可欠である。微量体積を計量する代表的な器具であるマイクロピペットの使用法を学び、その精度がどの程度であるかを統計処理により認識する。生物学Iの第6回「生物学に必要なデータ解析(1)」と連携する。	講義・実習	予習：シラバス及び応用生命科学基礎実験IIテキストの熟読(60分) 復習：データを分析を行い、レポートを作成する。(120分)	西山 小長谷
2	タンパク質の定量における検量線の作成、未知試料の濃度決定	タンパク質の定量法のなかで、簡便であるため広く用いられているローリー法の原理とその手順を学ぶと共に、実験操作を行いデータを取得し、検量線の作成を通して誤差などの統計的知識を得る。生物学Iの第7回「生物学に必要なデータ解析(2)」と連携する。	講義・実習	予習：シラバス及び応用生命科学基礎実験IIテキストの熟読(60分) 復習：データ解析を行い、レポートを作成する。(120分)	西山 小長谷
3	微生物の培養および無菌操作	身近な環境に生息する微生物の分離・培養を行う。高圧蒸気滅菌処理した寒天培地の調製、無菌操作による微生物試料の培地への塗末を行う。これらの操作と原理について学ぶ。	講義・実習	予習：シラバス及び応用生命科学基礎実験IIテキスト(微生物編)を熟読する。また、培地、高圧蒸気滅菌、微生物について調べ、実験ノートの準備をする。(60分) 復習：データの分析を行い、レポートを作成する。(120分)	井口 山崎
4	微生物の観察	微生物のおよび顕微鏡を用いて微生物細胞の形態を観察する。これらの操作と原理について学ぶ。	講義・実習	予習：シラバス及び応用生命科学基礎実験IIテキスト(微生物編)を熟読する。また、コロニー、顕微鏡、酵母、糸状菌、細菌の特徴について調べ、実験ノートの準備をする。(60分) 復習：データの分析を行い、レポートを作成する。(120分)	井口 山崎
5	動物・植物細胞の比較観察	動物細胞及び植物細胞の観察を行うことにより、共通点と相違点を含むそれぞれの細胞の基本的な構造について学ぶ。	講義・実習	予習：シラバス及び応用生命科学基礎実験IIテキスト(動物・植物細胞編)を熟読する。また、動物と植物の細胞の特徴について調べ、実験ノートの準備をする。(60分) 復習：データの分析を行い、レポートを作成する。(120分)	相井 小長谷

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	応用生命科学基礎実験IIテキスト		
参考書	なし		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						70%	30%	
備考							取り組み姿勢	

【課題に対するフィードバック方法】

採点と添削をしたレポートの返却をする(西山、小長谷)
Teamsまたはポータルサイトを介して課題の解説を行う(井口、山崎)
ポータルサイトを介して課題の解説を掲示する(相井、中野)

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
井口 晃徳	平日13:00～17:00 (授業時間以外)	環境微生物学研究室 (E302b)	a_iguchi@nupals.ac.jp
山崎 晴丈	平日10:00～17:00	分子微生物学研究室 (E204a)	hyamazaki@nupals.ac.jp
相井 城太郎	月曜日～金曜日の授業時間以外 (9:00～17:00)	植物遺伝育種学研究室 (E301b)	jotaroai@nupals.ac.jp
西山 宗一郎	授業終了後の次の1時間	食品安全学研究室(E303b)	snishiyama@nupals.ac.jp
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	E101生物学研究室	konayuki@nupals.ac.jp
中野 絢菜	月曜日～金曜日の授業時間以外 (9:00～17:00)	植物遺伝育種学研究室 (E301b)	ayana_nakano@nupals.ac.jp

【その他】

実験レポートの提出は、それぞれの担当教員の指示に従うこと。講義に関する重要な連絡はTeamsの該当講義のチームを介して行うので、受講者は必ず該当講義のチームに入ること。チームに入らないことによって生じた不利益については一切応じない。

基礎生物学I Fundamentals of biology I	授業担当教員	小長谷 幸史		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

主に高等学校で生物を履修しなかった学生を対象に、高等学校の生物基礎および生物（一部、科学と人間生活）の内容とその発展的なことから生命科学の基礎に関連することをグループ学習などをしながら講義する。本講義は1年次後期の生物学II, 2年次の生化学I, IIの基礎となる。

【実務経験】

担当の小長谷は生物基礎の授業を公立高等学校で3年半、私立高等学校で半年間担当した。

【到達目標】

生物学のなかで、生化学や分子生物学、細胞生物学などの基礎となることについて学習する。いくつかのものは解明された経緯などの歴史的な事実をふくめた演習を行い、一部は分子模型を用いて代謝による物質の変化を体感を伴い科学的な考え方を習得する。

知識・理解：1 原核細胞と真核細胞の違い、細胞小器官の種類とはたらきが説明できる。2 生体分子であるタンパク質、核酸、糖質、脂質のそれぞれの特徴と生体内ではたらきが説明できる。3 異化と同化とくに呼吸と光合成の基本的なしくみを理解し説明できる。4 体内環境とはなにか、恒常性（ホメオスタシス）とそれに関する器官について説明できる。5 生物の多様性と共通性についての基礎を説明できる。6 生態系の変化とその要因について説明できる。

思考・判断：1 生物は化学反応（代謝）により生命活動が行われていることを理解し、生体内での物質の変化の意義を考えることができる。2 生体分子のわずかな違いを見つげ出し、生体に対する影響を考えることができる。

関心・意欲・態度：1 他者と協調して作業することができる。2 自分のグループ内での役割を認識し、それに合った行動をとることができる。

技能・表現：1 アミノ酸や単糖などの分子の構造を模型を用いて説明できる。2 授業の内容に関する意見や疑問について文章で表すことができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション、生命科学とは、生命の誕生と進化	シラバスの熟読、生物学の範囲、応用生命科学とはなにか、生命の誕生と進化と生物の多様性について学ぶ	講義	予習：シラバス熟読（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
2	細胞の構造と細胞小器官	細胞の構造と細胞小器官、核、小胞体、ゴルジ体、ミトコンドリア、リソソームなどの細胞小器官とはたらきについて学ぶ	講義	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
3	細胞分裂と生殖	体細胞分裂と減数分裂、有性生殖と無性生殖について学ぶ	講義	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
4	核酸I 核酸の構造	DNAの構造と相補性、DNAとRNAのちがいについて学ぶ 分子模型を用いたグループワーク	講義・グループワーク・演習	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
5	核酸II 核酸のはたらき	セントラルドグマを中心に、複製、転写、翻訳について学ぶ	講義・グループワーク・演習	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
6	中間テストと自己採点	1～6回の内容に関する筆記試験と解答解説	講義・試験	予習：1～6回の振り返り（120分） 復習：試験の見直し、自己採点（120分）	小長谷
7	タンパク質	アミノ酸とその重合体であるタンパク質について、その構造とはたらきについて学ぶ 分子模型を用いてアミノ酸とペプチド結合をつくる。分子模型を用いたグループワーク	講義・グループワーク・演習	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
8	糖質	糖質の特徴と種類、糖質の異性体について学ぶ。図と分子模型を用いたグループワーク	講義・グループワーク・演習	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
9	脂質	脂質の中から脂肪（中性脂肪）、リン脂質、ステロイドについて、その生体内での分布とはたらきについて学ぶ。分子模型を用いたグループワーク	講義・グループワーク・演習	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
10	体内環境と恒常性I	体内環境（内部環境）とはなにか。またその維持はどのように行われているか学ぶ	講義	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
11	生体防御	体内環境維持のしくみとして生体防御があり、その中でとくに免疫系のはたらきについて学ぶ	講義	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
12	代謝I 呼吸	同化作用である光合成、明反応と暗反応について学ぶ代謝の中で異化（呼吸）について、細胞呼吸（内呼吸）と外呼吸、細胞内での代謝について学ぶ	講義	予習：予習課題（120分） 復習：ふりかえり課題（120分）	小長谷
13	代謝II 光合成	同化作用である光合成、明反応と暗反応について学ぶ	講義	予習：予習課題（120分） 復習：振り返り課題（120分）	小長谷
14	生態系とバイオーム	生態系について、遷移とバイオームを中心に学ぶ。	講義	予習：予習課題（120分） 復習：振り返り課題（120分）	小長谷
15	期末テスト	8～14回の内容に関する筆記試験と解答解説	講義・試験	予習：8～15回の振り返り（120分） 復習：試験の見直し、自己採点（120分）	小長谷

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	高等学校生物基礎		東京書籍
教科書	高等学校生物		東京書籍
参考書	スクエア最新図説生物neo	吉里勝利 他（監修）	第一学習社
参考書	エッセンシャル細胞生物学原著第5版	中村桂子ら（監訳）	南江堂

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	40%	30%			20%		10%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

- ・確認テストを実施した場合には、授業後半に解答解説を行います。
- ・提出された課題等に、コメントを付記して返却します。
- ・授業に関して寄せられた要望等には、授業時間内、Teams または Portal で回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	E101生物学研究室	konayuki@nupals.ac.jp

【その他】

平常点、中間、期末試験全てに合格して単位が認定される。

基礎化学I Fundamentals of chemistry I	授業担当教員	小島 勝		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

同学期開講科目である化学 I および化学 I 演習は、大学の化学系教科を学ぶための基礎となる。しかし、その内容は高等学校で習う「化学」とはへだたりがある。そのため、高等学校で化学を選択しなかった学生あるいは、高等学校の化学を充分理解していない学生にはギャップがあるかもしれない。このギャップを解消するために、本講義は化学 I および化学 I 演習の進行状況に合わせて、大学で学ぶ化学に必要な初歩的な事項の講義と演習を実施する。また、本講義は1年次後期開講科目の化学II、化学II演習、分析化学、2年次開講科目の有機化学 I などの化学系科目の基礎に位置づけられる。

【到達目標】

化学の基礎的知識を修得し、化学 I、化学 I 演習をはじめとする化学系専門科目を理解するためにその知識を適用できる。

知識・理解：原子や分子の構造について理解し、説明できる。周期表から原子や分子の性質が説明できる。

思考・判断：化学結合の違いを、場合に応じて類別できる。固体、液体、気体の性質は、必要に応じて法則や式などを選別・適用できる。ル・シャトリエの原理を利用して反応の平衡を推論できる。

関心・意欲・態度：日常の科学的な現象に関心を持つ。興味をもって授業に参加できる。

技能・表現：周期表が書ける。物質質量、濃度、溶解度などの計算ができる。密度をもとに重量・体積の変換ができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 化学における基本単位と数値の取り扱い方	シラバスをもとに科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。 国際単位系、指数、有効数字を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学 I 演習課題集の回答（30分）	小島
2	授業オリエンテーション 原子、分子、周期表	原子の成り立ちと周期表の意味と読み方を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：シラバスの熟読と教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
3	原子量、分子量、物質質量、アボガドロ数	原子量、分子量及び物質質量を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分を熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
4	原子量の計算、密度で重量・体積の計算	原子量の概念把握と密度をもとに重量・体積の変換を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分を熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
5	物質質量と反応式の収率	反応式の収率を物質質量を使って求める。また、有効数字の意味を理解する。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
6	原子軌道と電子配置	量子数による原子軌道の表記法を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
7	イオン化エネルギーと電子親和力	周期表からイオンになりやすい原子を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
8	化学結合	イオン結合、共有結合、金属結合について学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分を熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
9	分子の極性、分子間にはたらく力	電気陰性度の大小と周期表との関係を知り、それを用いて分子の極性を知る。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
10	気体の性質と状態方程式	気体の性質からボイル・シャルルの法則と状態方程式を理解する。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
11	液体への溶解度と分配比	物質の溶解度と分配比から抽出法を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
12	モル凝固点降下とモル沸点上昇、浸透圧	モル凝固点降下とモル沸点上昇を使う計算法と浸透圧の計算法を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
13	反応速度式とエネルギー図	一次反応速度式を用いて逐次式を式で表す方法とエネルギー図の書き方を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
14	熱化学方程式とその解き方	熱化学方程式を理解し、解き方を学ぶ。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分を熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島
15	化学平衡定数とル・シャトリエの法則	反応速度と平衡定数を理解し、ル・シャトリエの法則を使って平衡の偏りを予測する。	講義・演習・発表	予習：教科書の相当部分を熟読（30分） 復習：化学I演習課題集の解答（30分）	小島

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	一般化学（四訂版）	長島弘三、富田功	裳華房
その他	化学I演習課題集プリント		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						70%	30%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

毎回簡単な課題を出し、それに解答を書かせて提出させる。それらの解答と質問は次の授業の初めに行う。各回の課題の点数を集積して成績をつける。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小島 勝	月曜日～金曜日（13:10～18:30）	環境有機化学研究室（E402b）	masaru@nupals.ac.jp

【その他】

メールで問い合わせを行なう場合、メールのタイトルに送信者の「学籍番号」および「氏名」を必ず明記すること。

教職概論 Introduction to Teaching Profession	授業担当教員	木村 哲郎		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

教員の役割、授業／授業外における教員の指導性、教員の職務内容、服務上・身分上の義務について講義する。同時に実践記録の分析、映像資料の視聴などを通し、「教える」側の視点から、今日の教師に求められる資質能力について考察させる。また具体的な教師の勤務状況等を取り上げ、職務の全体像と服務上・身分上の義務等への理解を深めさせると共に、学校内外の多様な専門家や父母・地域と連携分担して教育を進めるチーム学校の在り方を検討する。他の全ての教職科目の入門的役割を担う科目である。

【実務経験】

公立中学校教諭として26年間の勤務経験がある。その経験を生かして、教職の意義、教職の専門性、児童生徒どう理解するか、保護者・地域とどのように連携するか、他の教職員との共同等についての講義やSGDを展開する。

【到達目標】

学校教育や教職の社会的意義を踏まえ、昨今の教育の現状の中で、教員に求められる役割や資質能力を理解する。また教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を知ると共に、学校の役割が拡大・多様化する中で、内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性についても理解する。全体を通して教職への意欲を高め、自己の適性を判断し、進路選択に向けた適切な判断を行う。

知識・理解：1. 授業や学級における教師の基本的な役割や職務内容の概要を説明できる。2. 教員免許状、教員の身分、教員の職務の特性などについて説明できる。3. 日本の学校教育において、今日課題とされていることを、具体的に挙げるができる。

思考・判断：1. 実践記録や授業記録から教師のすぐれた指導性を発見し、具体的に指摘することができる。2. 学校教育の現状や「教える」側の視点を踏まえた上で、自らの学校体験を省察し、文章化することができる。3. 今日求められている教師像について、自分の考えを述べるができる。

関心・意欲・態度：1. 学校教育、子ども、教師の現状に関心を持ち、進んで文献を読んだり、情報を収集したりすることができる。2. 授業全体を通して、積極的に自己の意見を表明し、他の学習者とコミュニケーションしながら学習することができる。

技能・表現：1. プレゼンテーションにおいて、効果的な発表資料を作成し、発表することができる。2. 小グループの討論、ロールプレイングなどの学習活動において、他者の意見を傾聴し、自己を表現しながら、話し合いを進めることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 教師の役割（1）	講義全体の計画を理解する。「出会い」と「共感」をキーワードに、現代の学校における、教師と子どもの関係のあり方について考察する。	講義・SGD	予習：シラバスを熟読する。(60分) 復習：講義内容の整理し、まとめる。(180分)	木村
2	教師の役割（2）	現場教師による実践記録を分析的に読み開きながら、生徒指導場面における「指導とは何か」「指導が成立する条件」について学ぶ。	講義・SGD	予習：前回の資料を熟読する。(130分) 復習：講義内容の整理し、まとめる。(130分)	木村
3	教師の役割（3）	優れた授業記録を分析し、授業における教材の重要性とその開発における教師の指導性について考察する。	講義・SGD	予習：前回の資料を熟読する。(130分) 復習：講義内容の整理し、まとめる。(130分)	木村
4	「学校体験」を振り返る（1）	自らの中学校・高校体験において、教師の果たした役割を考察する。	講義・SGD	予習：自らの学校体験の中で「教師の果たした/果たすべきだった役割についてレポートを作成する。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	木村
5	「学校体験」を振り返る（2）	上記テーマについて、グループ討論と全体発表を行う。	講義・SGD	予習：前回作成したレポートを完成させる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	木村
6	現代日本の教育と教師（1）	日本の教育と教師の現状について、主に制度や基本施策の面から理解する。	講義・SGD	予習：前回の資料を熟読する。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	木村
7	現代日本の教育と教師（2）	日本の教育と教師の現状について、児童・生徒の実態やそれに応じた教育改革などの面から理解する。	講義・SGD	予習：前回の資料を熟読する。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	木村
8	教職の基礎知識（1）	資料「教師の1日」、TALIS報告書などから、教師の勤務の現状について多角的に理解する。	講義・SGD	予習：前回の資料を熟読する。(120分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(180分)	木村
9	教職の基礎知識（2）	教員免許状の種類、教員の服務上及び身分上の義務及び身分保障、教員評価などについて、基本的な知識を得る。	講義・SGD	予習：前回の資料を熟読する。(130分) 復習：教員に関する法規、服務等について整理し、まとめる。(130分)	木村
10	教職の基礎知識（3）	教員の研修、勤務実態、職務の特性などについて、他国の教師や他の職業との比較を含む多様な視点から理解する。	講義・SGD	予習：前回の資料を熟読する。(130分) 復習：講義内容について整理し、まとめる。(130分)	木村
11	教職の基礎知識（4）	今日教師に対する社会的要請が高まっていることを知り、生涯に渡って続く教員研修の意義と制度を理解し、「学び続ける」教師像について考察する。	講義・SGD	予習：前回の資料を熟読する。(130分) 復習：教員の研修等に関する復習(130分)	木村
12	教職の基礎知識（5）	学校の役割が拡大・多様化する中で、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解する。	講義・SGD	予習：前回の資料を熟読する。(130分) 復習：チーム学校についての復習(130分)	木村
13	今日の学校が抱える課題（1）	前時までの授業の中で、関心の高かったテーマをいくつか取り上げ、グループに分かれて討論と調査活動を行う。	講義・SGD	予習：いじめ等についての自己の体験をまとめる。(130分) 復習：講義で挙げられた課題について復習する。(130分)	木村
14	今日の学校が抱える課題（2）	上記テーマについて、各グループからの発表を行う。	SGD・発表・討論	予習：発表の準備(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	木村
15	今日の学校が抱える課題（3）	前時に発表されたテーマからセクションして、講義によって内容を深め、全体討論を行う。	講義・討論	予習：発表の準備(120分) 復習：講義内容を整理しまとめる(120分)	木村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	中学校学習指導要領（平成29年3月告示）		
参考書	中学校学習指導要領（平成29年3月告示）	文部科学省	
参考書	高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）		
参考書	高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）	文部科学省	
参考書	新しい時代の教職入門 改訂版	佐藤学 他	有斐閣

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%					20%	20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

- ・1回の授業ごとに簡単な「授業のまとめ・コメント」の提出を求め、次の回でフィードバックすると共に、授業への貢献度等の資料とする。
- ・テスト後、解答例を公開する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
木村 哲郎	月～金の昼休み	E404	kimutetsu@nupals.ac.jp

<h1>学習支援実地演習I</h1> <p>Practical Exercises for Learning Assistancel</p>	授業担当教員	村上 聡・小長谷 幸史・木村 哲郎		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	1単位

【授業概要】

小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従いながら、児童や生徒の活動を支援する演習である。支援の内容として、土曜日や長期休業中の学習支援、社会教育施設におけるキャンプ等での活動支援、運動会・体育祭の準備補助などがあげられる。実施時期、期間は施設によって異なるが、数か月間継続的に訪問し、支援を行う。終了後、事後指導を行い、支援の内容、感想、省察などをまとめてプレゼンテーションを行う。1年次学生を対象とする。学習支援実地演習Ⅱ、Ⅲ、最終的には教育実習へと繋がる授業である。

【実務経験】

公立中学校教諭として26年間の勤務経験がある。それを生かして、小中学校での学習支援の在り方、社会教育における活動支援の在り方について具体的な指導を展開する。(木村)

公立中学校教諭として38年間勤務し、授業の他にも初任者教諭の育成と教育実習生の受け入れを担当した経験を持つ。その実務経験を基に、教育者に求められる高い専門性とその理論的背景について講義とALを展開する。(村上)

【到達目標】

教職に関心を持つ者が、小中学校の教員や学童保育・社会教育施設の指導員の指導補助を行うことを通して、小中学校や施設の実地を知り、児童生徒との望ましい人間関係を築くことができるようになる。

知識・理解：1. 支援を行う学校、学童保育、社会教育施設において、どのような活動がどのような目的で行われているかを説明できる。2. 教師、指導員として児童生徒と接する際の基本的な留意点を列挙することができる。

思考・判断：1. 教員・指導員の指導の実際に基づき、指導の原則や留意点を発見し、具体的に述べるができる。2. 児童生徒のつまずきやトラブルに対して、状況を総合的に判断して、有効な支援の方法を提示することができる。

関心・意欲・態度：1. 支援活動を行う学校・施設や児童生徒の活動内容に関心を持ち、進んで情報を収集したり、必要な教具を準備したりすることができる。2. 支援活動において、積極的に自己を表現し、教員・指導員や他の学習者とコミュニケーションしながら、活動を進めることができる。

技能・表現：1. 初対面の児童生徒に対して、積極的に働きかけて関わりを持つことができる。2. 児童生徒に共感的に接し、話の聞き手となることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 事前指導（1）	教育現場を訪問する際の留意事項、子どもと接する際の基本的な姿勢について確認する。	講義	予習：シラバスの熟読（30分） 復習：講義内容（30分）	木村 村上 小長谷
2	事前指導（2）	一人一人の活動場所と内容を確定し、必要に応じて教育委員会や施設担当者の事前説明を受ける。また活動の計画を立てる。	講義	予習：前回の資料の熟読（30分） 復習：各自の活動計画の立案（30分）	木村 村上 小長谷
3	学習支援活動（1）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の視点を念頭に置きながら支援活動を行う。（現場の状況により、必ずしも順序通りではない）・その活動はどのような意義とねらいを持って行われているか。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
4	学習支援活動（2）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・出会いの場面でどのように児童生徒との関係をつくっていくか。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
5	学習支援活動（3）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・学習意欲や活動意欲の低い児童生徒にどう対応するか。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
6	学習支援活動（4）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・生徒児童の主体性を引き出す指導はどうあるべきか。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
7	学習支援活動（5）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・異なる興味や関心を持つ児童生徒にどう対応するか。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
8	学習支援活動（6）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・逸脱行動等を制止する際に、どのような注意（指導）の仕方が有効か。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
9	学習支援活動（7）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・男子および女子児童生徒のグループでの動きを観察し、彼らの学校生活を理解する。また男子と女子の差を観察し理解する。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
10	学習支援活動（8）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・活動全体の安全性を確保するためにどのような手立てが講じられているか。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
11	学習支援活動（9）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・保護者や地域からどのように連携しながら、活動が進められているか。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
12	学習支援活動（10）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・孤立しがちな児童生徒、特別な配慮が必要な児童生徒にどのような支援が求められるか。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
13	学習支援活動（11）	小学校、中学校、学童保育、社会教育施設の現場において、現場の教員（指導員）の指示に従って、支援活動を行う。その際、下記の点を念頭に置きながら支援活動を行う。・孤立しがちな児童生徒、特別な配慮が必要な児童生徒にどのような支援が求められるか。	実習	予習：当日の活動内容の確認（30分） 復習：活動記録を書いて省察（30分）	木村 村上 小長谷
14	事後指導（1）	体験したことをまとめ、各グループごとに省察を行う。	SGD	予習：自己の体験のまとめ（30分） 復習：グループの省察内容を整理する。（30分）	木村 村上 小長谷
15	事後指導（2）	グループごとに、プレゼンテーションを行い、各学校、施設の情報や体験を共有し、共通の課題をディスカッションする。	SGD・発表	予習：グループ単位でプレゼンの準備（30分） 復習：全体を通しての省察（30分）	木村 村上 小長谷

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	なし		
参考書	小学校学習指導要領（平成29年3月告示） 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）	文部科学省	

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						40%	40%	20%
備考								・成果発表20%

【課題に対するフィードバック方法】

当日の活動の様子、事後の省察を活動日誌に記録し、コメントをつけて返却する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
村上 聡	月～金の昼休み その他の時間を希望する場合は個別に相談に応じる	理科教育学研究室(E401c)	s-murakami@nupals.ac.jp
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	E101生物学研究室	konayuki@nupals.ac.jp
木村 哲郎	月～金の昼休み	E404	kimutetsu@nupals.ac.jp

<h1>経済と税法</h1> <p>Beginning to study finance</p>	授業担当教員	中道 真		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

【授業概要】

皆さんは「経済と税法」という言葉からどのようなことを連想しますか？お金、企業、役所、アルバイト、消費税でしょうか。それとも財政、憲法、所得税、タックスヘイブン、環境税でしょうか。また、「税」というと消費税のように支払いたくないお金というイメージがありませんか？ところが、私たちが使用している道路、橋、空港などのインフラストラクチャーはこの税によって建設・維持されている側面が強いですよね。そして何より教育、つまり小学校から現在の大学に至るまで、実は皆さんひとりひとりに税金が使われています。

この授業では、皆さんが連想するキーワードを最初の手掛かりに、「経済と税法」の全体像を概観します。そして、社会の様々な出来事を「経済と税法」として財政学と租税制度の理論等から学びます。財政とは国や公共団体の経済活動のことです。財政学は、経済学・経営学の重要な分野です。本授業科目は、社会人を目指す皆さんにとってはもちろん、企業経営や経済全般を学ぶ基礎として位置付けています。

財政学や税法の視点は、経済学はもちろん経営管理論や経営組織論等様々な科目と密接に関連しています。

【到達目標】

「経済と税法」の全体像を認識し、日常生活で「経済と税法」の視点から物事を考えられるようになる。

知識・理解：「経済と税法」の基本専門用語を使い分けことができる。

思考・判断：「経済と税法」に関する雑誌や新聞の記事を検証できる。

関心・意欲・態度：日常生活の様々な出来事を「経済と税法」の視点から観察し考える意欲をもっている。

技能・表現：「経済と税法」に関して自ら社会事象を観察し考察した結果を表現できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション	授業概要と受講上の留意点 なぜ「経済と税法」および財政学を学ぶのか？	講義・課題	予習：「税」と聞いて思い浮かべるキーワードを3つ思い浮かべてください。その3つのキーワードのそれぞれについて、調べて、ノートにまとめてください。(30分) 復習：教科書の確認とノートを読んで講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
2	税金って何？	税とは何かを考えはじめる ※机移動が可能教室の場合はグループワークを予定	講義・SGD・発表・グループワーク・課題	予習：教科書「イラストでサクッとわかる日本一たのしい税金の授業」(以下、教科書①と省略)1限目pp.1-34を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
3	国民経済と税制の歴史	企業・家計・政府（経済主体）と市場の失敗 日本の歴史と税のおはなし	講義・課題	予習：教科書①2限目pp.35-64を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
4	財政とは？①	大きな政府・小さな政府とケインズ主義、 財政の三機能（所得再分配、資源配分調整、景気調整）	講義・課題	予習：財政とは？①の授業内容について、中学公民や高校現代社会・政治経済等の教科書あるいは図書館・インターネット等で調べてノートにメモをとり、質問・コメント等を記す。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
5	財政とは？②	財政政策とは？ 日本の財政とそのしくみ	講義・課題	予習：財政とは？②の授業内容について、中学公民や高校現代社会・政治経済等の教科書あるいは図書館・インターネット等で調べてノートにメモをとり、質問・コメント等を記す。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
6	租税とは？①	租税の意義・目的・分類・原則	講義・課題	予習：教科書「税法入門（令和6年度版）」(以下、教科書②と省略)pp.1-15を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
7	租税とは？②	租税体系と税法の法体系	講義・課題	予習：教科書②pp.16-26を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
8	社会の課題と財政・税法	課題を発見して、「経済と税法」で深めよう！ ※開講回は現場との調整などによって前後することがある。	演習・課題・フィールドワーク・グループワーク	予習：社会の課題を3つ準備する。(100分) 復習：ノートを見てグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
9	給与・収入と所得税	10所得区分、控除、累進税	講義・演習・グループワーク・課題	予習：教科書①3限目pp.65-90、教科書②pp.27-31を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義やグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
10	簿記・会計と法人税	自然人と法人 法人の分類 利益？所得？	講義・演習・グループワーク・課題	予習：教科書①5限目pp.111-134、教科書②pp.31-32を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義やグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
11	経済と消費税	直接税と間接税 インボイス制度	講義・演習・グループワーク・課題	予習：教科書①6限目pp.135-158、教科書②pp.36-38を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義やグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当 教員
12	プレゼンテーション ～社会の課題と税	課題を発表して、受講生と共有しよう！ ※開講回は調整の上前後することがある。	講義・SGD・ 発表・グループ ワーク	予習：プレゼンテーションの準備をする。(300分) 復習：ノートを見て全員のプレゼンテーション内容を確認し、わからなかったところをチェックする。 チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。 調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
13	財産と相続税・贈与税 ※進捗状況によっては別 内容の場合もある	※進捗状況によっては別内容の場合もある	講義・演習・ グループワー ク・課題	予習：教科書①5限目pp.91-110、教科書②pp.33-35を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義やグループワークの内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分や関心のあるキーワードを図書館、インターネットなどで調べる。 調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道
14	サマリーとインプリー ケーション	講義全体のまとめと今後の学習に向けて（オンライン授業（課題提出型）） ～①全体の総括をして「経済と税法」全体のイメージをつくる ～②「経済と税法ノート」を自ら確認し、課題を発見する ～③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを考える	演習・課題	予習：講義全体のまとめと今後の学習に向けて、①これまでの経営管理論全体の総括し、②「経営管理論ノート」を自ら確認し、課題を発見し、③今後の学習に向けた皆さんのキーワードを3つ以上準備する。(100分) 復習：ノート作成を中心としたレポート作成に向けて、ノート全体を見直し加筆訂正する。具体的には、①経営管理論および経営学全体を把握するための図や表を作成し、②「経営管理論ノート」を再度確認し、発見した課題への仮説を出典等根拠を示して記述し、③今後の学習に向けたキーワードを確定させる。(300分)	中道
15	発展学習：グローバル経済と国際課税 ※進捗状況によっては別 内容の場合もある	多国籍企業って何？ スターバックスとアマゾンに税金回避？ ※進捗状況によっては別内容の場合もある	講義・課題	予習：教科書②pp.44-48を読んで理解する。わからない用語や概念を事前に調べる。(100分) 復習：ノートを見て講義内容を確認し、わからなかったところをチェックする。チェックした部分を図書館、インターネットなどで調べる。調べた内容をノートにまとめる。ノートには必ず出典を明記する。(100分)	中道

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	イラストでサクッとわかる日本一たのしい税金の授業	稲垣 啓	日本実業出版社
教科書	税法入門（令和6年度版）	税務大学校	国税庁
参考書	よくわかる税法入門〔第19版〕	三木 義一	有斐閣

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					20%	50%	10%	20%
備考								・成果発表20%

【課題に対するフィードバック方法】

原則、毎回の授業前後や授業中に皆さんからの質問へ口頭あるいはTeams投稿でのリプライでお応えします。必要に応じて、フィードバック用紙の配布回収やノート・レポート等をチェックしてコメントをします。グループワークの成果発表等では、各回に解説あるいはコメントをします。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中道 眞	水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます）	NE205	nakamichi@nupals.ac.jp

【その他】

授業開始前までに、日常生活で「財政」あるいは「税」という言葉から連想する内容、例えば大学での授業、高校までに勉強した内容、クラブ活動、家族・親戚、地域の組織など普段の生活も含めてなどを思い出して、「経済と税法」ノートを作って来てください。
本科目は、講義だけでなく、グループワークも実施することで、皆さんと一緒に「経済と税法」を考えてゆく計画です。
なお、担当教員の急な出張や受講生の理解度等の状況に応じて授業計画は適宜変更することがあります。連絡は、授業時間中あるいはTeams等掲示板機能配信等で連絡しますので、注意してください。

英語II EnglishII	授業担当教員	高橋 歩・田村 裕		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

私たちを取り巻く環境や日本人の食生活は急激に変化している。そのような状況に置かれた私たちの心身の健康について書かれたエッセイを精読しながら、読解力を養成し、語彙力を強化する。テキストで取り上げているテーマは「サプリメント」、「心の健康」、「健康と遺伝子」などである。高等学校までに学習した文法項目を復習することで理解を深めさせ、「英語III」などのより上級の科目を学習するための基礎を築く。TOEIC練習用のリスニング副教材を使用してリスニングの強化を図る。ペアワークなどで単語の発音や本文の意味の確認を行い、学習した内容の定着を図る。リスニング力を伸ばすための訓練として、ディクテーションを数回行う。

【到達目標】

平易な英語で書かれた文章を読み、その内容を理解できる。日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。高等学校までに学習した文法を理解し、説明できる。

知識・理解：1. 平易な英語で書かれた文章を正確に読み、その内容を理解する。2. テキストで使用されている基本的な語彙を理解し、身につける。3. 高等学校までに学習した文法事項を理解し、説明できる。

思考・判断：1. 英文を読み、要旨を述べることができる。

関心・意欲・態度：1. 予習をして授業に臨むことができる。2. 私たちの環境や食生活の変化について興味や関心を示す。

技能・表現：1. 日常的な場面で話される英語を聞き取り、その内容を把握できる。2. TOEICリスニング・セクションの問題形式を理解する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション ①Chapter 7: The World's Most Common Disease ②Unit 11: 会話問題	シラバスを読んで、科目の概要や目標、進め方を理解する。テキスト本文を精読する。TOEICリスニング・セクション全体の問題形式を学ぶ。	演習・グループワーク	予習：シラバスをよく読む。テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
2	①Chapter 7: The World's Most Common Disease ②Unit 12: 会話問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
3	①Chapter 7: The World's Most Common Disease ②Unit 13: 会話問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
4	①Chapter 8: Instant Noodles ②Unit 14: 会話問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
5	①Chapter 8: Instant Noodles ②Unit 15: 会話問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
6	①Chapter 9: Supplements ②会話問題のまとめ	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
7	①Chapter 9: Supplements ②ディクテーション	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。ディクテーションを行う。	試験・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。ディクテーションに備え、本文の聞き込みをする。(100分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
8	到達度確認テスト ①Chapter 9: Supplements	到達度確認テストを受ける。テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。	演習・試験・グループワーク	予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。(120分) 復習：テキストと辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(30分)	高橋田村
9	到達度確認テストの解説 ①Chapter 10: The New Global Epidemic ②Unit 16: 説明文問題	返却された到達度確認テストを見ながら解答解説を聞き、理解する。テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
10	①Chapter 10: The New Global Epidemic ②Unit 17: 説明文問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
11	①Chapter 10: The New Global Epidemic ②Unit 18: 説明文問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
12	①Chapter 11: Health and Genes ②Unit 19: 説明文問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
13	①Chapter 11: Health and Genes ②Unit 20: 説明文問題	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
14	①Chapter 12: Mental Health ②説明文問題のまとめ	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、TOEIC形式の問題演習を行う。	演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。(60分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
15	①Chapter 12: Mental Health ②ディクテーション	テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。リスニングCDを聞き、問題演習を行う。ディクテーションを行う。	試験・演習・グループワーク	予習：テキストの単語や熟語の意味を調べる。ディクテーションに備え、本文の聞き込みをする。(100分) 復習：テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村
16	到達度確認テスト ①Chapter 12: Mental Health	到達度確認テストを受ける。テキストの本文を精読し、章末の問題演習を行う。高等学校までに学習した文法事項を復習する。	演習・試験・グループワーク	予習：到達度確認テストに備える。テキストの単語や熟語の意味を調べる。(240分) 復習：テキストと辞書を使用して到達度確認テストの問題をもう一度学習し、自己採点する。テキストの本文を音読する。学習した文法事項や語彙を確認する。(60分)	高橋田村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	①Stay Healthy 明日の健康と医療を考える	Paul Stapleton	センゲージラーニング
教科書	②A Shorter Course in TOEIC TEST LISTENING 450 K (カタノダ) メソッドによる5分間新TOEICテスト・リスニング450	Hiroko Katanoda, Thian Wong	南雲堂
その他	英和辞典を持参すること。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	40%	40%			10%			10%
備考					課題（ディクテーション）			

【課題に対するフィードバック方法】

第1回目の到達度確認テストは授業中に返却し、正答を提示しながら内容を解説する。第2回目の到達度確認テストは、正答および解説をTeamsにアップする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高橋 歩	水曜午後、木曜午後	E403d	ayumi@nupals.ac.jp
田村 裕	授業時間の前後	非常勤講師室	

【その他】

辞書を持参すること。ディクテーションを行うので、本文を聞き込んで臨むこと。

生命情報科学演習 Exercises in Bioinformatics	授業担当教員	宮崎 達雄・井坂 修久・伊藤 美千代		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	0.5単位

【授業概要】

コンピュータの性能向上とともに、生命科学の分野に於いてもコンピュータは欠かすことのできないツールとなっている。また、研究者は自身の研究成果をプレゼンテーションで聴衆にわかりやすく説明するスキルが必須である。そのため、この演習では生命科学系分野のスライド作成技術の基本となる「有機化合物の化学構造式の描画法およびその立体構造可視化法」、「高分子であるタンパク質の立体構造可視化法」、「画像の処理法」、「実験データの統計処理」などを講義する。これらの内容は、「応用生命科学入門実験」、「有機化学実験」、「生体分子化学実験」などの学生実験にてレポートを作成する上で必要なスキルであり、1～3年次の「化学II」、「有機化学I・II」、「有機合成化学」、「生体分子化学」など有機化学系講義の理解を促すツールとして活用できる。本講義は3年次開講科目「バイオインフォマティクス」の基礎に位置づけられる。

【到達目標】

生命科学分野においてコンピューターがどのように利用されているかを知り、その基本操作を身につける。
 知識・理解：生命科学分野においてコンピューターがどのように利用されているか具体的に説明することができる。
 思考・判断：作成した分子模型および描画した化合物の化学構造が正しいかどうか判断できる。
 関心・意欲・態度：コンピューターを使用する利点を理解し、積極的に活用できる。
 技能・表現：生命科学分野においてよく利用されているソフトウェアを用いて、化学構造式の描画および立体構造可視化、タンパク質の立体構造可視化、画像のトリミング・リサイズ・貼り付け、有意差検定などができる。化学構造式からその分子模型を正しく作成できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 分子模型および化学構造式描画ソフトChemDrawの利用法（基礎編）	シラバスを基に授業概要や到達目標を理解する。 分子模型の作成法およびChemDrawの基本操作を学び、単純な分子の分子模型と構造式を作成する。化学構造式と分子の形の関係を理解する。	演習・課題	予習：シラバスの熟読、簡単な有機化合物の化学構造（投影法）について調べる。（20分） 復習：ChemDrawの基本操作の確認。提出課題の作成。（30分）	宮崎 井坂
2	分子模型および化学構造式描画ソフトChemDrawの利用法（応用編）	ChemDrawの応用操作を学び、複雑な分子の構造式を作成する。複雑な分子の分子模型を作成する（グループワーク）。化学構造式と分子の形の関係を理解する。	演習・グループワーク	予習：複雑な有機化合物の化学構造（投影法）について調べる。（20分） 復習：ChemDrawの応用操作の確認。提出課題の作成。（30分）	宮崎 井坂
3	分子モデリングソフトChem3D（基礎編）	Chem3Dの基本操作を学び、低分子化合物の立体構造の作成法およびコンフォメーション解析法を習得する。	演習・課題	予習：簡単な有機化合物の立体構造について調べる。（20分） 復習：Chem3Dの基本操作の確認。提出課題の作成。（30分）	宮崎 井坂
4	分子モデリングソフトChem3D（応用編）	Chem3Dの応用操作を学び、化合物の立体構造の作成法およびコンフォメーション解析法を習得する。	演習・課題	予習：複雑な有機化合物の立体構造について調べる。（20分） 復習：Chem3Dの応用操作の確認。提出課題の作成。（30分）	宮崎 井坂
5	立体構造表示ソフトPyMOL（基礎編）	PyMOLを使ってタンパク質の立体構造の表方法を学ぶ。	演習・課題	予習：タンパク質の立体構造について調べる。（20分） 復習：PyMOLの基本操作の確認。提出課題の作成（30分）	井坂
6	立体構造表示ソフトPyMOL（応用編）	PyMOLを使ってタンパク質の立体構造の活性部位を観察する。	演習・課題	予習：タンパク質の活性部位について調べる。（20分） 復習：PyMOLの応用操作の確認。提出課題の作成（30分）	井坂
7	表計算ソフトExcelを用いたデータ解析	実験データを基にExcelを使用して解析を行う。分散、標準偏差、回帰直線について学ぶ。	演習・課題	予習：Excelを用いたデータ解析法について調べる。（20分） 復習：Excelを用いたデータ解析法の確認。提出課題の作成（30分）	伊藤
8	画像編集ソフトの利用法	電気泳動写真を基に画像のトリミング（切り抜き）やリサイズ（容量の変更）について学ぶ。	演習・課題	予習：画像編集について調べる。（20分） 復習：画像編集ソフトの基本操作の確認。提出課題の作成（30分）	伊藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
参考書	医療系のための情報リテラシー Windows11・Office2021対応	【編】佐藤憲一・川上準子	共立出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						80%	20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

提出された課題を用い、講義時間内に間違いやすい箇所や作成のポイントを解説する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
宮崎 達雄	月曜日～金曜日（13:10～18:00）	生体分子化学研究室（E403b）	tmiyazaki@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp

健康管理 Human Health	授業担当教員	高橋 典子		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

“心身一如”という言葉があるように、人間の心と身体は切り離すことができないし、さらに人間は社会という集団の中で生きなければならない。そのため、心と身体を含めた全体的なものとして健康を考える必要がある。本講義では、まず、心と身体を切り離して健康に関わる基礎的な理論や知識を学んでいく。具体的には、学習、感覚-知覚、認知-記憶といった基礎心理学の分野、および人格の理論、カウンセリングや心理療法、精神疾患の基礎知識にも触れながら、臨床心理学、発達心理学、精神医学などの観点から心と身体を捉え、共に、基本的生活習慣や身体運動の理論といった身体についても学ぶ。そして、これらの理論を踏まえた上で人間を心と身体を含む「全体存在」として捉え、社会の中でどのように生きてゆけるかについて理解を深めていく。

評価方法：定期試験70点、授業態度30点の合計100点とする。授業態度は、授業後のレポートにより評価（1回の講義につき0～2点で評価）する。レポートの評価基準は、質問に的確に回答できているか、講義の内容を踏まえて自身の考えを述べられているかの2点とする。

【到達目標】

心と身体の健康に関する知識を学習し理解を深めると共に、自分自身にとっての健康を考え、それを基に自己理解を深めて日常生活に活かしていくことを目標とする。

知識・理解：

①心と身体の基本的な理論について説明できる。②社会における個人という視点から自身について考えて理解する。③精神疾患やメンタルヘルスについて基礎知識を習得する。④様々なコミュニケーションや方法について理解する。

思考・判断：

①自己理解を深めて自分の心を客観的に捉えることで、自分なりのストレスへの対処法を考えることができる。

関心・意欲・態度：

①自分自身の心身について関心を持ち、自己理解を深めることができる。②周囲の人たちの心の状態にも関心を持ち、自他ともに配慮、尊重することができる。③心と身体の働きや関係に関心を持ち、知識を日頃の生活に活かすことができる。

その他：

①15回すべて出席することができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーションー健康とは？	オリエンテーション：この授業全体の目的や進め方について説明する。講義：健康第一などと言われるが、そもそも健康とは何なのだろうか。そして、健康を考えるうえで心と身体のことを無視することはできない。本講義では、グループワークを通して、「自分にとっての健康とは？」という疑問に向き合っていく。基礎的な知識や理論の習得の前に、自分自身の現段階での健康観について考える。	講義・グループワーク	予習：世界保健機構（WHO）の健康の定義を調べたうえで、自身のこれまでの生活や人間関係を振り返り、自分にとっての健康とは何かについて考えてみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
2	基本的生活習慣と健康	身体は資本である。日頃的生活習慣を見直すことは、身体的な病気を予防するうえでも重要である。一方で、身体的な疾病が必要な場合もある。基本的生活習慣について基礎知識を学ぶと同時に、心が身体を通して表現することについても考えてみる。	講義	予習：教科書(心と体の健康・スポーツ)の第1章(1)と、参考書(こころの処方箋)のNo. 8,24を読み、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
3	学生生活の充実と健康	学生生活を送るうえで、様々な病気や精神障害などを体験する可能性は常にある。楽しい学生生活の裏に潜む危険や予防のための知識を身につける。	講義	予習：教科書(心と体の健康・スポーツ)の第1章(2)と、参考書(こころの処方箋)のNo. 10,26,38,49を読み、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
4	学習	我々人間は生きる過程の中で、あらゆるものを学習している。基本的な学習理論を概観し、学習の過程や効果について理解を深める。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第2章を読んで、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
5	感覚-知覚と認知-記憶	人間は、身体感覚や言葉にならない感覚としての第六感を通して様々なものを知覚し、意識で捉えられるものに関しては認知し必要に応じて記憶している。人間の感覚-知覚の機能、認知プロセスや記憶のメカニズムについて学習する。また、グループワークを通して、言葉にならない身体感覚を体験的に学ぶ中で心と身体の距離についても考えてみる。	講義・グループワーク	予習：教科書（はじめての心理学）の第3・4章を読んで、興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
6	社会における個人と集団	人間は、社会の中で生きることを強いられており、これは避けようのないものである。講義では、社会の中の個人という視点から社会的役割やアイデンティティについて考える。また、集団における人間の心理や行動、コミュニケーションに関する理論も学習する。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第5章と、こころの処方箋（No. 1, 6, 18）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
7	人格とは	人間は皆、人格を持って存在している。人格は、その人自身を表すものであり、人格を見つめることが自身を知ることに繋がってくる。講義では、人格の諸理論や人格形成に影響を及ぼす要因などを学び、自分は何者か、について少し考えを深めてみる。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第6章と、こころの処方箋（No. 55）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
8	心の発達1	「三つ子の魂百まで」という言葉があるように、乳児期からの発達過程はその後も大きく影響する。この講義では、乳児期～学童期までの心の発達について学習し、人間はどのように養育者との愛着を形成し、どのように個として成長していくのかについて学習する。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第7章と、こころの処方箋（No. 5, 22, 34, 44）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
9	心の発達2	思春期・青年期の時期は、親からの自立やアイデンティティの確立が大きなテーマであり心身共に不安定になりやすい。しかし、この時期があるからこそ、人間は自立へと向かって歩みだせるのである。講義では、この時期の人が経験する危機や心の在り方について、身体的な側面も含めながら考える。	講義	予習：教科書（はじめての心理学）の第8章と、こころの処方箋（No. 22, 29）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
10	心の構造1	無意識は、思考や感情、行動に影響を与え、それは身体でも表現される。むしろ、身体は無意識であるため、こころについて考えるとき、身体も含めた人間存在全体として考える必要がある。講義では、心理学におけるコンプレックスの捉え方と一般化されたいくつかのコンプレックスを通して、無意識の働きを理解する。	講義	予習：教科書の第9章を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
11	心の構造2	人間は常に心の機能を駆使して生きている。そして、この機能が上手く働かない時に、人間は病を患ったり、困難を抱えたりする。こころの役割の一つとしての「防衛機制」や、フロイトやユングが提唱した無意識の概念についても学ぶ。また、心理療法の中での無意識的な表現として、夢、箱庭、描画についても紹介する。	講義	予習：教科書の第10章を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
12	心の癒し	我々人間はなぜ悩み苦しむのか、そしてそれらは時として心理的・身体的な病として表れる。講義では、講師の経験などを基に心理療法について知り、その大切さや自分自身のこころについて考える。	講義	予習：教科書第11章を読む。また、こころの処方箋No.20と他の箇所を読んでみて癒された言葉があれば、それについて自分なりに考えてみる。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
13	メンタルヘルス	メンタルヘルスの問題を考えるうえで、心の健康について考えることはもちろん、身体の健康についても考えなければならない。では、健康とは何なのか。心の健康と保たてることができることはなにか。第1回で考え、ここまで学んできた内容を含め、今一度、健康について考えてみる。	講義	予習：教科書の第12章とこころの処方箋（No.10, 40）を読む。興味を持ったところや疑問に思ったところを書き出してみる。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当 教員
14	文化と多様性	人が生きる上で必ずその背景にある文化が人のところに与えているものについて考え、現代のキーワードの一つとなっている多様性について、セクシャル・マイノリティの基礎知識（LGBTとは？、カミングアウト、アウティングなど）を中心に学び、多様な性の在り方や生き方について考えを深める。	講義	予習：教科書の第12章を読み、書籍やインターネットなどでセクシャル・マイノリティについて調べてみる。こちらの処方箋（No.19）を読み、考えを深める。（70分） 復習：講義内容をまとめる。（200分）	高橋
15	総括	第1回～第14回までの講義のまとめを行う。心の健康を考える上で特に重要なポイントや理解してほしい概念、考えを深めてほしいことについて再度取り上げる。	講義	予習：第1回～第14回までの授業を振り返り、自分なりにまとめてみる。疑問点やよく理解できていないところがあれば、質問できるようにしておく。（70分） 復習：講義全体を通しての重要なポイントを理解し、説明できるようにする。	高橋

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	はじめての心理学	氏原寛・松原恭子・千原雅代編	創元社
教科書	心と体の健康・スポーツ（※該当ページを授業で配布する）	茨城大学 心と体の健康研究会 編	大修館書店
参考書	こころの処方箋（※該当ページを授業で配布する）	河合隼雄	新潮社
参考書	コーピングのやさしい教科書	伊藤絵美 著	金剛出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション 試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%						30%	
備考							講義後のレポート提出で評価。詳細は授業概要に記載。	

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験終了後に、模範解答をPortal Nupalsに掲載する。
授業後に提出するレポート課題については、授業内で全体的なフィードバックを行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高橋 典子			

<p style="text-align: center;">キャリア形成実践演習 Practice and Seminar for Career Development</p>	授業担当教員	重松 亨・伊藤 美千代・市川 進一・松本 均・小瀬 知洋・宮崎 達雄・村上 聡・中村 豊・中道 眞・杉田 耕一・小長谷 幸史・大野 正貴		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 後期～2年次後期（2025年度入学生～）、1年次 後期～3年次後期（～2024年度入学生）	単位数	1単位

【授業概要】

社会に対して積極的な学生生活を送るとともに、周囲の人たちとコミュニケーションがとれるような人格形成を目的として、ボランティア活動や地域の行事への参加を促す。事前学習、実際の活動、事後学習を通してキャリア形成が向上しているか評価し、最終的にはレポートの内容により評価を行う。履修期間は1年次後期～2年次後期（2025年度入学生～）あるいは1年次後期～3年次後期（～2024年度入学生）とし、2年次後期に1単位を授与（2025年度入学生～）あるいは3年次後期に1単位を授与（～2024年度入学生）する。履修期間内の半年間で活動を行うが、活動時期は学生によって異なる。前期は応用生命科学科2年2組および生命産業ビジネス学科2年（学籍番号後半）が活動を行い、後期は応用生命科学科1年1組および生命産業ビジネス学科1年（学籍番号前半）が活動を行う。活動時期になったら対象学生に説明会の案内を配信する。履修登録は、活動完了の有無にかかわらず2年次後期（2025年度入学生～）あるいは3年次後期（～2024年度入学生）までは毎期履修登録を行う。この場合の毎期とは、1年次後期、2年次前期、2年次後期、3年次前期、3年次後期を指す。本科目は、1年次開講科目「フレッシュャーズセミナー」の発展的な内容として位置付けられる。

【実務経験】

担当教員松本（本演習の中でひとつのグループを担当する）は、食品企業において、食品の研究開発営業マーケティング業務に25年間従事した経験を活かして、社会の一員として必要な地域のコミュニティとの関連性（付き合い方）について指導する。担当教員の杉田は、大手上場企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、地域社会とのコミュニケーションをとりながら様々な事業を推進してきた。このような実務経験を活かして、地域の方々との付き合い方や良好な関係の作り方などを指導する。担当教員村上は、公立中学校教諭として勤務し、教員の研修指導、初任者教諭の育成と教育実習生の受け入れを担当した。その実務経験を基に、自らの力量向上と他者との良好な関係づくりについて高い専門性とその理論的背景を講義とALにより展開する。

【到達目標】

ボランティア活動や地域の行事への参加を通じ、コミュニケーション能力を身に付け、積極的な人格形成を目的とする。同時に働くことの意義を理解し、さらにボランティア活動などにも積極的に参加する姿勢を身につける。
 知識・理解：1. キャリア形成の意味と必要性を理解できる。2. 職業観・勤労観を理解できる。3. 対人関係における自分の位置付けを理解できる。
 思考・判断：1. 課題に対してよく考慮し、適切な判断ができる。
 関心・意欲・態度：1. 様々な事に関心を示し、積極的に取り組むことができる。
 技能・表現：1. 自己を適切に表現できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。また、ボランティア活動や地域の行事に参加する際の注意事項について学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読（30分） 復習：講義内容（30分）	重松 市川 松本 小瀬 宮崎 中村 伊藤 小長谷 村上 中道 杉田
2	事前学習	ボランティア活動や地域の行事への参加前の注意事項と目的についてグループ討論により確認を行う。	演習・実習・SGD	予習：参加するボランティア活動や地域の行事について調べる。（30分） 復習：事前学習の内容について振り返りを行う。（30分）	重松 市川 松本 小瀬 宮崎 中村 伊藤 小長谷 村上 中道 杉田
3~14	ボランティア活動、地域の行事への参加	周囲の人たちとコミュニケーションをとり、目的を達成する。ボランティア活動や地域の行事に積極的に参加する姿勢を身に付ける。	演習・実習・SGD	予習：事前学習で学んだ内容を熟知する。（360分） 復習：参加した活動について振り返りを行う。（360分）	重松 市川 松本 小瀬 宮崎 中村 伊藤 小長谷 村上 中道 杉田
15	事後学習	参加したボランティア活動や地域の行事についてグループ討論を行い発表を行う等、振り返りを行う。	演習・実習・SGD・発表	予習：参加したボランティア活動や地域の行事について目的が達成されたか確認を行う。（30分） 復習：事前学習、実際の活動、事後学習について振り返りを行い、レポートを作成する。（30分）	重松 市川 松本 小瀬 宮崎 中村 伊藤 小長谷 村上 中道 杉田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	キャリア形成実践演習課題一覧		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						30%	60%	10%
備考						活動終了後のレポート等	事前学習・実際の活動・事後学習での授業態度	成果発表（事後学習における発表）

【課題に対するフィードバック方法】

授業に関して寄せられた要望はMicrosoft Teamsを利用して回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
重松 亨	開講日18:00～20:00	食品・発酵工学研究室(E302a)	shige@nupals.ac.jp
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp
市川 進一	月曜日～金曜日 13時40分～15時10分	E102a教授室	shin@nupals.ac.jp
松本 均	月曜日～金曜日の9:00-18:00（休日、代休日を除く）	食品機能学研究室（E203a）	hitoshi.matsumoto@nupals.ac.jp
小瀬 知洋	必ずメールかTeamsでアポイントを取ってください。土日祝日を除く平日の15:00 - 17:00の間で時間を調整します。	新津C E401a	tkose@nupals.ac.jp
宮崎 達雄	月曜日～金曜日（13:10～18:00）	生体分子化学研究室（E403b）	tmiyazaki@nupals.ac.jp
村上 聡	月～金の昼休み その他の時間を希望する場合は個別に相談に応じる	理科教育学研究室(E401c)	s-murakami@nupals.ac.jp
中村 豊	平日の13:10-18:00	環境有機化学研究室(E402a)	nakamura@nupals.ac.jp
中道 真	水曜日・木曜日（講義等除く13:00～17:00.随時Mail,Teamsのアポイント受付ます）	NE205	nakamichi@nupals.ac.jp
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。	NE211	agri-sugita@nupals.ac.jp
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	E101生物学研究室	konayuki@nupals.ac.jp
大野 正貴	平日10:00～17:00、事前にメールかTeamsでアポイントを取ってください。	新津C 環境工学研究室(E401b)	mohno@nupals.ac.jp

【その他】

この科目にはいがたマインド学生マイスター取得対象科目です。（生命産業ビジネス学科のみ）

情報リテラシー応用

Advanced Information Literacy

授業担当教員	星名 賢之助・浅田 真一・富永 佳子・川村 暢幸・伊藤 美千代・井坂 修久・若栗 佳介・佐藤 里佳子		
補助担当教員	関川 由美		
区分	教養必修科目		
年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

デジタル社会の「読み・書き・そろばん」として「数理・データサイエンス・AI」が位置づけられています。その意味は、私たちがデータから適切に情報を収集し、判断することは、現代社会における標準スキルとして身に付けるべき、ということです。本講義では、「数理・データサイエンス・AI」とは何か、実社会における数理・データサイエンス・AIがどのように利用されているか、についての講義を行います。その上で、具体的にデータ収集とデータ処理が出来る能力および、社会における数値データを適切に解釈するためのスキルが身に付けられるように演習形式で指導します。生活や仕事場に急速な変化をもたらすAIに対して、私たちはどのように関わるべきなのか、自ら考える機会としてほしいと考えます。本科目は、1年次前期開講科目「情報リテラシー基礎」の基礎的な知識が必要とされます。

【実務経験】

富永：製薬会社（内資系・外資系）等において新薬開発およびマーケティングの業務に25年以上携わり、開発段階の臨床試験データの統計解析や製品戦略構築のための市場調査解析の実務経験を活かして、実践的な視点で講義を行う。

【到達目標】

- 1) 今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身につける。
- 2) 人工知能（AI）の利活用、できること、できないことを理解し、説明できる。
- 3) グループとして様々な事業分野（医・薬・農業・経済・その他）における先進AI利活用事例の調査・発表に取り組み、協働・共調学修を通じて、さらに学びを深める。
- 4) 現実社会で見られる事象の綿密な要因分析により根底にある課題を特定し、そのための解決策を考えることができる。
- 5) 公的統計データ、実データを用いて、データの種類に応じた適切なまとめ方や分析手法について理解する。
- 6) 日常生活におけるデータサイエンスの応用事例とその意義を説明できる。
- 7) データの種類による違い、簡易統計量のそれぞれの意味、データの種類や目的に応じた分析・統計解析の手法を理解し、説明できる。
- 8) 様々なグラフ表現を理解し、その違いを説明できる。
- 9) 分析手法やグラフ表現の選択、結果の解釈など根拠を持った判断ができる。
- 10) 積極的に授業内容に対する質問や意見を提示し（Teamsでの質問提示を含む）、クラス全体としての協働・協調学修に貢献する。
- 11) Microsoft Excelを用いて集計・解析およびグラフ作成ができる。
- 12) Microsoft Powerpointを用いて、調査結果をまとめた発表資料が作成できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	人工知能（AI）・データ解析を学ぶ意義	人工知能（AI）の急速な進展に代表される近未来に向けて、情報リテラシーを学ぶ意義、社会におけるデータの役割、社会で起きている変化について学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読（80分） 復習：復習：講義内容を整理し、まとめる。（180分）	星名 浅田 富永 伊藤 若栗 井坂 佐藤 川村 関川
2	AIの仕組み	AI（人工知能）とは何か、その仕組み、背景となる必要性、実現する技術、利用例について学ぶ。それを課題として利用方法についてグループ単位で調査を行う。	講義・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
3	AI活用例の調査（1）	AIの活用方法（医・薬・農業・経済・その他）の具体的事例を1つ選び、それを課題として利用方法についてグループ単位で調査を行う。	講義・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
4	AI活用例の調査（2）	調査資料を元にパワーポイント発表ファイルとしてまとめる。	講義・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
5	AI調査結果のまとめ、発表資料の作成（1）	調査資料を元に発表ファイルとしてパワーポイントでまとめる。	講義・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
6	AI調査結果のまとめ、発表資料の作成（2）	調査資料を元に発表ファイルとしてパワーポイントでまとめる。	講義・発表・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
7	AI調査結果の発表、討論（1）	各グループからの発表を通じて、AIができること・できないこと、活用方法、具体的事例を共有し、クラス全体で互いの学びを深める。	講義・発表・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
8	AI調査結果の発表，討論（2）	各グループからの発表を通じて、AIができること・できないこと、活用方法、具体的事例を共有し、クラス全体で互いの学びを深める。	講義・発表・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	富永 浅田 星名 伊藤 若栗 佐藤 川村 関川
9~10	データ分析（1-2）：データとAI，データとは 分析のためのエクセル操作、p値の導出	データ分析の概要、データの表現・収集、留意事項、AIの関係について学ぶ。 Excelを利用したデータ分析の基礎について学び、検定の基礎となるp値が導出できるようになる。	講義・演習	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	若栗 井坂 伊藤 佐藤 川村 関川 星名
11~12	データ分析（3-4）：確率、独立、検定	母集団と標本の間を関係理解した上で、検定の理論と方法論を学ぶ。平均の検定や平均の差の検定を通じ、確率の解釈と独立性の概念を習得する。これらの知識を活用し、データから有意義な結論を導き出すスキルを身につける。	講義・演習	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	若栗 井坂 伊藤 佐藤 川村 関川 星名
13~14	データ分析（5-6）：相関、回帰分析	相関分析と回帰分析を学び、二変数間の関係性を探る手法を習得する。これらの分析手法を用いる際の注意点を理解し、データに基づく予測モデルの構築方法を学ぶ。	講義・演習・課題	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	若栗 井坂 伊藤 佐藤 川村 関川 星名
15	データ分析（7）：エクセルを利用したデータ分析	実データのデータ分析を行う（試験）。 分析手順について解説を行う。	講義・演習・課題	予習：授業資料を読んでくる。(130分) 復習：講義内容を整理し、まとめる。(130分)	若栗 井坂 伊藤 佐藤 川村 関川 星名

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	データサイエンス入門	上藤一郎、西川浩昭、朝倉真粧美、森本栄一	オーム社
参考書	AI・データサイエンスの基礎	吉原幸伸	アイテック

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					35%	15%	20%	30%
備考					・講義時間内の確認試験：9～14回（5%×3日＝15%），15回試験（20%）	・課題提出：9-10, 11-12, 13-14が実施される3日間は課題をだします。その提出状況で採点します。	・グループワークの進捗報告（5%）、グループワークへの貢献度（15%）	・成果発表（AI調査の発表・討論）

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた要望・質問は、試験内容は、授業内・Teamsでフィードバックします。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
星名 賢之助	月～木 15:00-18:00	薬品物理化学研究室（F棟302a）	hoshina@nupals.ac.jp
浅田 真一	月曜日～金曜日 12:10～12:45 その他Teamsのchatで随時連絡可	薬学教育センター（F棟地下1階 FB101）	asada@nupals.ac.jp
富永 佳子	月～金、8:30～18:00（事前連絡が望ましい）	社会薬学研究室（F棟508）	y-tominaga@nupals.ac.jp
川村 暢幸	平日 10:00～16:00 Teams chatで事前連絡が確実	薬学教育センター F棟B101b	kawamura@nupals.ac.jp
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp
若栗 佳介	月～金 11:00～17:00	新津駅東キャンパス（NE212）	wakakuri@nupals.ac.jp
佐藤 里佳子	月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）	応用微生物・遺伝子工学研究室（E201）	rsato@nupals.ac.jp
関川 由美	月～金 10:00～18:00	薬学教育センター（F棟B101）	sekigawa@nupals.ac.jp

【その他】

※シラバス1～8回は、AIに関する調査・討論およびPowerpointを用いた発表資料作成を行います。

※シラバス9～15回は、統計解析の基礎演習をExcelを用いて行います。

※講義の順番はシラバス通りではありません。別途指示します

※毎回、各自ノートパソコンを持参してください。

※前期情報リテラシー基礎で使用した資料を持参するようにしてください。

英語コミュニケーションII Communicative EnglishII	授業担当教員	Alistair Gillett		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（外国語）		
	年次・学期	1年次 後期（2025年度入学生～）、2年次 後期（～2024年度入学生）	単位数	1単位

【授業概要】

This class focuses on oral communication skills. An important goal of this course is to help all students, regardless of English level, to gain confidence in using English to express their ideas, feelings, and experiences. The course uses information provided by students real lives to practice speaking, reading, writing, and listening to build on skills learned in junior and senior high school. The target is to move towards CEFR pre-B1.

Note : Content of any class can be changed upon the discretion of the instructor.

【到達目標】

This course will help students improve their English speaking and listening comprehension skills. Students will focus on learning to communicate effectively in English about a variety of topics. Classwork will include: Speaking, listening comprehension exercises, note taking, reporting, and grammar focus. Students will share their ideas and experiences in English while involved in pair, small, and large group discussion activities. There will also be group and solo presentation. Most lessons conclude with a one-to-one talk with the teacher.

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	How was your holiday? Summer Class Interview.	Phonics communicative activity. Listen close activity. Reading and comprehension activity, writing activity, Class interview activity, Student writing activity. Teacher interview.	講義・演習	予習：Review last semester（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
2	More Adjectives	Phonics communicative activity. Vocab focus x 2. Pair practice. Question production and interview. Report to teacher.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
3	Mascots. More adjectives practice	Phonics communicative activity. Student research. Communicative Adjective activity. Pair design activity writing A.I. prompts in English. Report to teacher.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
4	~ed/~ing adjectives	Phonics communicative activity. Vocab focus. Grammar focus. Grammar practice activity. Interview activity. Report to teacher.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
5	Making Stories	Phonics communicative activity. Story structure focus. Group brainstorm. Individual writing activity. Emphasis in speaking activity. Report to teacher.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
6	The Hungry Caterpillar. Adjective/noun story presentation preparation.	Groups choose Adjective + noun combination. Group brainstorm story. Write scrip	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
7	The Hungry Caterpillar. Adjective/noun story presentation preparation	Continue with script. Use A.I in English to produce presentation slides. Emphasis in speaking practice.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
8	The Hungry Caterpillar. Adjective/noun story presentation. Graded	Explanation of grading. Presentation.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
9~10	Group activities while interview teacher test. Graded + post presentation analysis.	Graded individual interview including presentation performance analysis, while review group sentence unscramble activity	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
11	Where would you like to go? Hypothetical English	Picture activity. Grammar focus. Group close activity. Individual writing activity. Report to teacher.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
12	My perfect home. Individual presentation preparation	Introduction example. Group brainstorming. Individual writing. Teacher check.	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
13	My perfect home. Individual presentation preparation	Writing A.I. prompts in English to produce visual for presentation. Emphasis in speaking activity. Practice presentation. Teacher check	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
14	My perfect home. Individual presentation graded	Individual presentation +group Q&A activity	講義・演習	予習：Worksheet（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair
15	In the future I would. Hypothetical + future tense	Grammar focus. Group brainstorm activity. Individual writing activity. Grammar focus activity. Writing check. Report to teacher.	講義・演習・試験	予習：All lessons（120分） 復習：授業内容（120分）	Alistair

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	配布資料		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合				25%	25%	15%	25%	10%
備考				interviews	presentations			

【課題に対するフィードバック方法】

テスト解答例を採点済答案とともに返却します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
Alistair Gillett			

【その他】

質問がある場合は、授業時間前に用紙に英語またはローマ字で記入してください。
授業中にお答えします。
教科書はありません。

地学 Earth Science	授業担当教員	藤林 紀枝		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（自然科学系）		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

プレートテクトニクス、地殻を構成する岩石、火山活動、地震活動と断層、地球の歴史、大気の循環、惑星と星などについて講述する。本講義の内容を踏まえて、二年次に地学実験を実施する。

【到達目標】

本授業を通して、地球内部および表層部で起きている運動、それに関連して起きる地学現象について理解し、説明することができるようになる。
知識・理解：地球内部の構造、プレートテクトニクス、地表の変化と岩石（地層）の形成過程、大気の成層構造と循環、惑星と恒星についての基礎的事項について理解する。
思考・判断：身近な自然現象を、地球全体のシステムの中で起きていることとして捉えることができるようになる。
関心・意欲・態度：自然現象に興味を持ち、自ら調べることができるようになる。
技能・表現：インターネットを活用して、必要な情報を得ることができるようになる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 地球の概観と構造	地球の形、大きさ、他の惑星との違いなどについて説明する。	講義	予習：不要 復習：地球楕円体及の形と大きさ、緯度による重力の変化について理解すること。(90分)	藤林
2	海洋地殻と大陸地殻	海洋地殻と大陸地殻はその厚さ、密度、構成岩石の種類、でき方が大きく異なっている。その違いについて概説する。	講義	予習：「オフィオライト」について調べておくこと。(30分) 復習：海洋地殻と大陸地殻の違いについて、密度、構成岩石の点からその違いを理解すること。(90分)	藤林
3	大陸移動とプレートテクトニクス	大陸移動説、海洋低拡大説、プレートテクトニクス説、ブルームテクトニクス説について概説する。	講義	予習：プレートテクトニクスについて予習すること。(60分) 復習：各学説の根拠になった事象についてまとめること。(90分)	藤林
4	マグマとは	マグマとは何か、それを構成する化学成分、粘性、飽和してできる結晶（鉱物）の種類、火山ガラスと結晶の違い、火山ガスの成分などから講述する。	講義	予習：鉱物の化学式を配布資料で学習しておくこと。(30分) 復習：マグマの粘性（流動性）とマグマに含まれる化学成分の割合（化学組成）の関係を理解すること。(90分)	藤林
5	中央海嶺の火山活動	海洋地殻を形成する中央海嶺の火山活動について、写真資料を示しながら紹介する。	講義	予習：不要 復習：溶岩の表面形態と名称について復習すること。(90分)	藤林
6	島弧の火山活動	マグマの発生メカニズム、マグマの多様性、SiO ₂ 含有量と粘性の関係等について解説し、中央海嶺の火山活動と違う火山活動の特徴を説明する。	講義	予習：火山岩の分類について調べておくこと。(30分) 復習：マグマの粘性と火山の形の関係について理解すること。(90分)	藤林
7	爆発的噴火の仕組み	火山の爆発的噴火の種類とその素過程、マグマの粘性との関係などについて講述する。	講義	予習：不要 復習：マグマ中に溶解していた火山ガス成分の体積変化についての計算課題を出すので、次回の授業時に提出すること。(120分)	藤林
8	水の働き・堆積岩と堆積作用	風化作用ー浸食作用ー運搬作用ー堆積作用といった一連の過程を経て形成される堆積岩のでき方、含まれる化石からわかる地質年代や古環境について、また他の作用で形成される堆積岩について概説する。	講義	予習：風化作用について調べてくること。(60分) 復習：授業でわからなかった内容について調べること。(90分)	藤林
9	変成岩と変成作用	プレートの沈み込みに関連して形成される広域変成岩、マグマの熱によって形成される接触変成岩、男装活動に伴って形成される動力変成岩とそれらの変成作用について講述する。	講義	予習：変成岩とは何か調べること。(60分) 復習：授業でわからなかった内容について調べること。(90分)	藤林
10	地震と断層	プレート境界型、内陸型の地震と断層との関係について、日本列島及び周辺海域の活断層分布、震源の深さ等かを示しながら講述するとともに、PCを用いて気象庁および防災科学研究所の地震データにアクセスし、震源の3次元分布の様子を調べる作業をする。	講義	予習：2024年能登半島地震、2007年中越沖地震、2004年中越地震、1964年新潟地震の震源の深さを調べてくる。(60分) 復習：日本列島の震源分布と沈み込んでいるプレートとの関連についてまとめる（レポート）。(120分)	藤林
11	地殻変動：造山運動とアイソスタシー	プレート衝突境界に形成されたアルプスヒマラヤ造山帯とプレート沈み込み境界に形成された環太平洋造山帯の違いについて後述するとともに、氷床の融解やマグマが地殻に深成岩体を作ることによって起こる地殻変動について講述する。	講義	予習：造山帯について調べてくること。(60分) 復習：演習プリントの課題を出すので、次回までに計算して提出すること。(90分)	藤林
12	地球の歴史	地層に記録された古地磁気、年代、化石などから推定される地球誕生後の生物界の変遷や気候変動の歴史について講述する。	講義	予習：地球磁場について調べてくること (90分) 復習：地球環境の変遷について復習すること。(60分)	藤林
13	日本列島の地質	4つのプレートの境界に位置する日本列島の地質について、現在の地質構造から説明する。	講義	予習：参考書等で日本列島の地質について書かれた資料をteamsで配布するので、読んでくること。(60分) 復習：日本列島の地質について概要をつかむ。(90分)	藤林
14	大気の構造	大気圏の層構造と大気の循環について講述する。	講義	予習：大気の成層構造について調べておくこと。(60分) 復習：対流圏での大気の循環について概要を把握すること。(90分)	藤林
15	太陽系と惑星・星と宇宙	太陽系の惑星についてと恒星の明るさ、表面温度、恒星の進化について講述する。	講義	予習：不要 復習：惑星と恒星について理解すること。(90分)	藤林

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	teamsまたは紙媒体で資料配布		
参考書	基礎地球科学 第3版（2019年）	西村祐二郎ほか	朝倉書店

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						80%	20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

課題については後日の授業で解説する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
藤林 紀枝	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

気象学 Meteorology	授業担当教員	本田 明治		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】

生活拠点における気象・気候は様々な疾患に大きく関わることであり、気象・気候の理解は、その地域における生活者の健康自立に重要な意味を持つことになる。そこで本講義では、身近に起こるさまざまな大気現象とその変化・変動の仕組みを理解することを目的とする。

【到達目標】

雨や雪の降る仕組み、気温が決まる仕組み、風が吹くメカニズムを物理的な視点から理解して、定性的に説明することができる。
天気図をみて気象概況が理解でき、気象情報を有効に活用して天気・天候を見通しを立てることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	地球と大気	太陽系の中の地球、大気鉛直構造、オゾン層の役割	講義	予習：気象に関する図書（ガイダンスでお勧めした参考書など）を図書館などで読んでみる。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に出題した練習問題を解く。（120分）	本田
2	大気熱力学（雨や雪の降る仕組み）I	状態方程式、エネルギーの保存、乾燥断熱変化と温位、水の相変化、水蒸気を表す量	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に出題した練習問題を解く。（120分）	本田
3	大気熱力学（雨や雪の降る仕組み）II	湿潤断熱変化と相当温位、大気の安定・不安定、降水・降雪過程、水滴の生成と成長、暖かい雨・冷たい雨	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に出題した練習問題を解く。（120分）	本田
4	大気放射（気温が決まる仕組み）	黒体放射、太陽放射と地球放射、放射平衡、散乱と吸収、温室効果、地球のエネルギー収支	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に出題した練習問題を解く。（120分）	本田
5	大気力学（風が吹く仕組み）	運動方程式、気圧傾度力、コリオリ力と地衡風、高気圧と低気圧	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に出題した練習問題を解く。（120分）	本田
6	天気図を描いてみよう	天気図の基礎、天気図の見方	講義・演習	予習：天気図の描き方の資料を予めよく読んでおき、天気図に用いる記号を理解しておく。等値線を引く練習をしておく。（30分） 復習：天気図を清書し完成させる。（150分）	本田
7	小テスト（30分程度）・気候システム	気候システムとは？、大気大循環と波動、大気と海洋の相互作用、	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。 小テストに向けて、これまでの授業時の配付資料、ダウンロードした講義資料を見返し、出題した練習問題を全て解く。（120分） 復習：実施した小テストを振り返り解答できなかった箇所は資料等で確認しておく。授業時の配付資料、NUPALSからダウンロードした講義資料を見返し、講義中に出題した練習問題を解く。（60分）	本田
8	地球温暖化と異常気象	地球温暖化の実態と予測、異常気象の要因とメカニズム、近年の異常気象	講義	予習：前回の配付資料、講義資料を一通り振り返っておく。（60分） 復習：期末試験に向けて、全授業時の配付資料、ダウンロードした講義資料を特に講義中に示した重点箇所を中心に見返し、講義中に出題した練習問題も全て解く。（120分）	本田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	図解 気象学入門	古川武彦他・著	講談社ブルーバックス
参考書	トコトン図解 気象学入門	釜塚弘隆・川村隆一・著	講談社
参考書	ニュース・天気予報がよくわかる気象キーワード事典	筆保弘徳他・著	ベレ出版
参考書	地球温暖化で雪は減るのか増えるのか問題	川瀬宏明	ベレ出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%				10%	10%		
備考					小テスト	天気図		

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験の問題及び解答例はcyber - NUPALSにアップロードします。
小テストは採点のうえ解答を示し返却します。
レポートは採点して返却します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
本田 明治	講義終了後	非常勤講師室（A棟209室）	

【その他】

その他の試験は、講義内容の確認テストです。
成績評価は合計60%以上を合格とします。

<h1>昆虫と人のかかわり</h1> <h2>Insect Ecology</h2>	授業担当教員	工藤 起来		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

本講義は、昆虫学に関する内容と、それに関連する進化生物学について扱う。昆虫学については、まず体節構造や系統関係について概観した上で、その多様性についても触れる。また、ハチ類を中心とした毒をもつ昆虫の生態や社会の仕組みについて概説する。さらに、近年問題となっている外来昆虫について、法制上の問題に加え、人間の生活にどのように影響するかを扱う。これら昆虫学の話題に触れた後、ダーウィン以降の進化生物学、すなわち自然選択や性選択について、理論や近年までの研究の発展について解説する。

【到達目標】

昆虫の体の構造や多様性、系統関係について理解し、毒をもつ昆虫や外来昆虫の生態についても説明できるようになる。進化生物学が発展した歴史的経緯やその理論について理解できるようになる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	昆虫の体節構造	昆虫の体の構造	講義	予習：本時で考えられる講義内容、特に昆虫の体節構造についての書籍を読み、講義内容について、理解を得ておく。(90分) 復習：昆虫の体節構造 (90分)	工藤
2	昆虫の系統関係	昆虫の系統関係の変遷	講義	予習：昆虫の系統関係の変遷 (90分) 復習：昆虫の体節構造 (90分)	工藤
3	昆虫の多様性（1）	ヨーロッパや北米、日本における昆虫の多様性	講義	予習：日本や諸外国における昆虫の多様性 (90分) 復習：近年の昆虫の系統関係 (90分)	工藤
4	昆虫の多様性（2）	昆虫の多様性と植物の関係	講義	予習：昆虫の多様性と植物の関係 (90分) 復習：昆虫の多様性：日本における昆虫の多様性 (90分)	工藤
5	進化論の発展	ダーウィン以前の生物現象の捉え方	講義	予習：進化論が発展した歴史的経緯 (90分) 復習：進化論の発展 (90分)	工藤
6	自然選択（1）	自然選択理論	講義	予習：「自然選択」について配布した資料や参考書により理解しておく。(90分) 復習：ダーウィンが提案した「自然選択」についての概念を、配布した資料や参考書により確認する。(90分)	工藤
7	自然選択（2）	種分化と適応放散	講義	予習：自然選択の概念についての話題を扱うので、前時の内容を確認する。(90分) 復習：資料中の種分化について確認しておく。(90分)	工藤
8	自然選択（3）	ハーディ・ワインベルグ平衡	講義	予習：進化の概念を扱うが、進化とは遺伝子頻度の変化であり、そのことを理解するためには、ハーディ・ワインベルグ平衡を中心とした集団遺伝学についての理解が必要である。この問題についての確認を事前にしておく。(90分) 復習：ハーディ・ワインベルグ平衡について、計算の方法も含め、確認しておく。(90分)	工藤
9	性選択（1）	配偶者選択前	講義	予習：ダーウィンが自然選択に続いて提案した概念を扱う。事前に配布した資料に目を通し、どのような概念を扱うか、把握しておく。(90分) 復習：動物が示す配偶者選択前の行動について確認する。(90分)	工藤
10	性選択（2）	配偶者選択後	講義	予習：前時の配偶者選択前について確認しておく。(90分) 復習：本時の配偶者選択後について内容を把握する。(90分)	工藤
11	ハチ類を中心とした社会性昆虫（1）	進化的生物学的視点	講義	予習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：自然選択 (90分) 復習：昆虫の多様性と植物の関係 (90分)	工藤
12	ハチ類を中心とした社会性昆虫（2）	遺伝マーカー	講義	予習：近年発達した遺伝マーカーの技術が欠かせない。また、遺伝情報をよみとるための方法についての理解も必要である。これらの話題について、資料を読み、理解しておく。(90分) 復習：マイクロサテライトマーカーの発展や応用について確認する。(90分)	工藤
13	ハチ類を中心とした社会性昆虫（3）	毒の生産と刺傷被害	講義	予習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：毒の生産と刺傷被害 (90分) 復習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：血縁選択 (90分)	工藤
14	外来昆虫（1）	外来生物法	講義	予習：外来昆虫：外来生物法 (90分) 復習：ハチ類を中心とした社会性昆虫：毒の生産と刺傷被害 (90分)	工藤
15	外来昆虫（2）	外来昆虫およびその影響	講義	予習：外来昆虫：外来生物とその影響 (90分) 復習：外来昆虫：外来生物法 (90分)	工藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	プリント配布		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%				40%			
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

定期試験の解答例は、Cyber-NUPALSにアップロードします。その他試験については、当該試験が行われた翌日回に解説します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
工藤 起来	講義終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

・成績評価については、合計が60%以上で合格とする。

医療・生命科学に親しむ Introduction to Interprofessional Education	授業担当教員	宮本 昌彦・川原 浩一・酒巻 利行・田辺 顕子・星名 賢之助・阿部 学・福原 正博・重松 亨・川崎 久子		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

医療・健康系総合大学として各学部・学科が目指す目的や職能を紹介し、そして将来地域社会や多職種の中で果たすべき役割を考えさせる。各学部で将来学ぶ専門科目内容を一部紹介し、それらをこれまでに学んだ教養・基礎科学科目内容と関連させて理解してもらう。

【実務経験】

(阿部) 病院に12年間、薬局に約3年間勤務した経験を持つ。実務経験をもとに本科目の「薬剤師を知る」で講義を行う。
(川崎) 病院に20年間看護師として勤務した経験を持つ。本学の看護学部 看護学科の教員。

【到達目標】

医療や食品、生命科学に関する産業・職能について説明でき、かつ将来自分が地域社会や多職種の中で果たすべき役割を考えられるようになる。
 知識・理解: 1 医療や生命科学の活用・活動分野と社会における役割について説明できる。2 医薬品の適正使用における医療従事者の役割とファーマシューティカルケアについて説明できる。3 医薬品の創製（研究開発、生産等）における生命科学の役割について説明できる。4 健康管理、疾病予防、セルフメディケーション及び公衆衛生における医療・生命科学の役割について説明できる。5 薬物乱用防止、自殺防止における医療従事者の役割について説明できる。6 現代社会が抱える課題（少子・超高齢社会等）を概説できる。7 医療・生命科学の歴史的な流れと、社会に果たしてきた役割について説明できる。8 地域における医療・生命科学の役割と機能、それらが関わる業務について説明できる。
 思考・判断: 1 社会において将来自分が果たすべき役割を提案できる。
 関心・意欲・態度: 1 患者・生活者のために医療や生命科学が果たすべき役割を自覚する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	医療や生命科学に求められていること	授業の概要や目的を紹介する（授業オリエンテーション）。現代や将来における医療・健康に関わるニーズや課題など、本学の学生が目指す将来像に関わるものを簡単に紹介する。	講義・演習	予習：自分が目指す将来像について調べておく。（60分） 復習：授業内容から気づいたこと、予習で不足していたことについて調べる。（60分）	宮本
2	治療薬・製剤のしくみ・役割の基礎 ～有機物と生物～	有機化合物と生物はどこまでが同じで、どこが違うのか。それがどう医療に関係するのかを考えます。それを利用した医薬品についても紹介します。	講義	予習：これまでに学んだ化学・生物の基礎知識を復習しておく（90分） 復習：授業内容から気づいたこと、興味を持った生物学的事項、医薬品に関して調べ、生物薬学の知識を深める。（90分）	宮本
3	治療薬・製剤のしくみ・役割の基礎 ～生物と薬～	アスピリン（アセチルサリチル酸）は、バイエル社が19世紀に生み出した最も古い合成医薬品です。しかしながら、なぜアスピリンが痛みにも効くのか、当時は不明でした。本講義では、アスピリンの作用機序研究から明らかとなった生命体の「痛み」「発熱」のメカニズムを学習します。	講義	予習：アスピリン、解熱鎮痛薬、化学構造式、歴史（90分） 復習：講義プリント（アスピリン、シクロオキシゲナーゼ、プロスタグランジン、発熱、痛み）（90分）	川原 宮本
4	予防と食生活と健康 ～社会と薬～	病気にかからないようにする「予防」という考え方も医療では重要である。病気にかかりにくい体にするために日々の食事がいかに重要かを講義する。	講義	予習：糖代謝の基礎（90分） 復習：講義プリントの復習（基礎代謝、糖質の種類及び代謝経路、TCA回路）（90分）	酒巻 宮本
5	検査の基礎 ～物理と薬～	薬学における物理の役割の一つが「測定原理」です。ここでは「温度を測る」ことに焦点をあて、その原理を通じて医療における物理学の役割を学びます。グループ毎に課題を出すので、話し合いをしていただきます。	講義・SGD	予習：自身が知っている「温度計」の列挙し、その原理を調べてくること。（60分） 復習：配布資料の復習（120分）	星名 宮本
6	薬剤師業務の実際 ～薬剤師を知る～	薬剤師が従事している仕事は、保険薬局、病院、製薬企業、卸売業等あり、立場により業務は様々である。これらの業務における薬剤師の役割や意義について講義する。	講義	予習：薬剤師が従事している仕事や具体的な業務内容について事前に調べる（90分） 復習：薬剤師法の薬剤師の任務と業務内容の関連を確認、薬剤師倫理規程を再度熟読する（90分）	阿部
7	看護師業務の実際とチーム医療 ～看護と薬学～	薬物療法に関して、現場の看護師の視点からのアプローチなどを紹介します。	講義	予習：薬剤師と医療従事者（医師・看護師・医療検査技師など）の連携について調べる。（90分） 復習：授業内容を復習し、患者への薬物療法における看護師-薬剤師連携の重要性を再確認する。（90分）	川崎
8	検査の基礎 ～薬をはかる～	「薬が効く」ためには、生体内の必要なところへ必要な量（濃度）が到達し、作用しなければなりません。本講義では、1年次の「化学平衡」が、薬の吸収やからだのしくみにどのように関わっているのかを学びます。また、2年次の講義に関連した「光（電磁波）を使って薬をはかるしくみ」についても紹介します。	講義	予習：「化学平衡」の知識が、薬剤師としてどのような場面で役立つのかを調べる（90分） 復習：授業の内容を復習して化学平衡の知識を定着・確認するとともに、次年度に学ぶ分光分析の知識を深める（90分）	田辺
9	病原体と感染症 ～人の健康と病原体～	感染症を引き起こす微生物、「病原体」について概説し、目に見えない病原体が、どこからどのように侵入するのか、さらに感染後の症状、治療、加えて感染症にかからないための予防について講義する。	講義	予習：細菌の形態、感染症、抗生物質（90分） 復習：感染症と微生物の教科書を用い、授業内容の確認（90分）	福原
10	応用生命科学の概要と役割（その1）	応用生命科学科食品科学コースの概要を説明する。食品産業を中心とした農林水産業、自然環境の保全といった広い分野における食品科学の位置づけおよび果たすべき役割について講義する。	講義	予習：食品産業についてインターネット等で調べる。（90分） 復習：復習用課題に取り組む。（90分）	重松
11	応用生命科学の概要と役割（その2）	応用生命科学科バイオテクノロジーコースの概要を説明する。バイオテクノロジー関連産業を中心とした、医療分野、他業種のビジネスといった広い分野におけるバイオテクノロジーの位置づけおよび果たすべき役割について講義する。	講義	予習：バイオテクノロジーが関係する産業についてインターネット等で調べる。（90分） 復習：復習用課題に取り組む。（90分）	重松
12	応用生命科学の概要と役割（その3）	応用生命科学科応用化学コースおよび環境共生システムコースの概要を説明する。環境産業を中心とした、持続可能な開発目標の設定や自然環境の保全など広い分野における応用化学および環境共生システムの位置づけおよび果たすべき役割について講義する。	講義	予習：化学産業、環境産業について、インターネット等で調べる。（90分） 復習：復習用課題に取り組む。（90分）	重松
13	応用生命科学の概要と役割（その4）	応用生命科学科理科教職コースの概要を説明する。応用生命科学部が理科教員を輩出する意義、中等教育における理科教員のあり方と果たすべき役割について講義する。	講義	予習：中学校、高等学校の理科の教育について、インターネット等で調べる。（90分） 復習：復習用課題に取り組む。（90分）	重松
14	応用生命科学の概要と役割（その5）	生命産業ビジネス学科の概要を説明する。応用生命科学部が社会科学系の学科をもつ意義、社会的な課題とビジネスの関わり方と生命産業ビジネス学が果たすべき役割について講義する。	講義	予習：食品、農業、環境、医療などの生命科学が関連する産業の社会科学の側面について、インターネット等で調べる。（90分） 復習：復習用課題に取り組む。（90分）	重松
15	医療や生命科学における、自己の役割	現代や将来における医療・健康に関わる課題に対して、自分がこれから目指す将来像が医療や生命科学、それに関わる多職種間チームの中で果たすべき役割について検討する。	講義・演習	予習：自分が将来、他職種との連携チームに加わったときに果たすべき役割について考えておく。（90分） 復習：授業で得た他の意見を考慮し、再度自分の将来像・社会の中での役割を考える。（90分）	宮本 重松

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	講義プリントを配布		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						レポート提出（内容は授業内で指示）を課す		

【課題に対するフィードバック方法】

レポートの採点結果を定期試験期間後までに開示

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
宮本 昌彦	月～金 17～19時 メール、Teamsでの問合せは随時可	生化学研究室（F棟504c）	miyamoto@nupals.ac.jp
川原 浩一	月～金 13:00～17:00	薬品分析化学研究室（F棟303a）	kkawa@nupals.ac.jp
酒巻 利行	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503a）	sakamaki@nupals.ac.jp
田辺 顕子	月曜～金曜 15:00-17:00	薬学教育センター（F棟FB101a）	a_tanabe@nupals.ac.jp
星名 賢之助	月～木 15:00-18:00	薬品物理化学研究室（F棟302a）	hoshina@nupals.ac.jp
阿部 学	月～金 16:00～19:00（事前に連絡をください）	臨床薬学教育研究センター（C棟206）	abe@nupals.ac.jp
福原 正博	月曜～金曜 12:00-13:00 時間外も随時可	微生物学研究室（F403）	fukuhara@nupals.ac.jp
重松 亨	開講日18:00～20:00	食品・発酵工学研究室(E302a)	shige@nupals.ac.jp
川崎 久子	水曜日 16:00～17:00	西新潟中病院キャンパス3階	hisako-kawasaki@nupals.ac.jp

【その他】

各授業は配布されるプリント主体で行う。

【成績評価基準】 レポート評価の観点の詳細は授業中に開示する。レポート評価（100点満点）のうち60点以上を合格とする。

行動経済学 Intoroduction to Behavioral Economics	授業担当教員	内田 誠吾		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

経済学と心理学の境界領域である行動経済学の講義を通じ、人間の行動や意思決定のメカニズムについて解説する。マーケティング研究の第一人者であるコトラーが「行動経済学はマーケティングの別称すぎない」と述べたように、消費者行動の理解には行動経済学は欠かせない。また、相手に強制させることなく、自発的に、望ましい行動をとらせる「ナッジ」は厚生労働省や大手企業でも実践されている、実用性の高い理論である。行動経済学の理論を講義するとともに、マーケティングや行政における応用例についても紹介する。

「食品経済学」、「マーケティング論」、「サービス産業論」、「ビジネスプロデュース論」、「地域活性化フィールドワーク II」で必要となる消費者行動やナッジの考え方を解説する。

【到達目標】

行動経済学の基本的な考え方を理解する。また、マーケティングや行政における応用例についても理解できる。

知識・理解：経済学と心理学の境界領域である行動経済学の考え方を理解する。

思考・判断：行動経済学のモデルについて習熟する。

関心・意欲・態度：行動経済学について、具体的な応用例について説明できる。

技能・表現：簡単な経済モデルを表現できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 行動経済学はどのようなものか。	伝統的な経済学が想定している人間像と対比しながら、行動経済学の考え方について説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
2	ヒューリスティック①	システム1とシステム2の考え方、代表的ヒューリスティック、利用可能性ヒューリスティックとその事例について説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
3	ヒューリスティック②	固着性ヒューリスティックについて説明する。アンカリングとフレーミング効果を紹介し、それぞれの実験を行う。	講義・演習・実験	予習：教科書の熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
4	時間選好①	異時点間選択と時間割引率の測定法について説明する。	講義・実験	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
5	時間選好②	時間割引率のアノマリー、ソフィスティケートドとナイーフについて説明する。また、時間選好に関する政策や価格差別などへの応用例について紹介する。	講義・演習	予習：教科書、プリントの熟読。（150分） 復習：教科書、プリントの熟読。（150分）	内田
6	リスク選好とプロスペクト理論①	不確実性下の選択、期待効用理論について説明する。また、アレーとゼックハウザーのパラドックスを紹介し、期待効用理論の限界について理解する。	講義・実験	予習：教科書の熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
7	リスク選好とプロスペクト理論②	プロスペクト理論、プロスペクト理論における参照点の設定について説明する。リスク選好とプロスペクト理論に関連した、消費者行動や企業の価格設定に関する応用例を説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
8	社会的選好①	独裁者ゲーム、最後通牒ゲーム、信頼性ゲーム、違法副業ゲーム、互酬性について説明する。	講義・実験	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
9	社会的選好②	公共財供給実験、社会的ジレンマ、不平等回避性、文化と社会的選好について説明する。また、社会的選好に関する政策面への応用例について説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
10	お金に対する経済心理①	お金の経済的な意義・心理的な効果、お金を払う苦痛、メンタルアカウンティングについて説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
11	お金に対する経済心理②	サンクコスト、保有効果、機会費用、「無料（フリー）」の価格の経済心理について説明する。	講義	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
12	問題演習	中間テストに向けて、問題演習を行う。	演習	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
13	中間テスト	中間テストとその解説を行う。	講義・試験	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
14	行動経済学のマーケティングへの応用例	行動経済学を用いたマーケティングについて、具体的な応用事例を学ぶ。	講義・演習	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田
15	大手企業や厚生労働省が採用しているナッジの応用事例	相手に強制することなく、望ましい行動をとらせるナッジについて、大手企業や厚生労働省が実践している事例について学ぶ。	発表・討論	予習：教科書、プリントの熟読（160分） 復習：教科書、プリントの熟読（100分）	内田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	プリントを配布します		
教科書	行動経済学入門	筒井義郎、佐々木俊一郎、山根承子、グレッグ・マルデフ	東洋経済
参考書	行動経済学	室岡健志	日本評論社
参考書	行動経済学	阿部誠	新星出版社
参考書	実験経済学・行動経済学	和田良子	新世社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%	50%						
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

各レジュメの問題については、授業中もしくは動画で説明します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
内田 誠吾	月曜日～金曜日午前9:00～午後5:00	NE20 8	seigo.uchida@nupals.ac.jp

【その他】

経済学は、世界標準の体系が確立されている社会科学であり、論理的な思考を身につけるために最適な学問の1つと言えます。経済学を通して丁寧に論理を迫る習慣を身につけましょう。

試験については、授業における練習問題、小テストを一つ一つ理解していけば、問題なく対応できる構成を考えています。一つ一つの授業を大切にしましょう。

<h1 style="margin: 0;">バイオとフードに関する法律</h1> <p style="margin: 0;">Food, biotechnology and other related regulations</p>	授業担当教員	杉田 耕一		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

食品は私たちが生きていくには欠かせないものであると同時に、安全性や品質に関して最も注意が払われるべきものである。また、近年のバイオテクノロジーの進歩は目覚ましく、様々な技術が生まれ医療や食品に関する研究や商業化が進んでいる。本講義では、これら食品やバイオテクノロジーに関する研究や事業に従事するために欠かせない、主要な法律や制度等について講義する。また、本科目は、2年次開講科目「食品商品学」「食品管理論」「食品開発論Ⅰ」「栄養科学」「国際食品ビジネス論」等、3年次開講科目「食品開発論Ⅱ」「食品微生物学」「機能食品科学」「食品安全学」「公衆衛生学」「食品の予防コントロール」等の科目の基礎的な科目として位置づけられる。

【実務経験】

担当教員は、企業の研究開発部門（バイオ）と新事業企画部門に27年間勤務し、主に農業資材や機能性作物、機能性表示食品の商品化を担当した経験を持つ。その実務経験を活かして、本科目では食品やバイオテクノロジー関連の法律や制度について講義を行う。

【到達目標】

食品およびバイオ関連の法律や制度を理解すると共に、法令遵守の基本姿勢を身に付ける。
 知識・理解：1. 食品に関する主要法律や制度等について説明することができる。2. バイオ関連の主要法律や制度等について説明することができる。
 思考・判断：1. 食品やバイオ関連の研究活動または商品化プロセスにおいて、各種法律や制度等を適切に運用できる。
 関心・意欲・態度：1. 日常生活において、食品表示等について関心を持ち知識との連動性を持つことができる。2. 食品やバイオに関する各種情報に興味を持つことができる。
 技能・表現：1. 食品およびバイオ関連の法律や制度について、正確かつ分かりやすく説明することができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション	シラバスを基に、授業概要、一般目標、到達目標を理解する。また、法令遵守について学ぶ。	講義	予習：シラバス熟読（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
2	食品関連の法律と制度等①	食品安全委員会の役割等、及び食品安全基本法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
3	食品関連の法律と制度等②	食品衛生法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
4	食品関連の法律と制度等③	食品表示法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
5	食品関連の法律と制度等④	景品表示法、JAS法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
6	食品関連の法律と制度等⑤	不正競争防止法、計量法、医薬品医療機器等法、PL法について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
7	食品関連の法律と制度等⑥	食品添加物・食品アレルギー・農業に関する法律や制度等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
8	食品関連の法律と制度等⑦	健康食品に関する法律や制度等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
9	食品関連の法律と制度（まとめ）	第8回講義までに取得した知識をもとに、具体的な商品の表示内容について法制の観点からグループディスカッションを行う。	講義・SGD	予習：第8回講義までの総復習（120分） 復習：レポート作成（120分）	杉田
10	バイオ関連の法律と制度等①	組換えDNA実験に関する法令等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
11	バイオ関連の法律と制度等②	遺伝子組換え作物の普及状況と関連法令等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
12	バイオ関連の法律と制度等③	ゲノム編集技術に関する法令等について学ぶ。	講義	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
13	バイオ関連の法律と制度等④	ヒトゲノム・ヒト細胞の研究に関する法令等について学ぶ。	●動画配信型授業	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
14	知的財産権①	商標権、意匠権について学ぶ。 実際の飲食品について、商標権を見つけ議論する。	講義・SGD	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田
15	知的財産権②	特許権について学ぶ。 実際の事例で議論を行い、先願主義等の基本的な制度を学ぶ。	講義・SGD	予習：Teams配布資料（120分） 復習：講義内容（120分）	杉田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	必要に応じてTeamsに資料を保存		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

講義中またはTeamsで解説等を行います。個別の質問等についてはTeamsチャットでも対応します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。	NE211	agri-sugita@nupals.ac.jp

【その他】

日常の購買行動のなかで、食品の表示内容などを見るようにすること。

法学 Introduction to Law (Constitutional Law)	授業担当教員	渡辺 豊		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目 (社会・人文科学系)		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

法学の講義として、日本国憲法を中心とした日本の法制度について講義する。特に、憲法が定めている内容を正確に理解し、社会問題について考える際の視点とできることを目指す。

【到達目標】

日本国憲法の基本的な知識を身につけるとともに、法的思考力を涵養する。
 知識・理解：日本国憲法の基本原理と具体的内容を説明できる。
 思考・判断：新聞やニュースで報道されている社会問題について、法的な観点から考えることができる。
 関心・意欲・態度：現代社会の諸問題に関心を持てる。
 技能・表現：現代社会の諸問題を法的な観点から考察し、自分の言葉で表現することができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習 (予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション・憲法総論 (1) (憲法とは何か)	憲法を学ぶ意義を学ぶ。 立憲主義の特徴を知る。 憲法前文の読み方について学ぶ。	講義	予習：教科書2-9頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
2	憲法総論 (2) 憲法尊重義務、憲法の附則、国民主権	憲法尊重義務、憲法の附則の位置づけ、国民主権と18歳選挙権について学ぶ。	講義	予習：教科書10-17頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
3	憲法総論 (3) 象徴天皇制、憲法第9条、安全と自由	象徴天皇制、憲法第9条 (平和主義)、安全と自由の関係について学ぶ。	講義	予習：教科書18-27頁を熟読する (90分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
4	人権論 (1) 人権の位置づけ、人権の発展、公共の福祉	人権の位置づけ、人権の発展、公共の福祉を学ぶ。	講義	予習：教科書30-35頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
5	人権論 (2) 法人と人権、特別権力関係、平等原則	法人と人権、特別権力関係、平等原則を学ぶ。	講義	予習：教科書36-43頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる、第1回小レポートの準備を行う。(150分)	渡辺
6	人権論 (3) プライバシー権、思想・良心の自由、表現の自由①	プライバシー権、思想・良心の自由、表現の自由を学ぶ。	講義	予習：教科書44-53頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
7	人権論 (4) 表現の自由②、学問の自由、憲法と家族	表現の自由、学問の自由、憲法と家族の関係を学ぶ。	講義	予習：教科書56-61頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
8	人権論 (5) 生存権、教育を受ける権利、勤労権と労働基本権	生存権、教育を受ける権利、勤労権を学ぶ。	講義	予習：教科書62-71頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
9	人権論 (6) 財産権、人身の自由	財産権、人身の自由について学ぶ。	講義	予習：教科書72-77頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
10	統治機構論 (1) 参政権、国会	参政権、国会について学ぶ。	講義	予習：教科書78-85頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (150分)	渡辺
11	統治機構論 (2) 国政調査権、内閣と行政	国政調査権、内閣と行政について学ぶ。	講義	予習：教科書86-91頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる、第2回小レポートの準備を行う。(150分)	渡辺
12	統治機構論 (3) 司法の独立、裁判官弾劾	司法の独立、裁判官弾劾について学ぶ。	講義	予習：教科書92-97頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
13	統治機構論 (4) 違憲審査制	違憲審査制について考える。	講義	予習：教科書98-101頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
14	統治機構論 (5) 財政立憲主義と財政民主主義、地方自治	財政立憲主義と財政民主主義、地方自治について学ぶ。	講義	予習：教科書102-111頁を熟読する (120分) 復習：配付資料・教科書を基に学習内容をまとめる (120分)	渡辺
15	統治機構論 (6) 憲法保障、憲法改正	憲法保障、憲法改正について学ぶ。	講義	予習：教科書112-115頁を熟読する (120分) 復習：学期末試験に向けた準備を行う。(150分)	渡辺

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	18歳からはじめる憲法 (第2版)	水島朝穂	法律文化社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%					30%		
備考	期末試験を実施する					学期中に2回小レポートを課す		

【課題に対するフィードバック方法】

講義に関する質問を随時受け付ける。レポートは解答例を配布する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室 (部屋番号)	Eメールアドレス
渡辺 豊	講義の前後の時間帯	非常勤講師室	

【その他】

本講義は初学者を対象としており、事前に求められる知識は特になし。ただし予習として教科書を読んでくること。教科書を読んでいないとついてこれられないことが生ずることもあるので十分に気をつけること。

哲学 Philosophy	授業担当教員	栗原 隆		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

今日の私たちの科学技術が直面している問題の思想的背景を知ることを目指して、無自覚的に過ごしている日常を、<どうして>、<なぜ>という視点から、問い直すことを通して、日常を自覚的にする力を習得する。教科書は定めずに、各テーマに応じてプリントを配布して、それに基づいて授業を進める。テストの際には、自筆手書きのノートと、配布資料の持ち込みが必須である。

【到達目標】

(1) 私たちが生活をしている新潟県について、新潟水俣病をはじめ、クロロニトロフェンやトリハロメタンによる水道水汚染がなぜ生じたのか、便利で快適な暮らしの追求が環境に負荷をかけている現実を理解できる。(2) 新潟市の海岸決壊や地盤沈下など、自然改造のフロンティア倫理では立ち行かなくなっていることを説明できる。(3) 今日の私たちが安全で快適な暮らしを営む上で直面している問題の根底にはエゴイズムの追求が潜んでいることを確認する。(4) 私たちが便利な生活のために作り出した、DDTをはじめとする有機塩素化合物やPCB、さらにはダイオキシンなどが深刻な環境汚染をもたらしたことを踏まえ、今日、泡消火材や防水スプレー、フライパンに、ハンバーガーやピザの包装紙、化粧品やスマホ画面のコーティングなど、日用品に幅広く使われている有機フッ素化合物による水道水汚染や発がん性の問題にどう向きべきかを考える。(5) マイクロプラスチック汚染も広がりを見せ、今やペットボトルの飲料水やティーバッグで淹れたお茶などにもマイクロプラスチックが含まれていて、その結果、精巣や精液からもマイクロプラスチックが検出され、精子数の減少をもたらすことが報告されていることを認識する。(6) 他方、医療技術の発達によって、これまでは運命が宰領していた人間の生死も、人間自身の判断によって左右されるようになったことを分析する。とりわけ生殖補助医療の拡大についてその背景と経緯とを分析する。(7) そのうえで、今日ほど、「人間とは何か」が根本的に問われなければならないようになってきていることに鑑み、「生まれてくる子どもに私たちは何を望むのか」「医療費の国庫負担が膨大な今、高額な新薬開発、さらには保険適用は望ましいことなのか」「定期試験前に学生が認知改善サプリメントを服用して、成績向上を図ることは許されるのか」など、医療技術をめぐる新たな問題について、自覚的な判断ができるようになる。

知識・理解：新薬の治験にまつわる倫理的問題や、高額医薬品の開発に伴う倫理問題について理解する。

思考・判断：倫理的葛藤状況にあって、いかにするべきかの判断能力を涵養する。

関心・意欲・態度：ヒューマニティある思考ができる人間性を培う。

技能・表現：客観的で論理的な文章表現の訓練を通して、分析的な思考回路を育成する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	定期試験前に学生が、認知改善サプリメントを服用することは許されるのか	認知改善サプリメントを服用することで、私たちは自分の成績の向上を図っているのか？	講義	予習：認知改善サプリメントの実情について調べておく。(90分) 復習：定期試験前に学生が認知改善サプリメントを服用することは、許されるのか、それとも許されないことなのか、論拠と結論をまとめる。(90分)	栗原
2	新潟から考える環境倫理	新潟市の海岸決壊と水溶性天然ガス汲み上げに伴う地盤沈下などの環境破壊と、対策が遅れた理由を考える。	講義	予習：大河津分水の歴史的な意義を調べておく。(90分) 復習：新潟市の海岸決壊や地盤沈下の実情について調べる。(90分)	栗原
3	ホイッスルブローの倫理と、将来世代の権利	新潟水俣病、さらにはクロロニトロフェン、トリハロメタン、ダイオキシンなどによる環境破壊など、化学物質による環境汚染を考える。	講義	予習：無機水銀が有機水銀に変わる機序について調べておく。(90分) 復習：ホイッスルブローが吹かれた事例について調べる。(90分)	栗原
4	治療停止はなぜ生じたのか。	公立福生病院で起きた、人工透析中止による患者の死亡事例について考える。	講義	予習：腎不全患者に対する人工透析についての概要を調べておく。(90分) 復習：死に到ると分かっているが、患者がなぜ人工透析の中止を望んだのか、掘り下げて考える。(90分)	栗原
5	安楽死と尊厳死	積極的安楽死と消極的安楽死、さらには間接的安楽死、そして尊厳死について、明確に区別する。	講義	予習：安楽死の必要要件を調べておく。(90分) 復習：患者や家族が望んだ場合であっても、囑託殺人や自殺ほう助につながることを確認する。(90分)	栗原
6	脳死からの臓器移植と功利主義	脳死と植物状態、臓器移植、臓器移植法の改正に伴う問題。	講義	予習：新旧の臓器移植法の内容を確認するとともに、脳死の患者さんからの臓器移植の手管を調べておく。(90分) 復習：技術信奉や結果主義に立脚する技術判断と、倫理判断との違いを確認する。(90分)	栗原
7	高額医薬品の開発と治験の問題	ステラミック注など的高額医薬品の開発の開発をめぐる問題と、治験において必要な、「二重盲検法」の問題を分析する。	講義	予習：高額医薬品の開発や実用化、さらには保険適用について調べる。(90分) 復習：「二重盲検法」の段取りを無視した新薬開発の是非について考える。(90分)	栗原
8	間葉系幹細胞からの再生医療の可能性	iPS細胞由来の再生医療に比して、実用的だとされる間葉系幹細胞に基づく再生医療を考える。	講義	予習：日本の再生医療をめぐる、ES細胞からiPS細胞へとシフトした背景について調べておく。(90分) 復習：再生医療の実用化について、考察を深める。(90分)	栗原
9	オーダーメイドES細胞に基づく再生医療	オーダーメイドES細胞に基づく再生医療を考えるなかで、クローン人間産生の是非と、笹井芳樹さんの悲劇を考える。	講義	予習：笹井芳樹さんの研究と業績について調べておく。(90分) 復習：研究者倫理について、改めて考える。(90分)	栗原
10	AID（非配偶者間人工授精）をめぐる問題	AID（非配偶者間人工授精）の問題点、並びに「親を知る権利」と「子どもを授かる権利」との衝突を分析し、考える。	講義	予習：AID（非配偶者間人工授精）とは何かを調べておく。(90分) 復習：「親を知る権利」と「子どもを授かる権利」との衝突について考察と分析を深める。(90分)	栗原
11	体外受精と減数手術	体外受精の仕組みを解説したうえで「減数手術」のやむなきに到る背景や事情を明らかにする。	講義	予習：生殖補助医療や体外受精の実態について調べておく。(90分) 復習：カップルの5組に1組も多数が、不妊治療をせざるを得ない、その背景について考える。(90分)	栗原
12	生殖補助医療実施施設のHPについての報告（グループ発表）	生殖補助医療を実施しているクリニックや医療機関のHPを訪ね、内容や実態について報告する。（グループ発表）	発表	予習：生殖補助医療を実施しているクリニックや医療機関のHPを訪ね、フォーマットに従って、所定の必要以降について記載する。(90分) 復習：自分が訪ねたHPの記述に、信頼性があるのかどうかを分析する。(90分)	栗原
13	出生前診断（母体血清マーカーテストや羊水検査）と選択的妊娠中絶の問題	出生前診断（母体血清マーカーテスト、羊水検査）の成り立ちについて説明するとともに、その問題点を解説する。	講義	予習：母体血清マーカーテストと羊水検査、さらには超音波検査について調べておく。(90分) 復習：胎児に先天的な異常が発見されたことをもって妊娠中絶に到る「選択的中絶」について分析する。(90分)	栗原
14	着床前診断と新型出生前診断	体外受精、生殖補助医療、出生前診断、着床前診断、新型出生前診断、遺伝子スクリーニング	講義	予習：ご両親に、自分がお母さんのおなかに宿った時の気持ち、妊娠中の期待と不安を聞き取るとともに、自分なら、生まれてくる子どもに、何を望むのか、考えておく。(90分) 復習：自らが医療従事者であることから、おめでたが分かった友人、知人から、どういう検査を受けるべきか、受けなくても構わないのか、尋ねられた場合の対応を考える。(90分)	栗原

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当 教員
15	子育ての人間学	新生児微笑の意味や、ハイハイの意義、そして私たちの網膜は二次元なのに、どうして三次元（奥行き、距離、深さ）の知覚が可能なのかを解明する。	講義	予習：私たちの網膜は二次元なのに、どうして奥行き、距離、深さなどの三次元を知覚できるのかを調べる。(90分) 復習：「触れ合い」「手当て」「肌合い」など、触覚にまつわる慣用語を調べて、触覚の重要性を再認識する。(90分)	栗原

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	現代を生きてゆくための倫理学	栗原隆	ナカニシヤ出版
参考書	新潟から考える環境倫理	栗原隆	新潟日報事業社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	90%					10%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

生殖補助医療を進めるクリニックのHPを訪ねるレポートを課して、その発表に対してコメントを付したり、授業の折に触れ、受講生の感想を求めるとともに、それに対するコメントを授業で取り上げることによって、問題を深めてゆくつもりです。定期試験については、出題問題を予め予告したうえで、自筆手書きのノートや配布資料を持ち込んでもらう形で実施します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
栗原 隆	授業実施の月曜日的前後	非常勤講師控室	

【その他】

前の授業時に課せられたテーマについて、<一面では、あとも言える>が、しかし<他面では、こうとも言える>という、対立的な考え方を想定して考えてみると、思索を深めることができます。可能ならば、豊栄の「新潟県立環境と人間のふれあい館」、燕市の「大河津分水資料館」、新潟市の「新潟市歴史博物館みなとびあ」を実際に訪れてみると、座学とはけた違いの勉強になるでしょう。成績評価は合計60%以上を合格とします。テストに出題する問題は、予告したいと思います。論述式の問題で4題を出題の予定です。すなわち一題2.3点で合計9.0点。採点基準は、反社会的、反人間的、論外な解答は0点。事実認識が間違っている解答は5点。論述が破綻していても、論点を外していても、授業を理解していると判断できる場合は、1.0点以上。授業を理解しているうえに、キーワードを押さえている場合は、論述の論理性に鑑みて1.4点～1.7点、授業内容を超越する認識を示している解答は1.8点～2.3点として評価します。

文化人類学 Cultural Anthropology	授業担当教員	小野 博史		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目（社会・人文科学系）		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

現代は国際化が進み、地域社会には異なる文化をもつ人たちが生活している。一方、日本で生まれ育った人同士でも生活を送る際に世代間に大きなギャップが見られるので、異なる文化や時代の常識を受け入れて理解することが求められるようになってきている。

本授業では、文化人類学の概念と基礎的な用語を理解し、日本や世界の諸地域に暮らす人々の生活慣行を見てゆくことで、人の誕生・結婚・死・病気のとらえ方が多様であることを知るとともに、現代日本に生きる私たちの常識をとらえ直し、異なる地域や異なる時代の常識を受け入れる素養を身につけることをめざす。

授業では夫婦別姓、同性同士の結婚をどのように理解すべきか、といった現代の私達にとって身近なテーマを扱いながら、文化人類学のものの捉え方、文化の多様性について解説していく。また、授業の後半では特に日本の伝統的な食文化に注目し、その特徴について言及する。

講義形式の授業であるが、授業中もしくは授業後にPCやスマートフォンで回答する簡単なアンケートを行うことで、皆さんの経験や疑問を解決するアクティブラーニングを行う。

【到達目標】

知識・理解：1.文化人類学の基礎的な用語・調査方法を説明できる。2.日本および世界各地の文化の違いと共通点を文化人類学の視点から説明できる。3.現代日本の生活文化の特徴とその変化を理解する。

関心・意欲・態度：1.異なる価値観や伝統や制度を持った異文化に関して深い認識を持つことができる。2.自身の文化の特徴を理解したうえで、その考え方にとらわれず自身の文化や異文化を尊重できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 文化人類学の視点	文化人類学の基本的な考え方である文化を捉える視点について学ぶ。	講義	予習：シラバスを熟読する（30分） 復習：配布資料を参照しながら、文化を理解するために必要となる視点について整理して考える 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野
2	日本の文化を研究する	日本の文化を調査し研究するうえで大きな影響を与えた柳田国男の視点と研究成果を概観し、その考え方や研究方法の特徴について解説する。	講義	予習：Teamsにアップロードする02回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本文化の調査研究の歴史とその特徴について整理して考える 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野
3	出産・誕生と儀礼	世界各地における人の誕生に関する観念や信仰、儀礼について学ぶ。	講義	予習：Teamsにアップロードする03回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、人の誕生と文化の関係について整理してから、妊娠・出産に関する日本の慣習について考える 課題：授業内容について的小テストに取り組む アンケート：立ち会い出産などについて回答する（150分）	小野
4	日本の出産・誕生と儀礼	日本における人の誕生に関する観念や信仰、儀礼とその変化について学ぶ。	講義	予習：Teamsにアップロードする04回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本における誕生に関する信仰や儀礼が現在も大きな影響を持つことを理解する 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野
5	結婚と文化	結婚を規定する諸慣行について世界各地の事例から学ぶ。	講義	予習：Teamsにアップロードする05回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、結婚や夫婦関係などに関する多様な捉え方について整理して理解する 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野
6	日本の伝統的な結婚儀礼と変化	日本における伝統的な結婚の形式や慣行について概観する。	講義	予習：Teamsにアップロードする06回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本における伝統的な結婚の形式と慣行の多様性およびその変化について整理して理解する 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野
7	病気と神 日本の病気観	病気の原因をどのように理解し対処してきたのかについて解説し、過去の病気の捉え方が現代の私たちの生活にも深く関連していることを説明する。	講義	予習：Teamsにアップロードする07回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本における病気の捉え方と対応が、信仰（文化）と密接に関連してきたことを理解する 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野
8	死と信仰・儀礼	人の死の判定や死体処理、葬儀のあり方、死者供養の方法の多様性について世界各地の事例から学ぶ。	講義	予習：Teamsにアップロードする08回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、文化によって異なる人の死についての観念や儀礼のあり方について整理して理解する 課題：授業内容について的小テストに取り組む アンケート：死者供養の方法などについて回答する（150分）	小野
9	死と儀礼・信仰2 日本の葬儀	日本における人の死と葬儀、死者供養の方法について学ぶ。	講義	予習：Teamsにアップロードする09回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本文化における人の死と死者供養の特徴を理解する 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野
10	日本の死者供養	盆行事の慣行を詳しく見ることで、日本では伝統的に死ぬとどのような存在になると考えられてきたのかを解説する。	講義	予習：Teamsにアップロードする10回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本文化における死者供養の特徴を他界観と関連付けて整理する 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野
11	家族と親族の多様性	家族と親族の多様なあり方とこれを理解するための理論について理解する。	講義	予習：Teamsにアップロードする11回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、家族と親族を理解するための理論について整理してから、家族や親族関係について各自の経験に照らし合わせて考える 課題：授業内容について的小テストに取り組む アンケート：夫婦別姓などについて回答する（150分）	小野
12	日本の家族・親族	日本の家族である家との特徴について把握し、異文化における家族との共通点や違いについて知る。	講義	予習：Teamsにアップロードする12回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本の家族・親族関係の特徴とその変化について理解する 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野
13	日本の日常食	日本の主食は白米であると理解されているが、実際にはどのような食材を主食としてきたのかを昭和初期の調査資料などから明らかにする。	講義	予習：Teamsにアップロードする13回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本の主食の多様性とその変化について理解する 課題：授業内容について的小テストに取り組む アンケート：葬儀に出される料理について回答する（150分）	小野
14	赤飯と葬儀	葬儀に参加した人に赤飯を提供する地域があることをどのように理解すべきかについて、過去の文字資料や現代のフィールドワークの成果から解説する。	講義	予習：Teamsにアップロードする14回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本の通過儀礼に用いられる食事の特徴を理解する 課題：授業内容について的小テストに取り組む（150分）	小野

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
15	日本の儀礼食と日常食	日本の儀礼食と日常食の比較を通して、日本において白米が特別視されてきた理由を検討する。	講義	予習：Teamsにアップロードする15回配布資料を読む（30分） 復習：配布資料を参照しながら、日本の儀礼食と日常食の違いを理解する 課題：授業内容についての小テストに取り組む（150分）	小野

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	PDFファイルや印刷物を配布		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					80%			20%
備考					授業後に実施する小テスト			アンケートへの回答

【課題に対するフィードバック方法】

毎回の授業後に授業内容に関する小テストをMicrosoft Teams上で実施し、締切直後に正答と成績を反映する。また、3, 8, 11, 13回目の授業後に授業内容に関連する皆さんの知識や体験を記すアンケートもTeamsで実施するとともに、その結果を授業内容に反映する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小野 博史	講義終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

テキストは使用しない。毎回の授業時に用いる資料はpdfを配布するほか、印刷したものも配布する。
毎回の授業終了後にMicrosoftTeams上で小テストを実施する（提出期日は毎回の授業後～次回授業開始時間）が、授業に出席した回の得点のみ有効とするので（例：03回授業に欠席した方は、03回の小テストの解答の有無にかかわらず得点は0点となる）留意すること。

生物学II Biology II	授業担当教員	市川 進一・山崎 晴丈		
	補助担当教員			
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

そこに存在するものが生命体であるか否かは直感的に明らかであるが、生命体を簡明・正確に定義することは難しい。生命体は地球にありふれた物質で構成されるが、精緻・巧妙に組織化されて有機体organismと呼ばれるが、その物質構成と細胞構造及び機能について講義する。本教科は、多くの生物学系の教科、特に2年次前期「生化学I」、2年次後期「生化学II」「微生物科学」、3年時前期「分子生物学」の基礎となる。

【到達目標】

生命体は物質のみからなることを理解する。生体を構成する基本的な物質を列挙し、その特徴に基づいて分類できる。自立して生命現象を営む生物個体の最小単位である細胞の基本構造及び機能について説明できる。

知識・理解：

1. 主要な生体物質について説明できる。2. 遺伝子の発現のしくみについて説明できる。3. 細胞をそのオルガネラの構造と機能とともに説明できる。4. 細胞周期について説明できる。5. 体細胞分裂と減数分裂について説明できる。

思考・判断：1. 糖質、脂質、タンパク質、核酸について、その構成成分、重合様式などにより分類できる。DNAの情報をもとにタンパク質が作られるしくみを説明できる。3. 真核細胞と原核細胞の違いを指摘し、細胞内共生説を説明できる。4. 細胞分裂の前後における染色体数の変化について解釈できる。

関心・意欲・態度：1. 生物は様々な分子により構成されていて、生命現象は化学反応により行われていることが理解できる。2. 異なる生物の種類であっても、細胞内で行われている化学反応や細胞の構造は共通している部分が多いことが理解できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション、糖質の性質と構造1	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。主要な糖質の構造と名称、特性を学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読、教科書p51-54, 72-73 (120分) 復習：授業内容 (120分)	市川
2	糖質の性質と構造2	糖質のなかで、複数の単糖が多数重合したものを多糖という。この多糖の種類と、生体内でのはたらきについて学ぶ。	講義	予習：教科書p51-54,73 (120分) 復習：授業内容 (120分)	市川
3	脂質の性質と構造	脂質は生物のエネルギーを貯蔵する物質としてよく知られている。脂質は細胞膜の成分や一部のホルモンとしての役割をもつ。これらの脂質の役割について学ぶ。	講義	予習：事前配信資料、課題、教科書p54-55,74-75,365-374 (120分) 復習：授業内容 (120分)	市川
4	アミノ酸の性質と構造	生体に含まれるアミノ酸について、その構造と性質について学ぶ。アミノ酸の分類について学ぶ。授業までに解答した課題（小テスト）の解説を聞き理解する。（反転授業）	講義・課題	予習：事前配信資料、課題、教科書p56,76-77 (120分) 復習：授業内容 (120分)	市川
5	タンパク質の性質と構造	タンパク質の生体内でのはたらきについて学ぶ。タンパク質の一次構造、二次構造、三次構造及び四次構造を学ぶ。授業までに解答した課題（小テスト）の解説を聞き理解する。（反転授業）	講義・課題	予習：事前配信資料、教科書p117-137 (120分) 復習：授業内容 (120分)	市川
6	核酸の構造とはたらき	遺伝情報を担う分子としての核酸の構造を学ぶ。ヌクレオチド、ヌクレオシド、核酸塩基、糖及びリン酸など核酸構成要素と、その役割、DNA、RNAの構造、核酸のもつさまざまなはたらきについて学ぶ。授業までに解答した課題（小テスト）の解説を聞き理解する。（反転授業）	講義・課題	予習：事前配布資料、課題、教科書p57-59,78-79,109-112, 173-178 (120分) 復習：授業内容 (120分)	市川
7	遺伝子の発現	DNAの情報に従って、どのようにタンパク質が作られるかを学ぶ。また、その過程でどのようにRNAが関与するかを学ぶ。授業までに解答した課題（小テスト）の解説を聞き理解する。（反転授業）	講義・課題	予習：事前配布資料、課題 (120分) 復習：授業内容 (120分)	市川
8	前半の総括および解説、細胞の構造1	前半で学んだ内容について総括を行う。試験を実施し、その内容を解説する。真核細胞の構造について学ぶ。オルガネラの起源について学ぶ。細胞内共生説について学ぶ。	講義・試験	予習：これまで学んできた内容、教科書p11-27, 495-499 (120分) 復習：試験内容、授業内容 (120分)	山崎市川
9	細胞の構造2	標準的な真核細胞の構造を、細胞内外を区画する構造体、細胞内で膜に包まれている構造体、細胞内の巨大分子集合体、細胞内の無構造部分に分けてそれぞれの特性を学ぶ。特に、蛋白質がオルガネラに輸送される方法について着目し、蛋白質が細胞質ゾルで翻訳される場合および粗面小胞体で翻訳される場合があることについて学ぶ。また粗面小胞体で翻訳された蛋白質が小胞輸送によってゴルジ体まで輸送される過程について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p500-521 (120分) 復習：授業内容 (120分)	山崎
10	細胞の構造3	蛋白質がゴルジ体からエンドソームを経てリソソーム・液胞に輸送される過程を学ぶ。また、それらのオルガネラの機能を学ぶ。エンドサイトーシス、エキソサイトーシスについて学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p522-531 (120分) 復習：授業内容 (120分)	山崎
11	細胞の構造4	細胞の形態維持、細胞の運動、細胞内の物質輸送、細胞分裂に関与する細胞骨格について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p573-608 (120分) 復習：授業内容 (120分)	山崎
12	細胞分裂1	細胞周期と体細胞分裂の仕組みについて学ぶ。特に、体細胞分裂のG ₁ 期、S期、G ₂ 期について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p609-624 (120分) 復習：授業内容 (120分)	山崎
13	細胞分裂2	体細胞分裂のM期、細胞質分裂について学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p624-639, 648-649 (120分)	山崎
14	細胞分裂3	減数細胞の分裂の仕組みについて学ぶ。	講義・課題	予習：教科書p651-663 (120分) 復習：授業内容 (120分)	山崎
15	全体の総括および解説	後半で学んだ細胞構造・細胞分裂について総括を行う。試験を実施し、その内容を解説する。	講義・試験	予習：第8回から第14回の内容 (170分) 復習：試験内容 (70分)	山崎

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	エッセンシャル細胞生物学―第5版―	B. Albertら 中村・松原監訳	南江堂
参考書	キャンベル生物学―原書11版―	池内・伊藤・笈本監訳	丸善出版
参考書	細胞の分子生物学―第6版―	中村・松原監訳	Newton Press
参考書	エッセンシャル・キャンベル生物学 (第6版)	池内・伊藤・著本監訳	丸善出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	70%				30%			
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

授業内容に関する補足・質問への回答は、TeamsまたはPortal NUPALSを用いて行います。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
市川 進一	月曜日～金曜日 13時40分～15時10分	E102a教授室	shin@nupals.ac.jp
山崎 晴丈	平日10:00～17:00	分子微生物学研究室 (E204a)	hyamazaki@nupals.ac.jp

【その他】

市川担当分の事前配布資料で予習をしてもらい、課題を解いてもらいます。課題はTeamsでの小テストを予定しています。

【課題に対するフィードバック方法】

小テストは採点後に返却し、Teamsで解答・解説を公開します。
授業に寄せられた要望はTeamsもしくはPortal NUPALSで回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中村 豊	平日の13:10-18:00	環境有機化学研究室(E402a)	nakamura@nupals.ac.jp

化学II演習 Exercises in Chemistry II	授業担当教員	宮崎 達雄・能見 祐理		
	補助担当教員			
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】

化学IIの授業内容に合わせて、有機化合物の化学構造、命名法、立体化学、反応に関する演習を行う。講義は、予習してきた学生の答えを黒板に書かせ、その正誤を確認するとともに問題の解き方を解説する方式を進める。第5回、第10回、第14回に小テストを実施し、学習の習熟度を確認する。化学II演習の問題を解くには、同学期開講科目である化学IIの基礎的な専門知識が必要とされ、さらに、2年次前期開講科目である「有機化学I」および「有機化学I演習」、2年次後期開講科目である「有機化学II」、3年次前期開講科目である「有機合成化学」、生体分子化学」の基礎に位置付けられる。

【到達目標】

実際に問題を解くことで化学IIの授業で教わった有機化合物の構造、命名法、官能基、反応等の内容を理解し説明することができる。

【知識・理解】1) 混成軌道、立体化学について説明できる。2) どのような規則で化合物のIUPAC名がつけられているのかを述べられる。3) アルケン、アルキンの性質、反応について述べられる。4) 反応機構（電子移動の巻矢印）を説明できる。

【思考・判断】1) 化合物の構造からその化合物の主骨格が何かを判断できる。2) 様々な反応の機構を理解し出発物質と加える試薬から電子移動の巻矢印を類推することができる。

【関心・意欲・態度】化学物質（有機化合物）に対する科学的な関心をもつ。

【技能・表現】1) 化合物のIUPAC名を命名することができる。2) 様々な反応の機構を理解し出発物質と加える試薬から電子移動の巻矢印が書ける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 原子の電子配置とオクテット則	シラバスを基に授業概要、到達目標を理解する。 原子の電子配置とオクテット則についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：シラバスの熟読、教科書 9～14ページ、「化学II演習問題集」第1章 1～4の問題（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
2	ルイス構造式と結合の極性	ルイス構造式と結合の極性についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 12～14ページ、「化学II演習問題集」第1章 5～10の問題（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
3	共鳴と共有結合の軌道論的取り扱い	共鳴と共有結合の軌道論的取り扱いについての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 16～18ページ、「化学II演習問題集」第1章 11～16の問題（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
4	混成軌道、分子間力、酸と塩基	混成軌道、分子間力、酸と塩基についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 19～24ページ、「化学II演習問題集」第1章 17～25の問題（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
5	第1回小テスト（1～4回目の演習内容） 有機化合物の分類と官能基	1～4回目の演習内容の習熟度を確認する。 有機化合物の分類と官能基についての演習問題を解く。	講義・演習・発表・試験	予習：第1回小テストの試験範囲、教科書 27～29ページ、「化学II演習問題集」第2章 1～3の問題（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
6	第1回小テストの解説 飽和・不飽和炭化水素の命名	第1回小テストの正答率の低い問題の解答法を説明する。 飽和炭化水素および不飽和炭化水素の系統的な命名についての問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 30～32ページ、「化学II演習問題集」第2章 4～7の問題および「化学II IUPAC命名法」（60分） 復習：小テストの解き直し、講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
7	主基を持つ化合物の命名	官能基を有する化合物の命名法についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 32～33ページ、「化学II演習問題集」第2章 8～9の問題および「化学II IUPAC命名法」（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
8	立体配座異性体	立体配座、キラリティーについての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 37～45ページ、「化学II演習問題集」第3章 1～7の問題および「化学II IUPAC命名法」（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
9	立体配置の表示法および立体配置を含む命名	立体配置（ <i>R,S</i> 表示法）、 <i>R,S</i> を含む化合物の命名法、いす形配座および <i>E,Z</i> 表示法、 <i>E,Z</i> を含む化合物の命名法、複数のキララル中心をもつ分子について演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 45～49ページ、「化学II演習問題集」第3章 8～15の問題および「化学II IUPAC命名法」（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
10	第2回小テスト（5～9回目の演習内容） カルボカチオンの安定性	5～9回目の演習内容の習熟度を確認する。 カルボカチオンの安定性についての演習問題を解く。	講義・演習・発表・試験	予習：第2回小テストの試験範囲、教科書 59～61ページ、「化学II演習問題集」第4章 1～2の問題（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
11	第2回小テストの解説 アルケンの求電子付加反応（1）	第2回小テストの正答率の低い問題の解答法を説明する。 アルケンのハロゲン化水素の付加反応についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 59～61ページ、「化学II演習問題集」第4章 3～4の問題（60分） 復習：小テストの解き直し、講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
12	アルケンの求電子付加反応（2）	アルケンの水和反応、ハロゲン化、ハロヒドリン化、ヒドロホウ素化反応についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 61～62ページ、「化学II演習問題集」第4章 5～8の問題（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
13	アルケンの還元と酸化	アルケンの還元と酸化についての演習問題を解く。	講義・演習・発表	予習：教科書 63～64ページ、「化学II演習問題集」第4章 9～13の問題（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
14	第3回小テスト（10～13回目の演習内容） アルキンの性質と反応	10～13回目の演習内容の習熟度を確認する。 アルキンの反応についての演習問題を解く。	講義・演習・発表・試験	予習：教科書 65～69ページ、「化学II演習問題集」第4章 14～17の問題（60分） 復習：講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見
15	これまでの内容のふりかえり	これまでの内容を復習する。	講義・演習・●動画配信型授業	予習：第1～14回までの講義内容（60分） 復習：小テストの解き直し、講義内容および解答解説動画（60分）	宮崎能見

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	ベーシック有機化学 [第2版]	山口良平、山本行男、田村 類共著	化学同人
その他	プリント「化学II演習問題集」		
その他	プリント「化学II IUPAC命名法」		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					80%		20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

小テストは採点后に返却し、必要に応じて解答法を説明する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
宮崎 達雄	月曜日～金曜日（13:10～18:00）	生体分子化学研究室（E403b）	tmiyazaki@nupals.ac.jp
能見 祐理	月曜日～金曜日 14:00～18:30（授業時間以外）	食品化学研究室（E203b）	ynomi@nupals.ac.jp

【その他】

課題に対する質疑応答は、Microsoft Teams上での当科目のチーム内でチャット等を活用して随時実施する。

<h1 style="margin: 0;">分析化学</h1> <h2 style="margin: 0;">Analytical Chemistry</h2>	授業担当教員	佐藤 真治・桑原 直子		
	補助担当教員			
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

生命科学、食品科学、環境科学などを理解するための基礎となる単位、溶液、濃度、化学平衡、分配、吸着などについて講義する。また、これらの応用である滴定を始めとした種々の定量方法について講義する。さらに、演習問題により基本的な計算やデータ処理を説明する。また、「分析化学」は、「化学Ⅰ」、「化学Ⅱ演習」の履修を前提としており、様々な専門科目の基礎に位置づけられる。

【到達目標】

分析化学の基本的な原理や法則を理解する。濃度、pHなどに関する計算ができる。さらに、他の講義、実験、卒業研究などでそれらを活用できる。
 知識・理解：1. 分析化学の基本的な原理や法則が理解できる。2. 水溶液における化学的な事象が理解できる。3. 単位換算について理解できる。
 思考・判断：1. 分析化学の知識に基づいて論理的な思考ができる。2. 滴定結果などについて正確さを分析化学的に判断・評価できる。
 関心・意欲・態度：1. 応用生命科学の分野における分析化学の役割について関心を持つことができる。2. 積極的に授業に参加できる。
 技能・表現：1. 有効数字を理解し、溶液濃度を算出できる。2. 溶液の水素イオン濃度、pHを計算できる。3. 実験結果について、定量計算ができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 分析化学の基礎（1）	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。応用生命科学の種々の分野において分析化学が果たす役割の重要性を理解する。分析化学の基礎となる単位、溶液の濃度、有効数字について学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読、教科書1～10 p、プリント1回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
2	分析化学の基礎（2）	数学基礎の指数と対数の計算を理解する。化学平衡の基礎を学び、酸塩基平衡、錯体平衡、沈殿平衡、酸化還元平衡を理解する。	講義	予習：教科書11～30、プリント2回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
3	水溶液のpH（1）水素イオン濃度について	水素イオン濃度と水の電離について学び、酸と塩基の強弱について理解する。	講義・演習	予習：教科書31～39、プリント3回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
4	水溶液のpH（2）強酸と強塩基、弱酸と弱塩基のpHについて	強酸と強塩基、弱酸と弱塩基などの水溶液のpHを学び、強酸と強塩基、弱酸と弱塩基のpHの計算に関する演習問題を解く。	講義・演習	予習：教科書40～48、プリント4回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
5	水溶液のpH（3）弱酸－強塩基の塩、強酸－弱塩基の塩のpHについて	弱酸－強塩基の塩、強酸－弱塩基の塩のpHを学び、弱酸－強塩基の塩、強酸－弱塩基の塩のpHの計算に関する演習問題を解く。	講義・演習	予習：教科書31～48、プリント5回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
6	水溶液のpH（4）緩衝液について	酢酸－酢酸ナトリウム緩衝液、アンモニア－塩化アンモニウム緩衝液を学び、生体内での緩衝作用について理解する。	講義・演習	予習：教科書31～48、プリント6回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
7	水溶液のpH（5）酸塩基滴定曲線について	強酸を強塩基で滴定、弱酸を強塩基で滴定、弱塩基を強酸で滴定した場合の滴定曲線を学び、酸塩基滴定曲線を理解する。		予習：教科書31～48、プリント7回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
8	総合演習（1）（分析化学の基礎と酸・塩基）	1回目～7回目の総合演習（小テストと解説）を行う。	講義・演習	予習：教科書1～48、プリント1～7回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
9	沈殿平衡と沈殿滴定（1）	溶解度、溶解度積、沈殿平衡、沈殿滴定の基礎原理を学ぶ。	講義・演習	予習：教科書49～63、プリント9回目（120分） 復習：講義内容（120分）	桑原
10	沈殿平衡と沈殿滴定（2）	溶解度、溶解度積、沈殿平衡、沈殿滴定の基礎原理と滴定曲線についての演習問題を解く。	講義・演習	予習：教科書49～63、プリント10回目（120分） 復習：講義内容（120分）	桑原
11	酸化と還元（1）	酸化・還元と酸化還元反応について、原理と基礎事項を学ぶ。酸化・還元と酸化還元反応の演習問題を解く。	講義・演習	予習：教科書64～72、プリント11回目（120分） 復習：講義内容（120分）	桑原
12	酸化と還元（2）	鉄の滴定とよう素滴定を例にして、酸化還元滴定の原理を学ぶ。酸化還元滴定（逆滴定）の原理と測定手順を学ぶ。酸化還元滴定の演習問題を解く。	講義・演習	予習：教科書64～72、プリント12回目（120分） 復習：講義内容（120分）	桑原
13	錯体生成とキレート滴定（1）	錯体と錯体生成平衡についてその基礎を理解するとともに、キレート、EDTA、金属指示薬について学ぶ。錯体生成とキレート滴定法について演習問題を解く。	講義・演習	予習：教科書73～84、プリント13回目（120分） 復習：講義内容（120分）	桑原
14	錯体生成とキレート滴定（2）	水の硬度測定を例にして、キレート滴定の原理と測定手順・硬度の算出方法を学ぶ。錯体生成とキレート滴定法について演習問題を解く。	講義・試験	予習：教科書73～84、プリント14回目（120分） 復習：講義内容（120分）	桑原
15	総合演習（2）（沈殿平衡と沈殿滴定、酸化と還元、錯体とキレート滴定）	9回目～14回目の総合演習（小テストと解説）を行う。	試験	予習：教科書49～84、プリント9～14回目（120分） 復習：講義内容（120分）	桑原

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	ステップアップ 大学の分析化学	齋藤 勝裕 藤原 学 共著	裳華房
参考書	なるほど分析化学	楠 文代・渋澤 庸一（著）	廣川書店

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%				50%			
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

小テストについては、テスト終了後、授業時間内に資料（解法と解答）を配布し、解説する。定期試験については、試験終了後に資料（解法と解答）を提示する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
佐藤 真治	月曜日～金曜日 講義・実習時間以外の時間(9:00～18:00)	食品分析学研究室（E202a）	sato@nupals.ac.jp
桑原 直子	月曜日～金曜日 講義・実習時間以外の時間(9:00～18:00)	食品分析学研究室（E202b）	kuwabara@nupals.ac.jp

応用生命科学基礎実験III Basic Experiments in Applied Life Sciences,III	授業担当教員	相井 城太郎・山崎 晴丈・高久 洋暁・重松 亨・小長谷 幸史・佐藤 里佳子		
	補助担当教員	中野 絢菜		
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】

植物の細胞及び染色体観察や、微生物からのDNA抽出を通して、遺伝子の実体であるDNAの基本的な解析方法を指導する。異なる作物の貯蔵デンプンの観察を通して、糖質の基本的な性質を指導する。pHや温度による酵素活性の変化を通して、タンパク質の基本的な性質の理解を促す。本実験では、1年次開講科目「生物学II」などで学ぶ基礎的な専門知識に関連する実験を行い、2年次以降に開講される「生化学I」などの生物系科目の基礎を形成する。

【到達目標】

植物をモデルに、細胞の基本的な特徴を理解する。糖質（デンプン）についての基本的事項を身につけ、顕微鏡による観察方法を理解する。DNAの取り扱いの基本事項を身につけ、電気泳動による分析方法を理解する。タンパク質（酵素）についての基本事項を身につける。知識・理解：PCRの原理を理解し、説明することができる。遺伝型と表現型についての基本的な概念を理解し、説明することができる。糖質の基本的な性質と分析方法を理解し、説明することができる。タンパク質の基本的な性質を理解し、説明することができる。思考・判断：細胞周期と染色体の動態を対応することができる。DNAの性質を理解した上で、実験結果について考察することができる。糖質の性質を理解した上で、実験結果について考察することができる。タンパク質の性質を理解した上で、実験結果について考察することができる。関心・意欲・態度：細胞に対して科学的な関心をもてる。植物の形質とDNAの関係について関心をもてる。糖質の性質と食感について関心をもてる。タンパク質の性質と機能について興味を持てる。技能・表現：顕微鏡を適切に取り扱うことができる。植物からのDNA抽出操作を適切に行うことができる。DNAの電気泳動操作を適切に行うことができる。タンパク質を適切に取り扱うことができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション、植物細胞の観察（染色体観察）	シラバスをもとに科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。生物学IIで学ぶ細胞周期についての理解を深めるために、植物細胞をモデルとして、細胞分裂中の染色体の動態変化を観察する。	講義・実習	予習：シラバス、応用生命科学基礎実験IIIテキスト(植物編)及びエッセンシャル細胞生物学の該当箇所を熟読する。(60分) 復習：データを整理し、「植物細胞の染色体動態変化」の実験レポートを作成する。(120分)	相井
2	DNAの抽出、遺伝型と表現型(1)	類の口腔粘膜細胞のDNAを抽出し、PCRによるアルデヒドデヒドロゲナーゼ2(ALDH2)遺伝子の正常型特異的増幅と変異型特異的増幅を行い、自身のアルデヒドデヒドロゲナーゼ2遺伝子の遺伝子型を評価する。またお酒に対する強さを判定するアルコールパッチテストを行うことにより、遺伝子型と表現型についての理解を深める。	講義・実習	予習：シラバス、応用生命科学基礎実験IIIテキスト及びエッセンシャル細胞生物学の該当箇所を熟読する。(60分) 復習：データを整理し、実験レポートを作成する。(120分)	山崎 高久 佐藤
3	DNAの抽出、遺伝型と表現型(2)/タンパク質(酵素)の機能と温度/pH(1)	第2回に引き続き、PCR反応物の電気泳動を行いDNAの理解を深める。/酵素活性の測定の準備を行う。	講義・実習	予習：応用生命科学基礎実験IIIテキスト・エッセンシャル細胞生物学の該当箇所を熟読する。実験ノートの準備をする。(60分) 復習：データを整理し、実験レポートを作成する。(120分)	山崎 高久 重松 小長谷 佐藤
4	タンパク質(酵素)の機能と温度/pH(2)	第3回に引き続き、酵素活性の測定を行い、温度やpHがタンパク質に与える影響を理解する。	講義・実習	予習：応用生命科学基礎実験IIIテキスト・エッセンシャル細胞生物学の該当箇所を熟読(60分) 復習：データを整理し、実験レポートを作成する。(120分)	重松 小長谷
5	実験の振り返りとレポートの作成法	第1回から4回までに行った実験のレポートを解説し、読みやすい実験レポートを作成するための考え方やコツを学ぶ。	講義・実習	予習：応用生命科学基礎実験IIIテキストを用いて第1回から4回までの実験を復習しておく。(60分) 復習：授業内容を踏まえて、実験レポートを修正する。(120分)	相井 山崎 高久 重松 小長谷 佐藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	応用生命科学基礎実験IIIテキスト		
教科書	エッセンシャル細胞生物学 原書第5版	中村桂子・松原謙一 監訳	南江堂

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						70%	30%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

- ポータルサイトを介して課題や質問の解説を掲示する。(相井、中野)
- CyberNUPALSやポータルサイトなどを介して課題や解説を公開する。(山崎、高久、佐藤)
- 第5回に提出されたレポートの解説を行う。(相井、中野、高久、山崎、佐藤、重松、小長谷)

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
相井 城太郎	月曜日～金曜日の授業時間以外（9:00～17:00）	植物遺伝育種学研究室（E301b）	jotaroaii@nupals.ac.jp
山崎 晴丈	平日10:00～17:00	分子微生物学研究室（E204a）	hyamazaki@nupals.ac.jp
高久 洋暁	月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）	応用微生物・遺伝子工学研究室（E201a）	htakaku@nupals.ac.jp
重松 亨	開講日18:00～20:00	食品・発酵工学研究室（E302a）	shige@nupals.ac.jp
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	E101生物学研究室	konayuki@nupals.ac.jp
佐藤 里佳子	月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）	応用微生物・遺伝子工学研究室（E201）	rsato@nupals.ac.jp
中野 絢菜	月曜日～金曜日の授業時間以外（9:00～17:00）	植物遺伝育種学研究室（E301b）	ayana_nakano@nupals.ac.jp

【その他】

実験レポートの提出は、それぞれの担当教員の指示に従うこと。

応用生命科学基礎実験Ⅳ Basic Experiments in Applied Life Sciences, IV	授業担当教員	中村 豊・宮崎 達雄・小島 勝・井坂 修久		
	補助担当教員			
	区分	共通専門必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】

有機化学はバイオ・食品・環境の根幹をなす重要な学問分野のひとつであり、また理科教職にとっても必須の内容である。そのため、どのコースに進むにせよ、有機化合物を取り扱う基本的操作を習得しておく必要がある。本有機化学実験では、講義形式で実験目的、操作、周辺知識などを解説した後、有機化合物の分離・精製ならびに同定など、4つのテーマの実験を提供する。さらに、実験で得られた結果の整理、解析ならびに発表する方法についても指導する。本実験は、3年次前期開講科目「有機化学実験」、生体分子化学実験」の基礎に位置付けられる。

【到達目標】

有機化合物を取り扱うために必要な基礎的実験を行う。有機化合物の分離・精製法や同定法について、原理を理解して基本的操作を身につけることで、有機化合物を取り扱うための基本操作手順を修得することを目標とする。また、コンピュータの活用などに関する基礎的技能も修得する。

知識・理解：有機化学を学ぶために必要な基礎的な知識や実験技術が説明できる。

思考・判断：実験で得られた結果を論理的に解析し、考察することができる。

関心・意欲・態度：実験の内容などに対して興味を持ち積極的に実験に参加できる。

技能・表現：1. 実験器具や分析天秤などの機器を正しく使用できる。2. 実験レポートを作成することができる。3. プレゼンテーション資料を作成し、口頭で説明できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 基本操作Ⅰ：有機定性試験	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。 有機化学実験の特徴、留意点および安全上の注意事項を理解するとともにコンピュータを利用した有機化合物情報の取得法を学ぶ。 官能基に特異的な反応を利用した有機化合物の同定法を学ぶ。	講義・実習	予習：シラバス及び応用生命科学基礎実験Ⅳテキストの熟読、「有機定性試験」について調べる。(90分) 復習：実験内容、結果の整理・解析(90分)	中村 宮崎 小島 井坂
2	基本操作Ⅱ：有機化合物の抽出・分離	酸・塩基反応を利用した有機化合物の液-液抽出による分離操作を学ぶ。	講義・実習	予習：応用生命科学基礎実験Ⅳテキストの熟読、「抽出」、「酸塩基反応」について調べる。(90分) 復習：実験内容、結果の整理・解析(90分)	中村 宮崎 小島 井坂
3	基本操作Ⅲ：有機化合物の再結晶、吸引ろ過、融点測定	結晶性の有機化合物の精製法である再結晶ならびに同定法である融点の測定法を学ぶ。	講義・実習	予習：応用生命科学基礎実験Ⅳテキストの熟読、「再結晶」、「融点」について調べる。(90分) 復習：実験内容、結果の整理・解析(90分)	中村 宮崎 小島 井坂
4	薄層クロマトグラフィー：鎮痛剤の成分の分析	有機化合物の分離・精製法である薄層クロマトグラフィーの方法・原理について鎮痛剤の成分の分析を行うことで修得する。	講義・実習	予習：応用生命科学基礎実験Ⅳテキストの熟読、「薄層クロマトグラフィー」について調べる。(90分) 復習：実験内容、結果の整理・解析(90分)	中村 宮崎 小島 井坂
5	成果報告会	4つのテーマの中から1つの実験結果をスライドにまとめ考察するとともに、作成したスライドを使ってプレゼンテーションする。	SGD・発表	予習：今までの実験結果についてSGDによって考察してまとめ、発表の準備をする。(120分) 復習：スライドの内容および口頭発表について自己評価する(90分)	中村 宮崎 小島 井坂

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	応用生命科学基礎実験Ⅳテキスト		
参考書	フィーザー/ウィリアムソン 有機化学実験	磯部 稔、水永和治、市川善康、今井邦雄、鈴木喜隆、中塚進一、中村英士 共訳	丸善
参考書	ベーシック有機化学	山口良平、山本行男、田村 類共著	化学同人

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						30%	50%	20%
備考								・成果発表20%

【課題に対するフィードバック方法】

提出されるレポートについて、討論・コメントする。

発表内容について、討論・コメントする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中村 豊	平日の13:10-18:00	環境有機化学研究室(E402a)	nakamura@nupals.ac.jp
宮崎 達雄	月曜日～金曜日（13:10～18:00）	生体分子化学研究室（E403b）	tmiyazaki@nupals.ac.jp
小島 勝	月曜日～金曜日（13:10～18:30）	環境有機化学研究室（E402b）	masaru@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp

【その他】

メールで問い合わせを行なう場合、メールのタイトルに発信者の「学籍番号」および「氏名」を必ず明記すること。

基礎生物学II Fundamentals of biology II	授業担当教員	小長谷 幸史		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

基礎生物学Iでは生命科学の根幹をなす、生化学、分子生物学、細胞生物学の基礎的な内容とくに細胞内で起こっていることを中心に扱ったが、基礎生物学IIでは細胞内外の関わりを中心に、分類と進化、遺伝、体内環境と免疫、生態系の内容を中心に扱う。この内容は3年次の「植物育種学」「細胞免疫学」「生物学」の基礎になる。

【実務経験】

担当の小長谷は生物基礎の授業を公立高等学校で3年半、私立高等学校で半年間担当した。

【到達目標】

知識・理解：1 生物学の歴史を説明できる。2 生物の誕生と進化、分類体系を説明できる。3 多細胞生物の細胞間の情報伝達と、体内環境の維持について説明できる。4 遺伝のしくみと遺伝病について説明できる。5 生物どうしのかかわりがつくりだす生態系と環境問題を説明できる。思考・判断：1 体内環境のしくみと病気の関係について考えることができる。2 遺伝の法則と、それにもなう品種改良、遺伝病などの問題について考えることができる。関心・意欲・態度：1他者と協調して作業することができる。2 自分のグループ内での役割を認識し、それに合った行動をとることができる。技能・表現：1 生物の環境に関する応答や環境に関する諸問題について考え説明することができる。2 授業の内容に関する意見や疑問について文章で表すことができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション、生物学の歴史	生物学の歴史を学び、生物学の分野とそれに関わる様々な分野との関わりを理解する。	●動画配信型授業	予習：予習 シラバスの熟読、予習用動画の視聴（120分） 復習：講義内容を整理し、疑問点を調べる。（120分）	小長谷
2	細胞の構造と生命誕生	生命の誕生と、生物の分類体系、細胞の構造のなかから膜の構造と細胞接着について学び、生物とはどのようなものかを理解する。	講義	予習：教科書p12～26を読み細胞の構造、とくに膜の構造と物質の入出について学習する。（120分） 復習：教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
3	生命体の連続性I	細胞周期と体細胞分裂、細胞の分化と細胞間の情報交換について学ぶ。とくに、多細胞生物の細胞の分化と細胞の社会の秩序を理解する。	講義	予習：教科書p84～95を読み、細胞の分化と情報交換について理解する。（120分） 復習：教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題（120分）	小長谷
4	生命体の連続性II	減数分裂から受精、発生、分化について学び、発生の過程から細胞の死までを理解する。	講義	予習：教科書p97～112を読み、受精、発生～個体へと成長する過程を学習する。（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
5	多細胞生物の自己維持機構I	隣接した細胞間の情報のやりとり、神経系と内分泌系による離れた情報伝達について学ぶ。外部環境（体外環境）に対する体内環境（内部環境）を保つしくみと関連する器官のはたらきについて学ぶことにより、恒常性（ホメオスタシス）について理解する。	講義	予習：教科書p114～130を読み、受精、発生～個体へと成長する過程を学習する。（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
6	多細胞生物の自己維持機構II	生体防御機構の3つの防衛線、物理的・化学的防御、自然免疫、適応免疫（獲得免疫）について理解する。	講義	予習：教科書p130～138をよみ、生体防御のしくみを理解する。（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
7	中間試験	第1回～第6回までの確認試験と解答解説を行い、自己採点をする。	試験	予習：これまでの授業のみなおし。（120分） 復習：自己採点と、振り返り。（120分）	小長谷
8	遺伝のしくみと遺伝病I	顕性（優性）と潜性（劣性）について、1つの対立遺伝子と2つの対立遺伝子での遺伝現象、連鎖と組換えについて学ぶ。演習問題をもとに遺伝のしくみの基本的なしくみを理解する。	講義・演習・SGD	予習：教科書p139～p154を読み遺伝のしくみを理解する。（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
9	遺伝のしくみと遺伝病II	一見メンデルの法則が成り立たない、いくつかの遺伝現象について学ぶ。遺伝病の原因について学習し、遺伝のしくみについて理解する。	講義・SGD	予習：教科書p147～162を読み遺伝の仕組みを理解する。（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
10	生物と環境がつくる生態系I	生物の分布、食物網、個体群の動態を学び、生物と環境の相互作用を理解する。	講義	予習：教科書p164～173を読み生物どうし、生物と非生物の関わりを学ぶ。（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
11	生物と環境がつくる生態系II	物質の循環と環境汚染、外来生物などの環境問題と動物の行動を学ぶ。物質循環と環境問題について環境を理解する。	講義・SGD	予習：教科書p174～185を読み物質の循環と動物の行動について学ぶ。（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
12	生物の進化と多様性I	カンブリア爆発から人類の誕生、人類の進化までを学び、生物の進化と多様性を理解する。	講義	予習：教科書p186～192を読み、生物の進化の道筋を理解する（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
13	生物の進化と多様性II	進化論の始まりから、現在考えられている進化のしくみまでを学び、生物の進化と多様性を理解する。	講義	予習：教科書p192～204を読み、進化と多様化について学ぶ。（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷
14	生命科学技術と社会	生命科学とはどのような学問か、その生命科学をいかに応用していくかを改めて学習して、現在用いられている生命科学の技術を理解する。	講義	予習：教科書p192～213を読み生命科学で用いられているさまざまな技術を学ぶ。（120分） 復習：講義内容の整理、教科書と配布資料を見直し、疑問点を調べる。TEAMSでの復習課題。（120分）	小長谷

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
15	期末試験	第8回～14回までの内容の確認試験と解答解説を行い、自己採点をする。	講義・試験	予習：これまでの授業の見直し。(120分) 復習：自己採点と、振り返り。(120分)	小長谷

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	やさしい基礎生物学 第2版	編著 南雲 保	羊土社
参考書	生物基礎（高等学校教科書）		東京書籍
参考書	生物（高等学校教科書）		東京書籍
参考書	スクエア最新図説生物	監修 吉里勝利	第一学習社
参考書	視覚でとらえるフォトサイエンス 生物図録	監修 嶋田正和ほか	数研出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	35%	35%			10%		20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

課題は主にTeams で提示するのでフィードバックも同じくTeams 上で行い、一部は授業で紹介します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	E101生物学研究室	konayuki@nupals.ac.jp

基礎化学II Basic Chemistry II	授業担当教員	井坂 修久		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

化学IIと化学II演習IIによって大学で学ぶ有機化学の基礎が出来る。しかし、高校では少ししか有機化学を学んでいないので独特の難しさがある。特に、高校で化学を選択しなかった学生や化学I及び化学I演習の理解が進んでいない学生にとっては、取っつきにくさがあるかもしれない。そこで、有機化学を学ぶために必要な事項について出来るだけ簡単な言葉で講義する。

【到達目標】

化学IIと化学II演習の学習の際に感じる有機化学への違和感を取り除き、有機化学の基礎を身につける。
 知識・理解：分子構造が三次元の立体構造でイメージ出来、IUPAC命名法で名前が付けられる。また、 π -結合への付加反応の立体的な反応機構が理解できる。
 思考・判断：有機化合物を立体的に想像する。 π -結合の性質を理解できる。
 関心・意欲・態度：有機化学が生物の機能を支える基本であることを理解する。
 技能・表現：何よりも分からない所を積極的に質問する習慣を身につける。
 その他：理解できているところと出来ていないところを見分ける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 原子の電子構造とオクテット則	シラバスをもとに科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。 原子の電子構造とオクテット則について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：シラバスの熟読と教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
2	Lewis構造式と電気陰性度	Lewis構造式の書き方と結合の極性について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
3	分子のかたちと共鳴	分子の立体構造および共鳴について理解する。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
4	混成軌道および酸と塩基	混成軌道の理論を学び結合角・ π -結合などの性質を学ぶ。また、酸と塩基の定義について理解する。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
5	有機化合物のIUPAC命名法（1）	飽和炭化水素のIUPAC命名法を学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読とIUPAC命名法のプリントの熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
6	有機化合物のIUPAC命名法（2）	環状化合物のIUPAC命名法を学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
7	有機化合物のIUPAC命名法（3）	二重結合や三重結合を含む化合物のIUPAC命名法について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読とIUPAC命名法のプリントの熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
8	有機化合物のIUPAC命名法（4）	分子中に官能基を持っている化合物のIUPAC命名法について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読とIUPAC命名法のプリントの熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
9	立体化学（1）立体配座異性体	鎖状および環状のアルカンを立体的に見た場合の配座異性体について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
10	立体化学（2）立体配置異性体	キラルな有機化合物の定義とその表現法について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
11	アルケンの反応（1）求電子付加反応	ハロゲン化水素の付加反応とハロゲンの付加反応について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
12	アルケンの反応（2）求電子付加反応	ハロヒドリンの生成および水和反応について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
13	アルケンの反応（3）酸化反応	エポキシ化反応、ジヒドロキシ化反応について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
14	アルケンの反応（4）酸化反応	オゾン酸化反応について学ぶ。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂
15	アルキンの反応のまとめ	アルケンの反応についてまとめ、理解を深める。	講義・演習・課題	予習：教科書の相当部分の熟読（30分） 復習：化学II演習課題集の解答（30分）	井坂

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	ベーシック有機化学[第2版]	山口良平、山本行男、田村類	化学同人
その他	IUPAC命名法プリント		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						70%	30%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

毎回簡単な課題を出し解答を提出させ、次回の授業の初めに解答を行い、同時に質問を受け付ける。各回の課題の点数を集積して成績を付ける。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp

生物学II演習 Exercises in BiologyII	授業担当教員	小長谷 幸史		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

【授業概要】

「生物学 I」の内容について理解を深めることを目的として、演習問題の実施と解説を行う。生体を構成する物質について、構造式に基づいてその特性を特性と機能を理解できるように解説する。細胞の構造と機能を理解するために用語を自ら確認できるように演習を実施する。本演習は「生物学II」の補習として位置付けられ、2年生以降の生物学系授業「生化学I」「生化学II」などの基礎となる。

【実務経験】

授業の担当の小長谷は3年半の間、公立高等学校での生物基礎を担当し、さらに半年間私立高等学校で生物基礎を担当した。

【到達目標】

生物系科目を学ぶ上で基礎となる力を身につける。生物を構成する物質について、構造式を通してその機能を理解することができる。細胞の構造と機能を用語を用いて説明できるようになる。

知識・理解：1. 生体を構成する元素の種類とその性質、生体内での主な役割を説明できる。2. 生体成分としての脂質、糖質、タンパク質及び核酸について、それぞれの特性に基づいて分類・説明できる。3. 細胞の構造と機能についてオルガネラを列挙して説明できる。4. 細胞分裂の種類と目的、細胞周期について説明できる。

思考・判断：1. 分子を形成する力、及び水分子の特性を理解できる。2. 生体膜の構成要素としてのリン脂質の特性を説明できる。3. 糖質、タンパク質、核酸の各構築単位と重合形式を理解する。4. 真核細胞と原核細胞を比較し、細胞の進化について考察する。5. 2種類の細胞分裂を比較し、細胞の進化と、生命の連続性を考察する。

関心・意欲・態度：生体構成分子の性質について、化学的な側面から見る事ができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション、糖質の性質と構造1	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。主要な糖質の構造と名称、特性について、講義で学んだ範囲について演習問題に取り組み理解を深める。	演習	予習：シラバスの熟読 教科書p52-53, 70 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
2	糖質の性質と構造2	多糖の種類と生体内での働きについて、演習問題に取り組み理解を深める。	演習	予習：教科書p52-53, 70, 演習問題 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
3	脂質の性質と構造	脂質の構造と生体内での機能について、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・SGD	予習：教科書p53-55, 72-73, 365-372, 演習問題 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
4	アミノ酸の性質と構造	生体に含まれるアミノ酸の構造と性質について、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・SGD	予習：教科書p55-56, 74-75, 121-124, 演習問題 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
5	タンパク質の性質と構造	タンパク質の構造と生体内での働きについて、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・SGD・試験	予習：教科書p56-58, 74-75, 121-140, 演習問題 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
6	核酸の構造と働き	核酸の構造と役割について、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・試験	予習：教科書p56-58, 74-75, 114-115, 177-179 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
7	前半の総括および解説	前半で学んだ生体を構成する分子について総括を行う。	講義	予習：これまでの学習内容 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
8	中間試験	1～7回の内容の試験を実施し、その内容を解説する。	講義・試験	予習：これまでの学習内容 (30分) 復習：試験内容 (30分)	小長谷
9	細胞構造 1	真核生物のオルガネラの構造上の特徴について、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・試験	予習：教科書p12-25 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
10	細胞構造 2	原核細胞の構造および細胞内共生説について、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・試験	予習：教科書p487-523 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
11	細胞構造 3	細胞の形態維持、細胞の運動、細胞内の物質輸送、細胞分裂に関与する細胞骨格について、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・SGD・試験	予習：教科書p564-601 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
12	細胞分裂 1	細胞周期と体細胞分裂について、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・試験	予習：教科書p603-607, 619-633 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
13	細胞分裂 2	体細胞分裂のM期について、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・試験	予習：教科書p603-607, 619-633 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
14	細胞分裂 3	減数分裂について、演習問題に取り組み理解を深める。	演習・試験	予習：教科書p645-665 (30分) 復習：授業内容 (30分)	小長谷
15	後半の総括および解説	後半で学んだ細胞構造・細胞分裂について総括を行う。試験を実施し、その内容を解説する。	講義・試験	予習：第9回から第14回の内容 (30分) 復習：試験内容 (30分)	小長谷

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	エッセンシャル細胞生物学 (第5版)	中村・松原監訳	南江堂
その他	演習問題集 (事前配布)		
参考書	生理学・生化学につながるていねいな生物学	白戸亮吉・小川由香里・鈴木研太	羊土社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%				20%			
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

授業時間内に演習問題の解説を行う。Teamsを使用して授業の振り返りを行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室 (部屋番号)	Eメールアドレス
小長谷 幸史	火曜日13時10～14時50分	E101生物学研究室	konayuki@nupals.ac.jp

物理化学 Physical Chemistry	授業担当教員	佐藤 眞治		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

熱力学における反応とは、生体内における変化や自然界全体の変化を包含したものであり、生物・生態系あるいは環境全体におけるエネルギーの受け渡しを考えるための基礎学問である。本講義では、熱力学の基礎概念と化学反応速度について概説する。素反応、反応速度に影響を及ぼす因子、生命化学反応の代表的な反応である酵素反応についても概説する。2年次開講科目「分析化学」、「機器分析学」、「食品分析学」、「食品酵素化学」の基礎に位置づけられる。

【到達目標】

理想気体や気体分子運動論などの「熱力学的考え方」を修得し、これらを使いこなせるようになる。また、化学反応や酵素反応などの生命化学反応を理解するために必要な反応速度の基礎知識を修得する。

知識・理解：1. 理想気体、理想気体の状態方程式について説明できる。2. 気体分子運動論について説明できる。3. 運動エネルギーと温度との関係について説明できる。4. 反応速度と積分型反応則について説明できる。5. 0次、1次、2次反応について説明できる。6. 反応速度定数と半減期について説明できる。7. 化学平衡について説明できる。8. 反応速度の温度依存性について説明できる。9. アーレニウスの式について説明できる。10. 触媒作用について説明できる。11. 酵素反応について説明できる。12. ミカエリスメンテンの式について説明できる。13. 酵素阻害について説明できる。

思考・判断：1. 理想気体と気体分子運動論についての計算問題を解くことができる。2. 0次、1次、2次反応、半減期の計算問題ができる。3. アーレニウス式やミカエリス・メンテン式を用いて計算問題を解くことができる。

関心・意欲・態度：1. 自然界の現象を物理化学的な考え方に基づいて討論することができる。

技能・表現：1. 理想気体の状態方程式、化学反応速度式、酵素反応速度式などの物理化学的な計算式を使用できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	授業オリエンテーション 熱力学（1）	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。数学基礎、物理量、単位について学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読、プリント「物理化学」1回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
2	熱力学（2）	物理量、単位、理想気体の状態方程式について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」2回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
3	熱力学（3）	気体分子運動論について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」3回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
4	熱力学（4）	運動エネルギーと熱力学との関係について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」4回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
5	総合演習（1）（熱力学）	1回目～4回目の総合演習（小テストと解説）を行う。	演習	予習：プリント「物理化学」1～4回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
6	化学反応速度論（1）	反応速度式、反応次数 0次、1次、2次反応、積分型反応側について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」6回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
7	化学反応速度論（2）	可逆反応、逐次反応、化学平衡について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」7回目（120分） 復習：講義内容（150分）	佐藤
8	化学反応速度論（3）	反応速度論、反応速度に対する温度の影響について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」8回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
9	化学反応速度論（4）	遷移状態理論とアレニウスの式について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」9回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
10	総合演習（2）（化学反応速度論）	6回目～9回目の総合演習（小テストと解説）を行う。	演習	予習：プリント「物理化学」6～9回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
11	酵素反応速度論（1）	酵素反応速度論、触媒作用について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」11回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
12	酵素反応速度論（2）	ミカエリス・メンテン式について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」12回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
13	酵素反応速度論（3）	定常状態酵素速度論について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」13回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
14	酵素反応速度論（4）	酵素阻害について学ぶ。	講義	予習：プリント「物理化学」14回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤
15	総合演習（3）（酵素反応速度論）	11回目～14回目の総合演習（小テストと解説）を行う。	演習・試験	予習：プリント「物理化学」11～14回目（120分） 復習：講義内容（120分）	佐藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	プリント「物理化学」熱力学・反応速度論		
参考書	楽しい物理化学1 化学熱力学・反応速度論	加納健司、山本雅博著	講談社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%				50%			
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

確認テストを実施後、解答の解説を行う。試験終了後、単位未取得者に対して解説を行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
佐藤 眞治	月曜日～金曜日 講義・実習時間以外の時間(9:00～18:00)	食品分析学研究室（E202a）	sato@nupals.ac.jp

農業ビジネス論I Agribusiness I	授業担当教員	杉田 耕一		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

農業は我々の日々の食生活を豊かにしてくれる大切な産業であり、増え続ける世界人口問題を解決する最も重要な産業である。更に、農業は自然環境を保持していくための重要な役割も担っている。一方、我が国の農業がおかれた現状は厳しいものがあるが、近年では農業の重要性が見直され様々な政策が実施されると共に、企業の農業参入やIoTを駆使したスマート農業など新しい流れが生まれつつある。本講義では、農業とはどのような産業なのか基本事項を広く講義する。また、「農業ビジネス論I」は、2年次開講科目「農業ビジネス論II」「農業経済学」「スマート農業・食品産業」などの基礎に位置づけられる。

【実務経験】

担当教員は、企業の研究開発部門と新事業企画部門に27年間勤務し、主に農業資材や機能性作物の商品化を担当した経験を持つ。その実務経験を活かして、本科目では農業に関する基本的な知識取得に加え、農業現場での普及状況や実際のビジネスと関連付けた講義を行う。

【到達目標】

農業の現状を広く理解し、農業ビジネス分野で活躍するための基礎的能力を身につける。
 知識・理解：1. 農業の成り立ちと現代の農法について説明できる。2. 農業を支える組織や制度について説明できる。3. 稲作経営の現状について説明できる。
 4. 野菜・果樹・花卉経営の現状について説明できる。5. 畜産経営の現状について説明できる。6. 世界と日本の食料事情について説明できる。
 7. 新しい農業の展開について説明できる。
 思考・判断：1. 農業関連データを収集し分析することができる。2. 世界の貿易環境の変化や国内環境の変化をとらえ、今後の我が国の農業が向かう方向性を推論することができる。
 関心・意欲・態度：1. 日々報道される農業関連情報に関心を持つ。2. 日常の購買行動の中で、農産物の出荷エリアや価格等について関心を持つ。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション	シラバスを基に、授業概要、一般目標、到達目標を理解する。	講義	予習：シラバスの熟読、教科書p.2~3 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
2	農業の成り立ち①	日本の農地条件、品種改良について学ぶ。	講義	予習：教科書p.11~27 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
3	農業の成り立ち②	現代農業をもたらした肥料・農業・機械化について学ぶ。	講義	予習：教科書p.28~42、肥料売り場の調査 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
4	農業を支える人・組織・制度	農家の現状について各種統計データの解釈を行いながら学ぶ。行政組織、農協、法律等の制度変遷について学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.44~75、JAの調査 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
5	稲作経営①	国際貿易と国内農業の変遷、世界と日本の農産物生産状況について学ぶ。	講義	予習：教科書p.77~83、米売り場の調査 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
6	稲作経営②	米作りの流れ、銘柄米の開発、酒米について学ぶ。	講義	予習：教科書p.84~97 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
7	稲作経営③・野菜	米の新たな可能性と野菜の生産状況等について各種統計データを解釈しながら学ぶ。	講義・試験	予習：教科書p.98~109 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
8	果樹・花卉・工芸作物	果樹・花卉・工芸作物の生産状況等について各種統計データを解釈しながら学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.110~119 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
9	畜産経営の基本	畜産飼料、乳牛の基本と乳製品、和牛、養豚養鶏の基本、ブランド化について学ぶ。	講義	予習：教科書p.123~153 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
10	世界と日本の食料事情	世界の食料不足問題、遺伝子組み換え作物の普及、日本の食料自給率、生産資材の海外依存、TPP等の貿易について各種統計データを解釈しながら学ぶ。	講義・SGD	予習：教科書p.155~185 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
11	これからの日本の農業	我が国が抱える農業の課題を整理し、これからの農業の在り方について学ぶ。	講義	予習：教科書p.187~218 (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
12	遺伝子組換え作物	遺伝子組換え作物の基礎知識、普及状況を学ぶ。	●動画配信型授業	予習：プリント (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
13	スマート農業・植物工場	IoT/AIを活用したスマート農業、植物工場など最新事例について事例動画により学習すると共に、これら技術革新がもたらす新しい農業価値について学ぶ。	講義・SGD	予習：プリント (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
14	新潟県の農業	新潟県の農業生産状況について学ぶ。	講義	予習：プリント (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田
15	新潟県の農業を支える人・組織・制度	新潟県の農家、行政組織、農協、行政支援制度等について学ぶ。	講義	予習：プリント (120分) 復習：講義内容 (120分)	杉田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	現代農業入門	八木宏典	家の光協会

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

必要に応じて講義中またはTeamsで解説を行います。個別の質問等についてはTeamsチャットで随時対応します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
杉田 耕一	月～金10:00～17:00（講義等の時間除く）。Teamsチャットでの事前連絡が望ましい。	NE211	agri-sugita@nupals.ac.jp

【その他】

この科目は、いがたマインド学生マイスター取得対象科目です。

教育方法及び技術（情報通信技術の活用を含む） Study of the Educational Method	授業担当教員	木村 哲郎		
	補助担当教員			
	区分	専門選択科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

【授業概要】

学校教育の中核である授業について、現在の日本の学校が直面している課題を整理する。その上で教材研究、教授行為、学習者（学習集団）の3つの側面について基本的な知見を講義する。更に戦後日本の歴史的な授業実践を時代背景とともに読み開きながら、そこから引き継ぐべき価値を明らかにする。最後に「学力向上」「教育評価」「特別なニーズ」などの視点を踏まえて、今、求められる授業づくりについて考察する。理科教育法、教育課程論と併せて、授業する力量を養う中核となる授業である。

【実務経験】

公立中学校教諭として26年間の勤務経験がある。その経験を生かして、教材研究の方法、教授方法の原則、授業における生徒指導の重要性等についての講義やSGDを展開する。

【到達目標】

今日求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法と、それを成立させる指導技術を理解し、その基本を身につける。また今後取り組みが求められる情報機器を活用した効果的な授業や教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身につける。
 知識・理解：1. 学習と授業に関わる基本的な枠組みを理解し、指導の原則について説明できる。2. 優れた授業実践の概要について説明できる。3. 授業における情報通信機器の利活用に関する基礎的な知識を身に付けている。4. 今日の学校教育における課題や直面する問題点を指摘することができる。
 思考・判断：1. 実践記録や映像記録から、指導のねらいや指導方法の工夫を読み取ることができる。2. 今日の状況を踏まえて、求められる授業のあり方について自分の考えを持つことができる。
 関心・意欲・態度：1. 学校の授業や学習の現状に関心を持ち、進んで文献を読んだり、情報を集めることができる。2. 授業（講義）中の討論、プレゼンテーションに積極的に参加する。
 技能・表現：1. 積極的に自分の意見を表明すると共に、他者の意見を傾聴し、コミュニケーションすることができる。2. 情報通信機器を活用して、授業を展開することができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション;授業とは何か	授業の全体計画について理解する。授業を構成する4つの要素が、教育目標・内容、教材・教具、教授行為・学習形態、教育評価であることを理解する。	講義	予習：シラバスの熟読（80分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（180分）	木村
2	授業づくりの基礎理論（1）	授業における「教育目標」「教育内容」の重要性を理解し、学習指導要領を題材に今日求められる資質・能力とのつながりを考察する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
3	授業づくりの基礎理論（2）	授業における教材や教具の作成・提示について、優れた実践事例をもとに検討する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
4	授業づくりの基礎理論（3）	授業における教授行為に着目し、発問、指示、説明などの指導言や板書のあり方、非言語的コミュニケーションなどについて理解する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
5	授業づくりの基礎理論（4）	授業における教育評価の重要性を理解し、目標に準拠した評価の考え方とパフォーマンス課題におけるルーブリックの実践について学ぶ。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
6	授業づくりの歴史的展開（1）	教育方法の基礎理論としての経験主義について、その思想と歴史的展開について、具体的な実践に基づいて理解する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
7	授業づくりの歴史的展開（2）	教育方法の基礎理論としての系統主義について、その思想と歴史的展開について、具体的な実践に基づいて理解する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（129分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
8	授業づくりの歴史的展開（3）	今求められる資質・能力とそれを培うための主体的・対話的で深い学びのあり方について理解する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
9	授業づくりの実際（1）	これまでの理論的な学びを踏まえて、題材を選び、学習指導案を作成する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
10	授業づくりの実際（2）	小グループに分かれて、学習指導案に基づいて模擬授業を実施し、相互評価を行う。	SGD・発表	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
11	授業づくりの実際（3）	前時の模擬授業の中から優れたものを抽出し、目標・内容と教材・教具の整合性、授業展開とそれにふさわしい学習形態などの視点から理解を深める。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
12	情報機器と教材の活用（1）	具体的な実践例などを通して情報機器を活用した授業の現状と今後の方向性について理解する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
13	情報機器と教材の活用（2）	情報機器を活用した授業プラン作成に取り組み、情報機器使用のねらいを明確にすると共に、実際の教材作成・提示に必要な基礎的な技能を獲得する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：課題（ルーブリック作成）を行う。（130分）	木村
14	情報機器と教材の活用（3）	生徒に授業の内外で情報機器を活用させ、情報モラルを含んだ情報活用能力を身につけさせる指導のあり方について理解する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	木村
15	学習の個別最適化	「令和の日本型教育」答申に示された「個別最適化された学び」の内容を理解し、その課題について考察する。	講義・SGD	予習：授業資料を読んでくる（120分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（120分）	木村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	授業中に資料を配付する。		
参考書	中学校学習指導要領（平成29年3月告示）	文部科学省	
参考書	よくわかる授業論	田中耕治編著	ミネルヴァ書房

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%				20%		20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

- ・1回の授業ごとに簡単な「授業のまとめ・コメント」の提出を求め、次の回でフィードバックすると共に、授業への貢献度等の資料とする。
- ・テスト後、解答例を公開する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
木村 哲郎	月～金の昼休み	E404	kimutetsu@nupals.ac.jp